お役に立つ、いろいろな情報は次のサイトで!	
■ 撮りかたのコツや新製品情報	http://panasonic.jp
■ サポート情報	http://panasonic.jp/support

愛情点検　長年ご使用のデジタルカメラの点検を!

こんな症状はありませんか	●電源プラグが異常に熱い ●煙が出たり、異常なにおいや音がする ●画像が乱れたり、きれいに映らない ●水や異物が入ったり、その他の異常や故障がある

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	
販売店名	☎（　　）		

QuickTimeおよびQuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc. の商標または登録商標です。

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15 号

M0208KZ3048

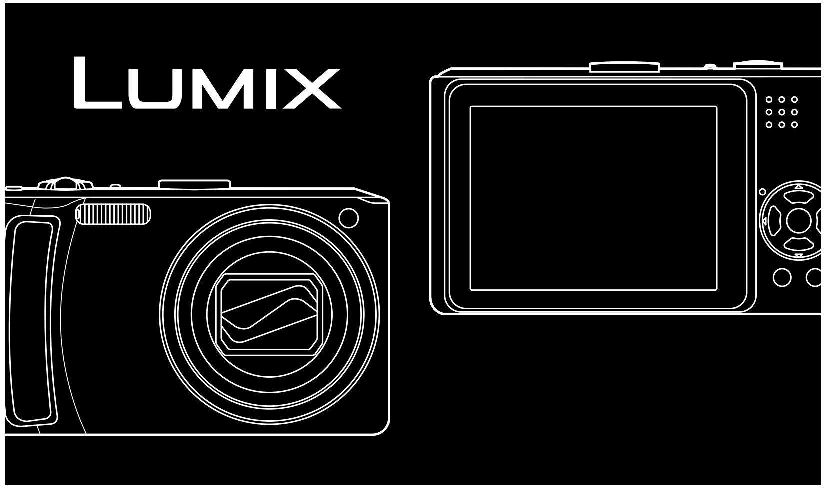
Panasonic



取扱説明書

デジタルカメラ

品番 DMC-TZ5
DMC-TZ50



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **●ご使用前に「安全上のご注意」(8 ～ 11 ページ)を必ずお読みください。**
- ●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- ● Wi-Fi モードの機能については、取扱説明書「Wi-Fi モード編」をご覧ください。（DMC-TZ5 にはこの機能はなく、取扱説明書「Wi-Fi モード編」は付属していません。）

保証書別添付

VQT1P78-2

安全上のご注意
はじめに
準備
基本
応用（撮る）
応用（見る）
他の機器との接続
その他 Q&A

大切な瞬間を楽しくカンタンに撮る・見る・残す LUMIX（ルミックス）

おまかせで 撮る (P.28)

(P.28)

シーンを判別して自動でキレイ！

おまかせ iA

「インテリジェントオートモード」



- カメラを向けるだけで、被写体や距離に合わせて、最適な設定に！

ズームで撮る

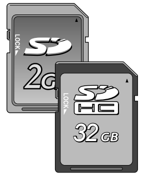


- 遠くの人も大きく「光学10倍ズーム」すばやくズーム「イージーズーム」(P.33)

動画を撮る



- 動画もキレイに。ズームも使える。「動画撮影モード」※1 (P.52)



各機器にSD メモリーカードスロットがある場合は直接スロットへ！

- SD メモリーカード SDHC メモリーカード※2 (別売)

大画面で 見る (P.86)



大きな画面で美しい映像を楽しもう！

- AVケーブル(付属)
- D端子接続用コンポーネントケーブル(別売)
  D端子(D3以上)のあるテレビなら、高画質な動画も楽しめる。

プリントで 残す (P.78、83)



ご家庭のプリンターで手軽に…※3

- USB接続ケーブル(付属)

写真店にカードを渡して…

さらに…



パソコンでメール送信、プリント、保存。※3

- USB接続ケーブル(付属)



DVDやハードディスクに保存。※3

- AVケーブル(付属)

Wi-FiモードでWEBアルバム LUMIX CLUB PicMateに写真をアップロードして、画像を共有して見る。※4



・写真は、はめ込み合成です。

※1 ズームなどの動作音が記録される場合があります。
※2 SDHC メモリーカードの対応機器でのみ使用できます。
※3 詳しくは、それぞれの機器の説明書をご覧ください。
※4 DMC-TZ50のみ。詳しくは、取扱説明書「Wi-Fiモード編」をご覧ください。

もくじ

はじめに

準備

基本（撮る・見る）

応用（撮る）

Wi-Fiモードの機能については、取扱説明書「Wi-Fiモード編」をご覧ください。（DMC-TZ50のみ）

応用（撮る）（続き）

応用（見る）

他の機器との接続

その他 Q&A

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、
必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、区分表示しています。

⚠ 危険	「死亡や重傷など、危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	「死亡や重傷などの可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	「傷害や物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

してはいけない「禁止」内容です。	必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 危険

液もれ・発熱・発火・破裂によるけがを防ぐために



バッテリーパック※は、誤った使い方をしない（※以降は、「バッテリー」と表記）

- 指定外のものは使わない。
- 分解や加工(はんだづけなど)、加圧、(電子レンジやオーブンなどでの)加熱、火中投入などをしない。
- 炎天下(特に真夏の車内)など、高温になる所に放置しない。
- 右図の端子部(⊕・⊖)に金属を接触させない。

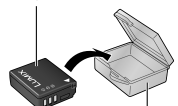
チャージャー（充電器）は、本機専用のバッテリーにのみ使用する

- 破裂などによるけがの原因になります。

バッテリーは、正しく使う

- 専用のチャージャーで充電する。
- 保管や持ち歩きには、付属のキャリングケースに入れる。

■バッテリーの液もれが起こったら
- お買い上げの販売店にご相談ください。
- 液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったら、失明のおそれがあります。
すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

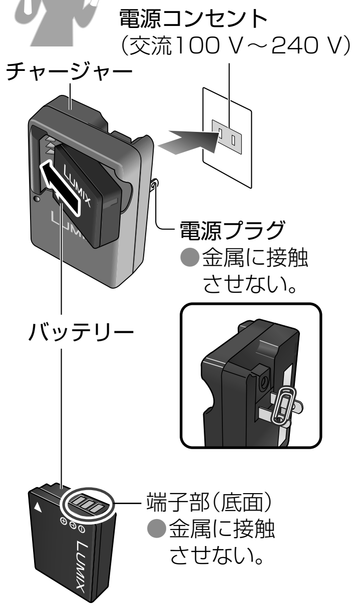


Wi-Fiモードの安全上のご注意については、取扱説明書「Wi-Fiモード編」をご覧ください。(DMC-TZ50のみ)

⚠ 警告

ショートや発熱による火災や感電を防ぐために





チャージャーは、誤った使いかたをしない

- 加工しない・傷つけない。
- 熱器具に近づけない。
- 傷んだら使わない。
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない。
- たこ足配線や定格外(交流100 V～240 V以外)で使わない。
- ぬれた手で抜き差ししない。
- 電源プラグの接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しない。

チャージャーの電源プラグは、正しく扱う

- 定期的に乾いた布でふく。(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)
- 根元まで確実に差し込む。

雷が鳴ったら、触れない

本体やチャージャーには、金属部があります。

分解や改造はしない、ぬらさない、異物を入れない

内部には、電圧の高い部分があります。

可燃性・爆発性・引火性のガス等のある場所で使わない

- 粉じんの発生する場所でも使わない。

異常時には、バッテリーを外す

- 内部がぬれたり、金属や異物が入ったとき
- 外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 警告



乗り物の運転中に使わない

歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意してください。

運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

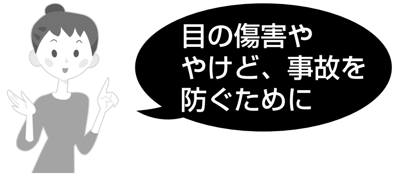
本機の温度の高い部分に長時間直接触れていると、低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※ 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人(高齢者)などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

メモリーカードは乳幼児の手の届く所に置かない

万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

⚠ 注意



フラッシュ発光部および AF 補助光は、至近距離（数 cm）で直接見ない

視力障害などの原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離す。(視力障害などの原因になることがあります)

フラッシュ発光部は、誤った取り扱いをしない

- ごみなどの異物がついたまま使わない。(発光熱によって出る煙などで故障の原因になります)
- 発光直後に触らない。
- 発光部をテープなどでふさがない。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

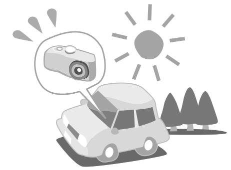




レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

次のような場所に放置しない



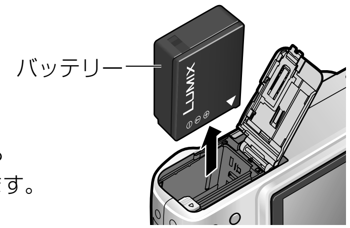
- 異常に温度が高くなる所（特に真夏の車内やトランクなど）
- 油煙や湯気の当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 重いものの下
- 足元など、誤って踏んでしまうような所

下記により、火災や感電、けがの原因になることがあります。

- 高温になる場所や重量物の下などに置くことによる製品の劣化や破損
- 油や水分、ほこりによる通電
- 本機に乗っての転倒

次のときは、バッテリーを取り出す

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき



バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化や漏電などにより、火災の原因になることがあります。

■ 不要(寿命)になったバッテリーは、リサイクル協力店へ(P.101)

■ 修理や点検、異常時は、そのまま使わず、お買い上げの販売店にご相談ください

ご使用の前に

まず、お読みください

■必ずためし撮りを！

事前に撮影や録音(動画や音声付き静止画)ができるか、確認してください。

■撮影や録音(動画や音声付き静止画)の失敗や損失、直接的・間接的な損害は補償できません

本機やカードの不具合による場合でも、補償はご容赦ください。

■著作権に気をつけてください

- 撮影した画像は、個人で楽しむ以外は、権利者に無断で使用できません。
- 個人使用目的でも撮影が制限されている場合があります。

■再生できない場合があります

- パソコンで編集をした画像。
- 他機で撮影や編集をした画像。（本機で撮影や編集をした画像も、他機では再生できないことがあります）

■付属のCD-ROMのすべてのソフトウェアについて

次の行為は禁止されています。

- 営業目的の複製(コピー)。
- ネットワークへの転載。

故障や不具合を防ぐために

■衝撃や振動、圧力を避ける

- 落としたり、ぶつけたり、ポケットに入れたまま座ったり、強い振動や衝撃を与えたりしない。(落とさないようにストラップをつける)
- レンズ部や液晶モニターを強く押さえない。

■ぬらさない、異物を入れない

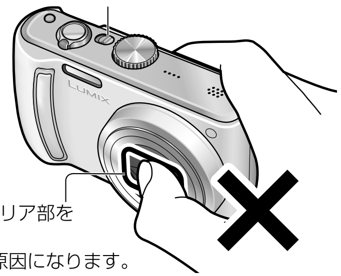
- 水や雨、海水をかけない。（ぬれたら乾いた柔らかい布でふく。海水などは、先によく絞った布でふく）
- レンズ部や端子部にほこりや砂など、また、ボタンのすき間から液体などが入らないようにする。

■温度や湿度の急激な変化による“つゆつき”を避ける

- 温度や湿度に差があるときは、ビニール袋に入れて周囲の温度になじませてから使う。
- レンズがくもったら電源を切り、2 時間ほど放置して周囲の温度になじませる。
- 液晶モニターがくもったら乾いた柔らかい布でふく。

■レンズについて

- レンズが汚れたら電源を入れ、レンズ鏡筒を出した状態でレンズ鏡筒を指で固定して、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふく。（レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなるときがあります）
- レンズ部を太陽に向けたまま放置しない。



■三脚を使うとき

- 無理な力を加えたり、斜めにねじ止めしない。（本体、ねじ穴、定格ラベルの損傷の原因になります。）
- 三脚が安定していることを確認する。（三脚の説明書もお読みください。）

■持ち運びのとき

電源を切る。
誤作動や破損を防ぐため、本革ケース(別売：DMW-CT3)をおすすめします。

「使用上のお願いとお知らせ」（P.100)も合わせてお読みください。

液晶モニターの特性について

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。

本機温度について

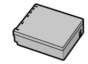
ご使用中、本機表面(特にグリップ部など)やバッテリー、カードが多少熱くなることがありますが、性能･品質には問題ありません。



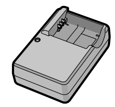
付属品

付属品をご確認ください。(品番は2008年4月現在)
メモリーカードは別売です。

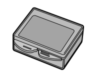
□バッテリーパック
DMW-BCD10
(本書では、「バッテリー」と表記します)



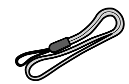
□バッテリーチャージャー
DE-A45A
(本書では、「チャージャー」と表記します)



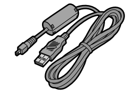
□バッテリーキャリングケース
VYQ3680



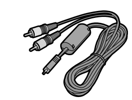
□ストラップ
VFC4297



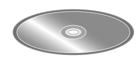
□USB 接続ケーブル
DMC-TZ5: K1HA08CD0024
DMC-TZ50: K1HA08CD0019



□AV ケーブル
DMC-TZ5: K1HA08CD0025
DMC-TZ50: K1HA08CD0020



□CD-ROM



●包装材料などは、商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
●別売品のご紹介(P.88)

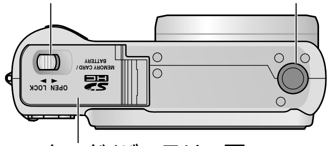
■付属品は、販売店でお買い求めいただけます

松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

Pana Sense

http://www.sense.panasonic.co.jp/

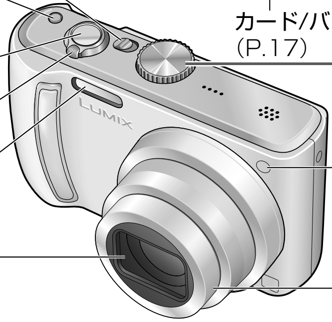
各部の名前



開閉レバー（P.17）

三脚取付部

カード/バッテリー扉（P.17）



電源スイッチ(P.19)

イージーズームボタン（P.33）

シャッターボタン(P.28)

ズームレバー（P.32）

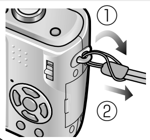
フラッシュ発光部（P.29）

レンズ(P.13)

セルフタイマーランプ（P.42）/ AF補助光ランプ（P.63）

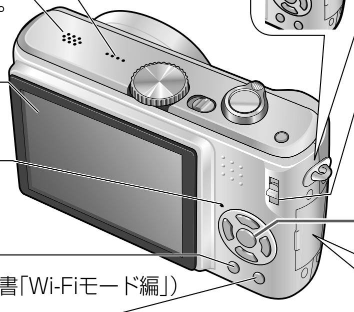
レンズ鏡筒

ストラップ(付属)のつけかた



①②

落下防止のため、ストラップの使用をおすすめします。



スピーカー（P.23）

MIC（マイク）
指でふさがないでください。（P.52、63、79）

液晶モニター（P.22、37、90）

動作表示ランプ（P.17、28）

DISPLAY（ディスプレイ）ボタン(P.37)

電波状況ボタン※(取扱説明書「Wi-Fiモード編」)
※ DMC-TZ50のみ

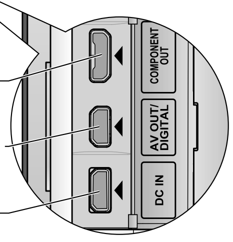
Q.MENU（クイックメニュー）（クイック設定：P.66）/ 削除ボタン(P.36)

撮影/再生切換スイッチ（P.28、35）



撮影

再生



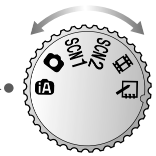
COMPONENT OUT（コンポーネント アウト）端子（P.87）

AV OUT/DIGITAL（アウト/デジタル）端子（P.81、83、86）

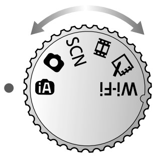
DC IN端子（P.81、83）

モードダイヤル

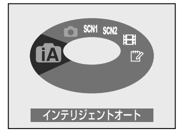
使うモードに確実に合わせる



DMC-TZ5



DMC-TZ50



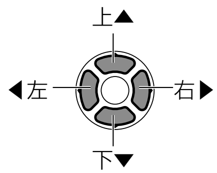
モードを変えると液晶モニターに表示（例: DMC-TZ5）

iA	インテリジェントオートモード	カメラにおまかせで撮る。(P.28)
（カメラ）	通常撮影モード	お好みの設定で撮る。(P.30)
SCN1 SCN2	シーンモード (DMC-TZ50は「SCN」)	場面に合わせて撮る。(P.44)
（動画）	動画撮影モード	動画を撮る。(P.52)
（メモ）	メモモード	メモとして撮る。(P.64)
Wi-Fi	Wi-Fiモード※ (DMC-TZ50のみ)	無線LAN（Wi-Fi)通信機能を使ってWEBアルバムに画像を送信して、共有する。(取扱説明書「Wi-Fiモード編」をご覧ください)

※ DMC-TZ5にはこの機能はなく、取扱説明書「Wi-Fiモード編」は付属していません。

カーソルボタン

上下左右の選択



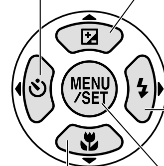
上▲

◀左

右▶

下▼

押すボタンは、上図のようにグレー色や▲▼◀▶で説明しています。



セルフタイマー（P.42）

●露出補正(P.43)
●オートブラケット(P.43)
●ホワイトバランス微調整（P.58）
●逆光補正(P.29)

フラッシュ（P.38）

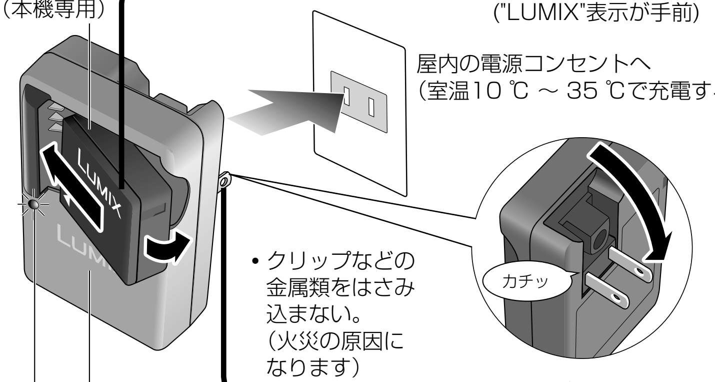
マクロ撮影(P.40)

MENU/SET（メニュー/セット）（メニュー表示/決定/終了）（P.20）

●製品のイラストや画面は、実物と異なる場合があります。(本書では、DMC-TZ5で説明しています。)

準備 1 バッテリーを 充電する

ご使用の前に、必ず充電！
(お買い上げ時には、充電されていません)



1 バッテリーをしっかり取りつける
("LUMIX"表示が手前)

• クリップなどの金属類をはさみ込まない。（火災の原因になります）

2 プラグを起こし、電源コンセントへしっかり差し込む

充電ランプ(CHARGE)

点灯	：充電中(最大約 120 分)
消灯	：充電完了(電源コンセントからチャージャーを抜いてバッテリーを外す)
点滅したら	• バッテリーの温度が低すぎる、または高すぎるため、通常よりも充電時間がかかります。(充電を完了できないことがあります) • バッテリーやチャージャーの端子部が汚れています。乾いた布でふいてください。

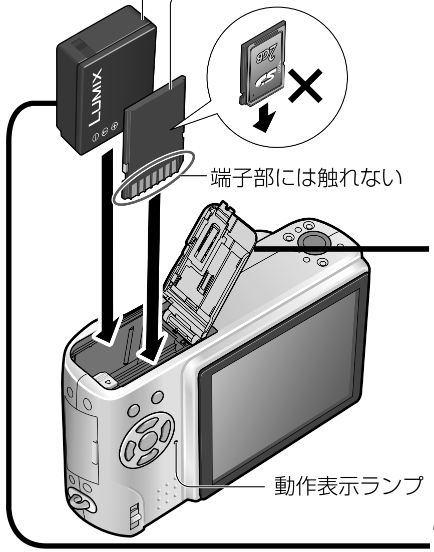
■バッテリーについて

- 記録可能枚数　約 300 枚※（約 150 分に相当）
  ※ 満充電で30 秒間隔撮影など(CIPA規格：P.101)に基づく値
  撮影間隔が長いと枚数は減り、例えば2 分間隔では約 75 枚になります。
- 再生可能時間　約 360 分

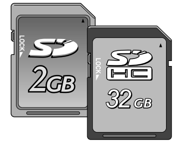
フラッシュやズーム、LCDモードなどを多用した場合や、寒冷地の低温下などでは使用時間が短くなることがあります。

●充電中や充電後は、バッテリーが温かくなります。
●充電後でも、長期間放置すると、使わなくてもバッテリーを消耗します。
●頻繁な継ぎ足し充電はおすすめできません。
（充電回数が増えると使用時間が短くなり、バッテリーが膨らむ特性があります）
●著しく使用できる時間が短くなったときは、バッテリーの寿命です。
新しいバッテリーをお買い求めください。

準備 2 バッテリーやカードを入れる

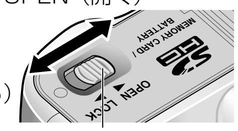


SDメモリーカード/
SDHCメモリーカード(別売)



（使えるカードなど、詳しくは、次ページ）

1 必ず、電源を｢OFF｣にし、開閉レバーを｢OPEN｣にして、扉を開ける

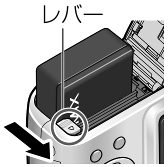


2 バッテリーとカードを｢カチッ｣と音がするまで入れる

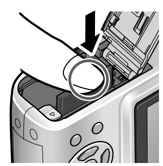
3 扉を閉め、開閉レバーを｢LOCK｣にする

■取り出すとき

• **バッテリー**：
レバーを矢印方向へ引く。



• **カード**：
中央を押す。



●カードやバッテリーの取り出しは、電源を切り、動作表示ランプが完全に消えてから行ってください。（本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります）
●miniSD カードとmicroSD カードは、専用アダプターが必要です。アダプターだけを本機に入れたままにしないでください。（正常に動作しません）

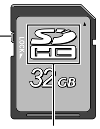
準備 2 バッテリーやカードを入れる（続き）

画像の保存先（カードと内蔵メモリー）

カードを入れているときはカード、入れていないときは内蔵メモリー「IN」に保存されます。

■ カード(別売)に保存するとき
SD 規格に準拠した次のカード(当社製推奨)が使用できます。
- SD メモリーカード (8 MB ～ 2 GB)
- SDHC メモリーカード(4 GB ～ 32 GB)
  他の機器で使うとき、SDHC メモリーカードの対応機器でのみ使用できます。
  4 GB以上はSDHC ロゴのあるカードのみ使用できます。
- miniSD カード、microSD カード、microSDHC カード
  (いずれも専用アダプターが必要)

SDHC メモリーカード



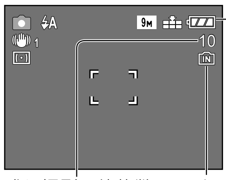
書き込み禁止スイッチ

SDHC ロゴ

●フォーマットは必ず本機で行ってください。(P.27)
●書き込み禁止スイッチを「LOCK」にすると、撮影や削除、フォーマットなどができません。
●マルチメディアカードも使用できます(静止画のみ対応)

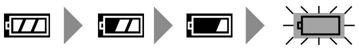
■ 内蔵メモリー（約 50 MB)に保存するとき
●カードよりも保存に時間がかかることがあります。
●メモモードの画像(P.64)は、内蔵メモリーに保存されます。
●カードと内蔵メモリー間で画像をコピーできます。(P.80)

バッテリー残量と撮影可能枚数の表示



バッテリー残量表示(バッテリー使用時のみ)

(赤点滅)



赤点滅(液晶モニター消灯時は動作表示ランプが点滅)したら、バッテリーを充電または交換してください。(P.16)

残り撮影可能枚数 (P.102)

カードを入れていないときに表示(内蔵メモリーに保存されます)

カードやメモリーへのアクセス動作中は…

(カード)、または IN (内蔵メモリー)が、赤く点灯します。

点灯中は、画像の記録や読み出し、削除などの動作中のため、電源を切ったり、バッテリーやカード、ACアダプター(別売：DMW-AC5)を取り外さないでください。(データ破損や故障の原因になります)

●大切な画像はパソコンなどへの保存をおすすめします。
(電磁波や静電気、故障などにより壊れたり消えることがあります)
●最新情報：http://panasonic.jp/support/dsc

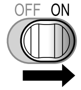
準備 3 時計を合わせる（お買い上げ時は設定されていません）

電源を入れる前に、撮影/再生切換スイッチを[カメラ]に合わせてください。

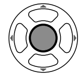


撮影/再生切換スイッチ

1 電源を「ON」にする
お買い上げ時、電源を入れると
「時計を設定してください」と表示されます。

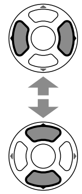


2 上記を表示中に



[MENU/SET]を押す

3 年月日、時刻を選び、合わせる



項目を選び

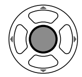
数字を合わせる



表示方法を選ぶ(3 種類)

- 中止するとき→ 削除 を押す
- [年/月/日]
  2008. 12. 1　12：34
  [日/月/年]
  12：34　1.DEC.2008
  [月/日/年]
  12：34　DEC. 1. 2008

4 決定する



[MENU/SET]を押す

- 電源を入れ直し、時計表示が正しいか確認してください。([DISPLAY]を数回押すと、日時を表示できます。)

■「時計設定」を変えるとき
➡ セットアップメニュー(P.22)で「時計設定」を選び、**3**→**4**を行う。

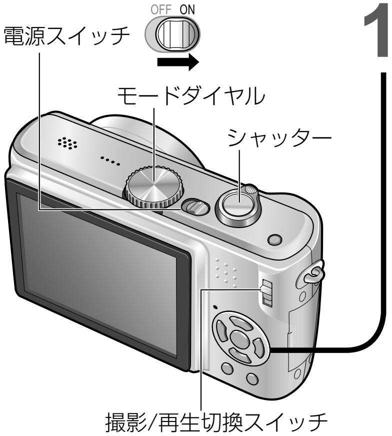
■海外旅行先の時刻を設定するとき
➡ 「ワールドタイム」(P.54)

●時計を設定しないと、お店プリント、文字焼き込み(P.73)をした場合に正しい日付がプリントされません。
●時刻は24 時間表示です。(2000 年から2099 年まで対応)
●「時計設定」はバッテリーを取り出しても、約 3か月記憶します。(満充電のバッテリーを入れて約 24 時間経過した場合)

準備 4 メニューを使って設定する

本機をもっと活用するために、4 種類のメニューから、いろいろな機能を使ったり、設定を変えたりできます。

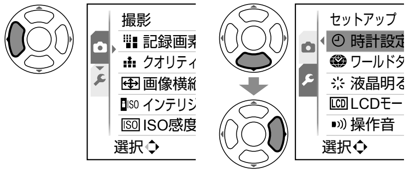
(例)通常撮影モード(P.30)でセットアップメニューの「LCDモード」を変更する。
（撮影/再生切換スイッチ：📷、モードダイヤル：📷に合わす）



1 メニューを表示する

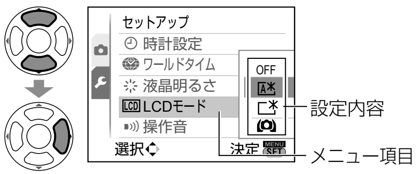


■メニューの種類を選ぶとき
① 📷 に移動する　② 🔧 を選び、メニュー項目に戻る

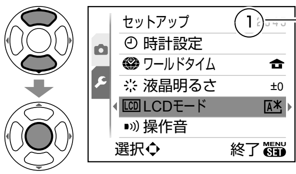


■お買い上げ時の設定に戻すとき
➡「セットアップメニュー」→「設定リセット」(P.25)

2 メニュー項目を選ぶ

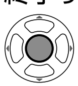


3 設定内容を選ぶ



ページ
（ズームレバーでも次の画面に切り換えられます。）

4 終了する



• 撮影/再生切換スイッチが「📷」のときは、[シャッター]半押しでも終了できます。

●項目により、設定の表示のしかたが異なるものがあります。

メニューの種類

📷撮影メニュー（撮影/再生切換スイッチ：📷）



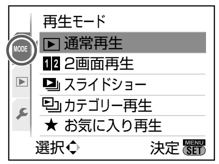
お好みの設定で撮影したい！（P.55 ～ 63）
• 色合いや露出、横縦比、画素数などが設定できます。

🔧セットアップメニュー（撮影/再生切換スイッチ：📷▶）



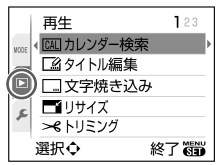
本機をより便利に使いたい！（P.22 ～ 27）
• 時計設定や操作音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。

MODE 再生モード選択メニュー（撮影/再生切換スイッチ：▶）



撮った画像を見たい！（P.69 ～ 71）
• 2画面で見たり、スライドショーで見たり、お気に入りの画像だけを見たりするなど、再生方法を選べます。

▶ 再生メニュー（撮影/再生切換スイッチ：▶）



撮った画像を活用したい！（P.72 ～ 80）
• 画像の回転や保護、切り抜き、プリント設定(DPOF)など、撮影した画像に対して設定ができます。

●モードにより、表示されるメニュー項目は変わります。
●Wi-Fiモード時はWi-Fi専用のメニューが表示されます。詳しくは取扱説明書「Wi-Fiモード編」をご覧ください。(DMC-TZ50のみ)

準備 5

セットアップメニューを使う

時計設定やバッテリーを長く使うための設定、操作音の切り換えなど、カメラ本体の設定ができます。

「時計設定」「オートレビュー」「エコモード」は、日時や電源などに関する大切な項目です。使う前に必ず設定を確認してください。（設定方法：P.20）

（網掛け）は、お買い上げ時の設定です。

メニュー項目	設定内容・お知らせ
時計設定 時計を合わせる。（P.19）	日時と表示方法を設定する。
ワールドタイム お住まいの地域と海外旅行先の日時を設定する。（P.54）	**旅行先**：海外旅行先の日時にする。 **ホーム**：お住まいの地域の日時にする。
液晶明るさ 液晶モニターの明るさを調整する。（7 段階）	+1 ～ +3 ：明るくする ±0 ：標準 −1 ～ −3 ：暗くする
LCDモード 液晶モニターを見やすくする。	OFF ：通常表示（設定解除） **オートパワー LCD**：屋外など明るい場所で、自動でパワー LCDが働きます。 **パワー LCD** ：画面を通常よりも明るくする。（屋外向き） **ハイアングル** ：高い位置から撮るときに見やすくする。（正面からは見にくくなります） •「オートパワー LCD」「ハイアングル」は、次のときは働きません。 再生時／メニュー表示中／パソコンやプリンターに接続時 •「パワー LCD」は、撮影時に30 秒間操作をしないと元に戻ります。（いずれかのボタンを押すと再び明るくなります） •「ハイアングル」は、電源を切ると（パワーセーブ含む）解除されます。 • 記録する画像には影響しません。 • 太陽光などが反射して画面が見にくい場合は、手などでさえぎってください。

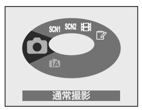
メニュー項目	設定内容・お知らせ
操作音 操作音やシャッター音を変える。	**操作音音量** 切／小／大：音量切／小／大から選ぶ
	操作音音色 ❶／❷／❸ ：操作音の種類を選ぶ
	シャッター音音量 切／小／大 ：シャッター音量切／小／大から選ぶ
	シャッター音音色 ❶／❷／❸ ：シャッター音の種類を選ぶ
スピーカー音量 スピーカー音量を調整する。（7 段階）	0・・LEVEL3・・LEVEL6 • テレビ接続時、テレビのスピーカーの音量は調整できません。（本機の音量を0にすることをおすすめします）
ガイドライン表示 撮影情報の表示とガイドラインの種類を選ぶ。（P.37）	**撮影情報** OFF／ON（ガイドライン表示中に撮影情報を表示する）
	パターン ／ ：ガイドラインの種類を選ぶ
ヒストグラム表示 被写体の明るさをグラフで見る。（P.37）	OFF／ON（ヒストグラムを表示する）
トラベル日付 旅行何日目かを記録する。（P.53）	**トラベル日付設定** OFF／**設定**（出発日と帰着日を記録する）
	旅行先 OFF／**設定**（旅行先を文字で入力する）（P.72）

セットアップメニューを使う（続き）

メニュー項目	設定内容・お知らせ
ECO エコモード 使わない間、電源を切ったり、液晶モニターを消したりしてバッテリーの消費を防ぐ。	**パワーセーブ** OFF ／ 2 分／ 5 分 ／ 10 分：設定時間操作をしないとき電源を切る • 再度使うとき→[シャッター]半押し、または電源を入れ直す • 次のときは働きません。 ACアダプター（別売:DMW-AC5）使用時、パソコン·プリンター接続時、動画撮影／再生時、スライドショー中、Wi-Fiモードで文字入力中またはアクセスポイントに接続中（DMC-TZ50のみ） • 次の場合は、設定が固定されます。 「自動液晶OFF」（下記）設定時は「2 分」、 インテリジェントオートモードやメモモードは「5 分」、 スライドショー一時停止中は「10 分」
	自動液晶OFF OFF ／ 15 秒／ 30 秒： 撮影時、設定した時間操作をしないとき液晶モニターを消灯する。（消灯中は動作表示ランプ点灯） • 次のときは働きません。 インテリジェントオートモード、メモモード、Wi-Fiモード（DMC-TZ50のみ）、ACアダプター（別売：DMW-AC5）使用時、メニュー表示中、セルフタイマー設定時、動画撮影中。 • フラッシュ充電中も消灯します。 • 再度使うとき→いずれかのボタンを押す
オートレビュー 撮影直後に画像を自動表示する。	OFF：自動再生しない 1 秒／ 2 秒：1 秒間/2 秒間自動再生する **ホールド**：どれかのボタン（[DISPLAY]以外）を押すまで自動再生画面のままにする **ズーム**：1 秒間表示後、4 倍拡大して1 秒間自動再生する（ピント確認に便利です） • インテリジェントオートモードは、「2 秒」に固定されます。 • シーンモードの「自分撮り」「高速連写」「マルチアスペクト撮影」、「オートブラケット」、「連写」、音声付き静止画は、設定にかかわらず撮影直後に自動表示されます。 • 動画はオートレビューできません。

メニュー項目	設定内容・お知らせ
ズーム位置メモリー 電源を切ったときのズーム位置を記憶させる。	OFF ／ ON（ズーム倍率を記憶する） • シーンモードの「自分撮り」では設定できません。
番号リセット 画像のファイル番号をリセットする。	**はい**（リセットする）／ **いいえ** • 新しいフォルダーを作成し、ファイル番号を0001にリセットします。 • フォルダー番号は100 ～ 999まで作成されます。 フォルダー番号が999 になるとリセットできません。 必要な画像をパソコンなどに保存してから本機でフォーマットをしてください。（P.27） • フォルダー番号を100 にリセットするには： まず、内蔵メモリーまたはカードを本機でフォーマットし、「番号リセット」で「はい」を選ぶ。その後、フォルダー番号のリセット画面で「はい」を選ぶ。 • ファイル番号・フォルダー番号について（P.82、99）
設定リセット 撮影メニューとセットアップメニューの設定をお買い上げ時の設定に戻す。	**撮影設定** **はい**（撮影メニューの設定をリセットする）／**いいえ**
	セットアップ設定 **はい**（セットアップメニューの設定をリセットする）／**いいえ** • セットアップ設定をリセットした場合、以下もリセットされます。 シーンモードの「赤ちゃん」と「ペット」の月齢/年齢と名前、「トラベル日付」、「ワールドタイム」、「ズーム位置メモリー」、再生メニューの「お気に入り」（「OFF」になる）、「回転表示」（「ON」になる） • フォルダー番号、時計設定はリセットされません。 • レンズ機能のリセットにより、動作音がすることがありますが、異常ではありません。
Wi-Fi設定リセット Wi-Fiモードの設定をお買い上げ時の設定に戻す。（DMC-TZ50のみ）	**はい**（Wi-Fiの設定をリセットする）／**いいえ** • 「mobilepoint」の設定はお買い上げ時の設定に戻ります。 • **「mobilepoint」以外で設定したアクセスポイントなどの設定情報（例：ユーザーＩＤ、パスワードなど）もリセットされます。**

セットアップメニューを使う(続き)

メニュー項目	設定内容・お知らせ
USB USBモード USB接続ケーブルでパソコンやプリンターに接続するときの通信方法を選ぶ。	接続時に選択：パソコンまたはPictBridge対応プリンターに接続したときに、毎回[PC]または[PictBridge(PTP)]を選ぶ PictBridge（PTP）：PictBridge対応プリンターに接続するときに選ぶ PC：パソコンに接続するときに選ぶ
ビデオ出力 テレビ接続時などに、ビデオ出力方式を変える。(再生時のみ)	NTSC ：日本やアメリカなど PAL ：ヨーロッパなど • AVケーブル接続時に働きます。
TV画面タイプ 接続するテレビの横縦比を選ぶ。（再生時のみ）	16:9／4:3 • 16:9に設定したとき、液晶モニターでは縦長に表示されます。（AVケーブル接続時に働きます。）
m/ft表示 ピントが合う距離の表示単位を変える。(P.41)	m ：メートルで表示する ft ：フィートで表示する
SCN シーンメニュー シーンメニューを表示する。(P.44)	OFF ／ AUTO（シーンメニューを自動で表示する） •「OFF」のときに、シーンメニューを表示するには→[MENU/SET]を押す  (例: DMC-TZ5)
モードダイヤル表示 モードダイヤルを表示する。	OFF ／ ON（モードダイヤルを表示する）  (例: DMC-TZ5)

メニュー項目	設定内容・お知らせ
Ver. バージョン表示 (DMC-TZ50のみ)	本体のWi-Fiファームウェアバージョンを確認できます。
フォーマット 「内蔵メモリーエラー」または「メモリーカードエラー」が表示されたときに行う。	**はい** ：フォーマットする **いいえ** ：フォーマットしない • 十分に充電したバッテリー（P.16)またはACアダプター(別売：DMW-AC5)が必要です。内蔵メモリーをフォーマットするには、カードを抜いてください。 （カード挿入状態では、カードのみ、カードがない場合は、内蔵メモリーのみフォーマットされます） • フォーマットは、必ず本機で行ってください。 • **プロテクト(P.79)された画像も含め、すべてのデータが削除されます。** • フォーマット中は、電源を切ったり、他の操作をしないでください。 • フォーマットできないときは、販売店にご相談ください。 • 内蔵メモリーのフォーマットには時間がかかることがあります。
DEMO デモモード 機能のデモを見る。	**手ブレ・動き検出デモ**：(撮影時のみ) 手ブレ、被写体の動きをグラフで表示する(目安) 大 ← 小 → 大  手ブレ  動き検出 • 終了するとき→[DISPLAY](P.14)を押す • デモ画面表示中は、撮影やズームはできません。 • 動き検出デモは、濃淡のある被写体のほうがより効果が得られます。 **自動デモ**：本機の紹介をスライドショーで見る • 終了するとき→[MENU/SET]を押す • テレビに出力できません。

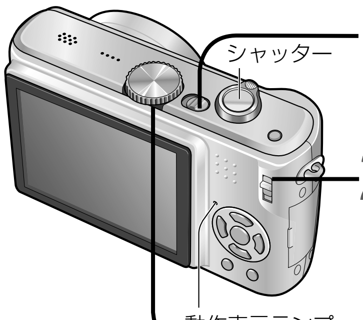
基本 1

iA おまかせで撮る

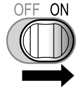
「インテリジェントオートモード」

カメラを被写体に向けると、「顔」「動き」「明るさ」「距離」などの情報から自動で最適な設定になるので、面倒な設定をしなくてもキレイに撮影できます。

撮影の前に、時計設定を確認してください。(P.19)

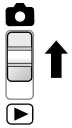


1 電源を入れる

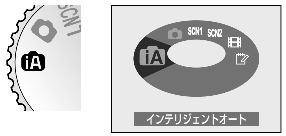


(動作表示ランプが約 1 秒間点灯)

2 (撮影)にする

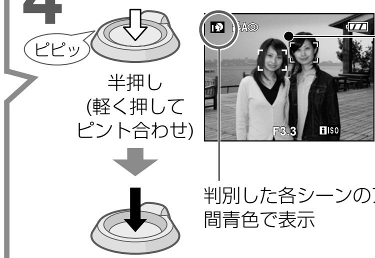


3 iA(インテリジェントオートモード)に合わせる



(例: DMC-TZ5)

4 撮影する



半押し
(軽く押してピント合わせ)

全押し
(さらに押し込んで撮影)

フォーカス表示
(ピントが合う：点灯
ピントが合わない：点滅)

判別した各シーンのアイコンを2 秒間青色で表示

自動シーン判別

カメラを被写体に向けると自動でシーンを判別し、最適な設定に自動調整します。

人物を認識「i人物」
顔を追いかけて、明るくキレイに撮影。

風景を認識「i風景」
近くから遠くまでシャープに撮影。

接写を認識「iマクロ」
距離を判別して、近くの被写体をくっきり撮影。

夜景と人物を認識「i夜景&人物」
人も夜景も明るく、見たままに撮影。
(⚡A 設定時)

夜景を認識「i夜景」
スローシャッターで自然な色合いに撮影。
(発光禁止 設定時)

iA 動きを認識
どのシーンにも当てはまらないとき、被写体の動きをとらえ、ブレをおさえて撮影。

- 自動シーン判別のほか、インテリジェントISO感度 ISOMAX 800、暗部補正、手ブレ補正、AF連続動作などが自動で働きます。
- インテリジェントオートモードでは、次のメニュー項目が設定できます。
  - iA 撮影メニュー：「記録画素数※」「画像横縦比」「連写」「カラーモード※」「手ブレ補正※」
  - セットアップメニュー：「時計設定」「ワールドタイム」「トラベル日付」「操作音※」

※ 他の撮影モードと設定できる内容は異なります。

■逆光補正するとき

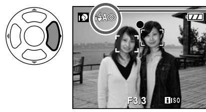
(逆光でも被写体を明るく)



補正中は を表示

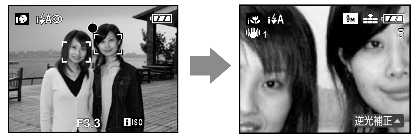
- 解除するとき→再度▲を押す

■フラッシュを使うとき



⚡A (オート)または (発光禁止)を選ぶ
- ⚡A のとき、i⚡A とi⚡A◎(赤目軽減オート)とi⚡S◎(赤目軽減スローシンクロ)が被写体の種類や明るさに応じて自動で切り換わります。(詳しくはP.38へ)
- i⚡A◎とi⚡S◎は、デジタル赤目補正が働き、2回発光します。

- ピントの合う範囲→(P.41)
- 次のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンになることがあります。
  顔の明暗/被写体の状態(大きさ、距離、濃淡、動き)/ズーム倍率/夕暮れ/朝焼け/低照度/手ブレ発生時
- 意図したシーンにならないときは、目的にあった撮影モード(シーンモード：P.44)で撮影することをおすすめします。
- 「i夜景」「i夜景&人物」になったときは、三脚やセルフタイマーをおすすめします。
- 「i夜景」で三脚使用時などブレが少ないときは、シャッタースピードが最大8 秒になります。カメラを動かさないでください。

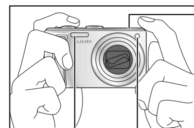


例)顔が大きすぎて「i人物」が「iマクロ」になる

- 次の機能は固定されます。
  - オートレビュー：2 秒 • パワーセーブ：5 分 • ガイドライン表示：
  - ホワイトバランス：AWB • クオリティ：(ファイン)※1
  - オートフォーカスモード：(顔認識)※2 • AF 補助光：ON • 測光モード：(評価測光)

  ※1 0.3 M EZ 時のみ (スタンダード)　※2 顔が認識できないときは (9 点)
- 次の機能は使えません。
  「ヒストグラム表示」「露出補正」「オートブラケット」
  「ホワイトバランス微調整」「デジタルズーム」「下限シャッター速度」「音声記録」

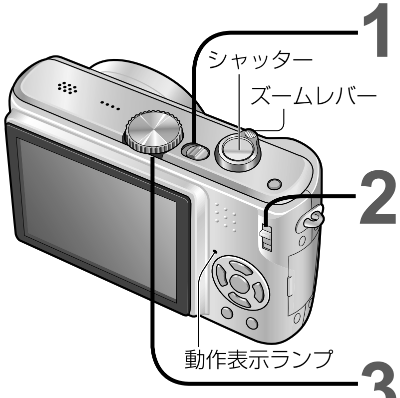
- **カメラの構えかたについて**
  - フラッシュ発光部、AF補助光ランプをふさがない、近くで見ない。
  - レンズを触らない。
  - 脇を締め、肩幅くらいに足を開く。
  - 音声録音(動画/音声付き静止画)の際、マイク(MIC)を指でふさがない。
  - カメラを縦で構えるとき(→P.31)



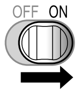
基本 2 お好みの設定で撮る

「通常撮影モード」

撮影メニュー (P.55)など、各種設定を変えて、お好みの設定で撮影できます。

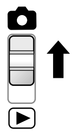


1 電源を入れる

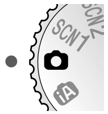


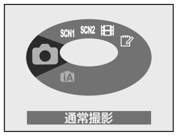
（動作表示ランプが
約 1 秒間点灯）

2 (撮影)にする



3 (通常撮影モード)にする





（例: DMC-TZ5）

■ズームを使うとき
(P.32)

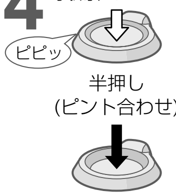
■フラッシュを使うとき
(P.38)

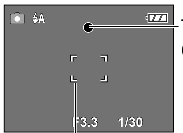
■画像の明るさを調整したいとき
露出補正 (P.43)

■近づいて撮りたいとき
マクロ撮影 (P.40)

■色合いを調整したいとき
ホワイトバランス (P.58)

4 撮影する





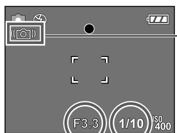
フォーカス表示
(ピントが合う：点灯
ピントが合わない：
点滅)

AFエリア
(被写体にピントを合わせる。
ピントが合う：緑
ピントが合わない：赤)

● ピントが合っていないときは、「ピピピピッ」と音がします。

●手ブレ警告表示が表示されたときは、手ブレ補正 (P.62)、三脚、セルフタイマー (P.42)などを使用してください。

●絞り値やシャッタースピードが赤色で表示されているときは、適正露出になっていません。フラッシュを使うか、「ISO感度」(P.57)の設定を変えてください。



手ブレ警告表示

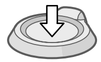
絞り値　シャッタースピード

お好みの場所にピントを合わせる

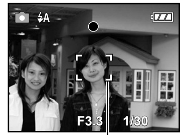
撮りたいものが中央にないときなどに便利です。

1 被写体にピントを合わせる

AFエリアを
被写体に合わせ



半押しのまま

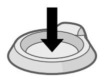


AFエリア

●次の被写体や撮影環境では、ピントが合いにくいことがあります。
- 動きの速い被写体
- 非常に明るい、または濃淡のないもの
- ガラス越しや光るものの近くで撮るとき
- 暗いときや手ブレしているとき
- 被写体に近すぎるとき
- 遠くと近くを同時に撮るとき

●**人物を撮るとき**は、「顔認識」機能をおすすめします。(P.59)

2 撮りたい構図に戻し、撮影する



全押し



AFエリア

●ピントが合う範囲→(P.41)
範囲外では、フォーカス表示が点灯してもピントが合っていないことがあります。

●AFエリアは、デジタルズーム時や暗いときは、大きく表示されます。

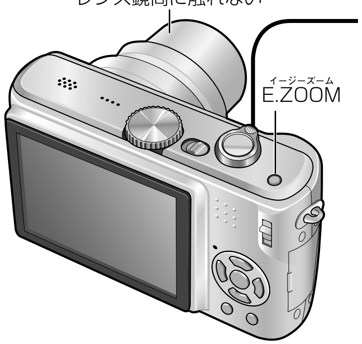
●[シャッター]を半押しすると、一時的に一部の表示以外は画面から消えます。

●カメラを縦で構えるとき
縦に構えて撮影した画像を、再生時に自動で縦向きに表示することができます。
(回転表示(P.76)を「ON」に設定している場合のみ)
ただし、本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、画像を縦向きに表示できない場合があります。また、動画再生時は、画像を縦向きに表示できません。

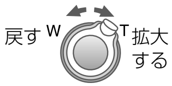
基本 3

ズームで撮る

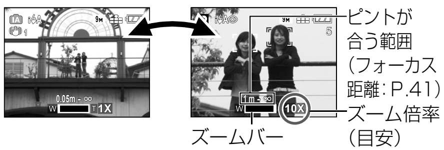
「光学ズーム」では10倍、記録画素数を下げると「EX光学ズーム」が働き、最大16.9 倍までズームできます。さらにズームしたいときは「デジタルズーム」が使えます。



1 ズームする



W側(広角)：1 倍　T側(望遠)：2 倍～



●ズームの早さを変えることができます。
ゆっくりズームする→少し回す
速くズームする→いっぱいに回す
●ピント(シャッターボタン半押し)は、ズームした後に合わせてください。

光学ズームとEX光学ズーム

記録画素数(P.55)が最大のときは「光学ズーム」、それ以外のときは、よりズーム可能な「EX光学ズーム」に自動で切り換わります。(EZは、extended optical zoomの略で、EX光学ズームを表します。)

• 光学ズーム
W T ―ズームバー
最大ズーム倍率：10 倍

• EX光学ズーム
EZ W T　(EZ を表示)
最大ズーム倍率：11.3 倍 ～ 16.9 倍
(記録画素数により異なる)

●記録画素数別の最大ズーム倍率

• 横縦比 4:3 のとき

	光学ズーム	EX光学ズーム				
記録画素数	9 M	7 M EZ	5 M EZ	3 M EZ	2 M EZ	0.3 M EZ
最大ズーム倍率	10 倍	11.3 倍	13.5 倍	16.9 倍		

• 横縦比 3:2 のとき

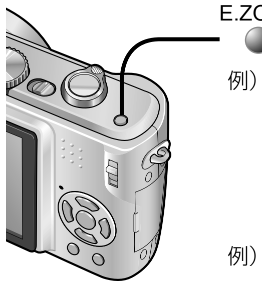
記録画素数	8.5 M	6 M EZ	4.5 M EZ	2.5 M EZ
最大ズーム倍率	10 倍	11.6 倍	13.9 倍	16.9 倍

• 横縦比 16:9 のとき

記録画素数	7.5 M	5.5 M EZ	3.5 M EZ	2 M EZ
最大ズーム倍率	10 倍	12.1 倍	14.5 倍	16.9 倍

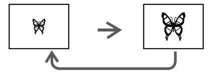
●EX光学ズームのしくみ
記録画素数を「3 M EZ」(300 万画素相当)に設定すると、CCD の持つ9 M (910 万画素相当)の領域のうち、3 M分の中央部を切り取って撮影するので、より高い倍率で撮影できます。

■最大倍率まですばやくズームするとき「イージーズーム」

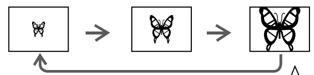


(押すたびに倍率が変わる)

例) 記録画素数が7 M以下のとき



例) 記録画素数が7.5 M以上のとき



このとき、一時的に記録画素数が小さくなります。

4:3	9 M	→	3 M
3:2	8.5 M	→	2.5 M
16:9	7.5 M	→	2 M

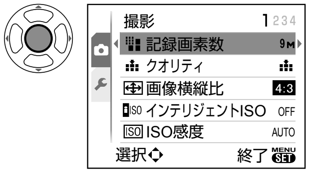
●「デジタルズーム」(P.34)を「ON」にしていると、さらにデジタルズームの最大倍率までズームします。
●動画撮影中はイージーズームは働きません。

●倍率、画面のバー表示は目安です。
●撮影モードによっては、最大ズーム倍率になると、「テレマクロ」機能(P.40)が働きます。
●近くの被写体を広角で撮るほど画像がゆがんだり、望遠にするほど被写体の輪郭などに着色して撮影されることがあります。
●ズームレバーを操作すると、多少音がしたり振動したりしますが、故障ではありません。
●次のとき、EX光学ズームは働きません。
(動画撮影モード)、シーンモードの「高感度」「高速連写」「マルチアスペクト撮影」
●EX光学ズーム時、W端(1 倍)付近でズームの動きが一瞬止まりますが、故障ではありません。
●電源を切っても、ズーム倍率を記憶させておくには、「ズーム位置メモリー」(P.25)が便利です。

さらに拡大して撮る「デジタルズーム」

光学ズーム/EX光学ズームの4 倍(最大倍率40 倍～ 67.5 倍)までズームできます。
(ただし、デジタルズームでは、ズームするほど画質は粗くなります)

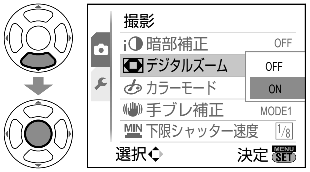
1 「撮影メニュー」を表示する



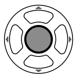
2 「デジタルズーム」を選ぶ



3 「ON」を選び、決定する

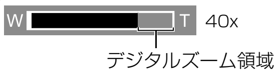


4 メニューを終了する



●画面のズームバーに、デジタルズーム領域が表示されます。

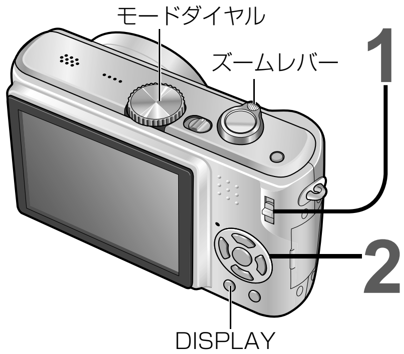
例) 40 倍のとき



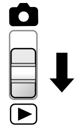
- デジタルズーム領域に入るとき、ズームの動きが一瞬が止まります。
- デジタルズーム領域で[シャッター]を半押しすると、AFエリアが大きくなります。
- 三脚とセルフタイマー (P.42)をおすすめします。

●次のとき、デジタルズームは働きません。
iA(インテリジェントオートモード)、(メモモード)、シーンモードの「スポーツ」「赤ちゃん」「ペット」「高感度」「高速連写」「マルチアスペクト撮影」、および「インテリジェントISO」が「OFF」以外のとき

カードが入っているときはカードの画像を、入っていないときは内蔵メモリーの画像を再生します。(メモ画像は、メモモードでのみ再生できます→P.64)



1 (再生)にする



- DMC-TZ50はモードダイヤルを Wi-Fi 以外に合わせてください。

2 画像を見る



●長押しすると早送り／早戻しできます。(押している間はファイル番号だけが変わり、放すと画像を表示します)
また、押し続けるとより早く送れます。(再生の状況により、送る早さが変わります)

●画像番号が表示されていないときは、[DISPLAY]を押してください。

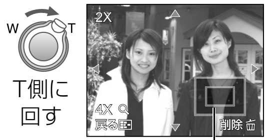
●最後の画像の次は、最初に戻ります。

●パソコンで編集した画像は、本機で再生できない場合があります。

●電源を入れた状態で撮影/再生切換スイッチを から に切り替えると15 秒後にレンズ鏡筒が格納されます。

●本機は(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格DCF (Design rule for Camera File system)および、Exif (Exchangeable Image File Format)に準拠しています。
DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。

■拡大するとき「再生ズーム」



現在のズーム位置(1 秒間表示)

- T側に回すごとに1/2/4/8/16 倍の4 段階にズームします。(表示画質は粗くなる)
- 倍率を戻すとき→W側に回す
- ズーム位置を変えるとき→▲▼◀▶で移動する

■一覧で見るとき

➡ (P.67)

■いろいろな再生方法で見るとき

(2画面で見たり、スライドショーなど)

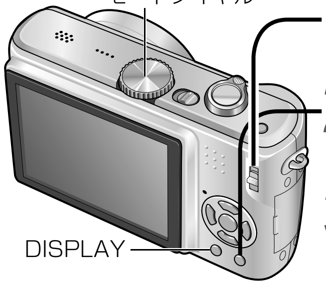
➡ (P.69)

■回転させて見るとき

➡ (P.76)

基本 5 画像を消す（削除）

カードが入っているときはカードの画像を、入っていないときは内蔵メモリーの画像を削除します。（一度消した画像は元に戻せません）



1 ▶（再生）にする

• DMC-TZ50はモードダイヤルを Wi-Fi 以外に合わせてください。

2 削除する画像を表示中に押す

Q.MENU

3 「はい」を選び、決定する



• 削除中は、電源を切らないでください。

●十分に充電したバッテリーか、ACアダプター（別売：DMW-AC5）をご使用ください。

複数（50 枚まで）/全画像を削除する

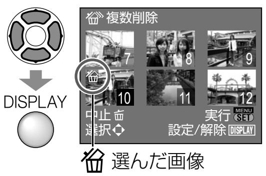
（手順**2**の後に）

3 「複数削除」/「全画像削除」を選び、決定する



•「全画像削除」するとき→手順**6**へ

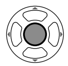
4 画像を選び、決定する（くり返す）



• 解除するとき→再度[DISPLAY]を押す

選んだ画像

5 実行する



6 「はい」を選び、決定する



(例)

• 中止するとき→[MENU/SET]を押す
• 削除枚数により、時間がかかることがあります。
•「全画像削除」のとき「お気に入り」画像があり「ON」にしていると、「★（お気に入り）以外全削除」が選べます。（P.77）

●次の場合は削除されません。
　• プロテクトした画像
　• カードのスイッチが「LOCK」になっている　• DCF規格（P.35）以外の画像
●動画も削除できます。
●メモ画像を削除するときは、モードダイヤルを メモ に合わせてください。

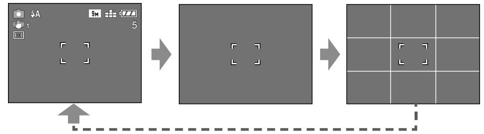
応用（撮る）1 撮影情報などの 表示を切り換える

ヒストグラムやガイドライン、撮影情報などの液晶モニターの表示を切り換えられます。



1 DISPLAY 押して表示を切り換える

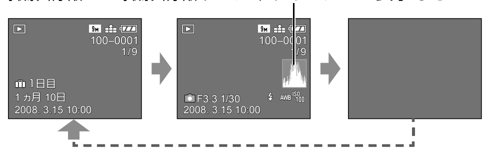
●撮影時



※1 「ヒストグラム表示」を「ON」にするとヒストグラムが表示されます。（P.23）
※2 「ガイドライン表示」でガイドラインのパターンと撮影情報の表示/非表示を選択できます。（P.23）

• iA のとき、撮影情報とガイドラインを同時に表示することはできません。

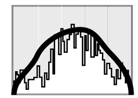
●再生時



■ヒストグラム

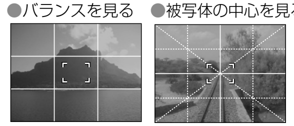
画像の明るさの分布を示しており、例えば山が右側にあれば画像に明るい部分が多いことを示します。（目安）
山が中央にあるときが適正な明るさ（適正露出）です。
露出補正（P.43）などの参考にします。

（例）



• フラッシュ発光時や暗い所で撮影する場合は、再生時とヒストグラムが一致しないためオレンジ色で表示されます。また、画像編集ソフトなどのヒストグラムと一致しないことがあります。
• iA（インテリジェントオートモード）、動画（動画撮影モード）、メモ（メモモード）、シーンモードの「マルチアスペクト撮影」、再生ズーム中は表示されません。

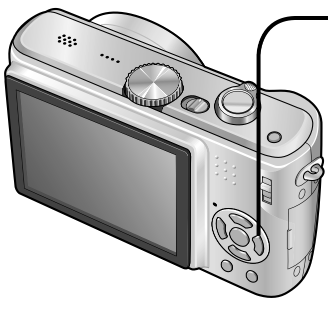
■ガイドライン



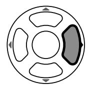
• 撮影時、バランスなど構図の参考にします。
• インテリジェントオートモードとメモモードは、田のみ表示されます。
• シーンモードの「マルチアスペクト撮影」には、設定できません。

●再生ズーム中、動画再生中、スライドショー再生中は、表示/非表示の切り換えのみになります。
●メニュー表示中、マルチ再生中やカレンダー再生中、2 画面再生中は、表示を切り換えられません。

フラッシュで撮る

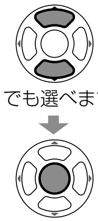


1 「フラッシュ」を表示する

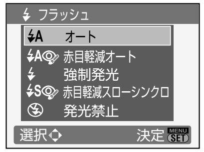


▶を押す

2 種類を選び、決定する



（▶でも選べます）



(約 5 秒間表示、通常撮影モード(📷)の例)

●フラッシュを使って乳幼児を撮影するときは、1 m以上離れてください。

種類と動作		こんなときに
⚡A	オート • 発光する／しないを自動で判断	通常使用
⚡A◎	赤目軽減オート※1 • 発光する(赤目をおさえる）／しないを自動で判断	暗い場所で人物を撮る
⚡	強制発光 • 必ず発光する	逆光または蛍光灯など照明の下で撮る
⚡◎	赤目軽減強制発光※1 (シーンモードの「パーティー」「キャンドル」のみ(P.47)) • 必ず発光する(赤目をおさえる)	逆光または蛍光灯など照明の下で撮る
⚡S◎	赤目軽減スローシンクロ※1 • 発光する(赤目をおさえ、シャッタースピードを遅くして明るく撮る）／しないを自動で判断	夜景を背景に人物を撮る (三脚をおすすめします)
⊘	発光禁止 • 発光しない	フラッシュ禁止の場所

※1 **発光時はデジタル赤目補正機能**が働き、自動的に赤目を検出して画像を補正します。フラッシュが2 回光るため、2 回光るまで動かないでください。(補正効果は個人差があります)光る間隔は被写体の明るさにより異なります。

●シャッタースピードは次のようになります。

• ⚡A、⚡A◎、⚡、⚡◎：1/30※2 ～ 1/2000 秒
• ⚡S◎、⊘：1/8※2 ～ 1/2000 秒 (※2 「下限シャッター速度」の設定によって異なる。「インテリジェントISO」設定時は最大1/4 秒、「手ブレ補正」を「OFF」にしたときやブレが少ないときは最大1 秒。その他、「インテリジェントオートモード」と「シーンモード」のシーン、ズーム位置などによって異なる。)

■撮影モード(P.15、44)別の使えるフラッシュの種類 (▢:お買い上げ時の設定)

(**○** = 網掛け:お買い上げ時の設定)

	📷	iA	✎	シーンモード														
⚡A	○	○※	○	○	○	○	**○**	×	○	×	×	○	○	○	×	**○**	○	**○**
⚡A◎	○	×	×	**○**	**○**	**○**	×	×	×	×	×	**○**	×	×	×	×	×	○
⚡	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	**○**	○	○	○
⚡◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
⚡S◎	○	×	×	×	×	×	×	**○**	×	**○**	○	×	×	×	×	×	×	○
⊘	○	○	○	○	○	○	○	○	**○**	○	**○**	○	**○**	**○**	○	○	**○**	○

※ 被写体や明るさに応じて、i⚡A (オート)、i⚡A◎(赤目軽減オート)、i⚡S◎(赤目軽減スローシンクロ)になります。
• 🎞(動画撮影モード)、シーンモードの 、、、、、、 では、フラッシュは使えません。

■ISO感度とズームによるフラッシュ撮影可能範囲

		撮影可能範囲	
		ズームW端	ズームT端
ISO感度(P.57)	AUTO	約 0.6 ～ 5.3 m	約 1.0 ～ 3.6 m
	ISO100	約 0.6 ～ 1.6 m	約 1.0 ～ 1.1 m
	ISO200	約 0.6 ～ 2.3 m	約 1.0 ～ 1.6 m
	ISO400	約 0.6 ～ 3.3 m	約 1.0 ～ 2.2 m
	ISO800	約 0.8 ～ 4.7 m	約 1.0 ～ 3.2 m
	ISO1600	約 1.15 ～ 6.7 m	約 1.0 ～ 4.5 m
インテリジェントISO(P.56)	ISOMAX400	約 0.6 ～ 3.3 m	約 1.0 ～ 2.2 m
	ISOMAX800	約 0.8 ～ 4.7 m	約 1.0 ～ 3.2 m
	ISOMAX1600	約 1.15 ～ 6.7 m	約 1.0 ～ 4.5 m
シーンモードの高感度(P.49)	ISO1600 ～ ISO6400	約 1.15 ～ 13.5 m	約 1.0 ～ 9.1 m

●フラッシュ発光部(P.14)を手でふさいだり、近く(数cm)で見たりしないでください。また、ものを近づけないでください。(熱や光で変形することがあります)
●撮影モードを変えるとフラッシュ設定が変わることがあります。
●シーンモードを変えると、フラッシュ設定はお買い上げ時の設定に戻ります。
●ズームを使わずに、至近距離(W端付近)でフラッシュを使って撮影すると、画像の端が暗くなることがあります。少しズームすると改善することがあります。
●フラッシュ発光時は、[シャッター]を半押しすると⚡A (オート)などのマークが赤になります。
●⚡A (オート)などのマークが点滅中はフラッシュ充電中のため、撮影できません。
●光が十分に届かないときは、適切な露出やホワイトバランスにならない場合があります。
●シャッタースピードが速い場合、効果が十分得られないことがあります。
●バッテリー残量が少ないときや、連続して発光させたときは、フラッシュの充電に時間がかかることがあります。
●「自動液晶OFF」(P.24)設定時は、フラッシュ充電中に液晶モニターが消灯します。

応用(撮る) 3 近づいて撮る

被写体を大きく撮影したいとき、「マクロ(AF)」にすると、通常ピントが合う距離よりも近づいて(W端なら5 cmまで)撮影できます。

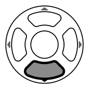
モードダイヤル

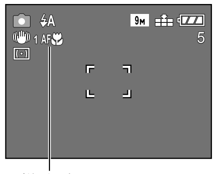


1 (撮影)にする

2 (通常撮影モード)または (動画撮影モード)に合わせる

3 「マクロ」にする





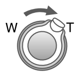
AF を表示

●50 cm以上離れた被写体のときは、ピントが合うのに多少時間がかかります。

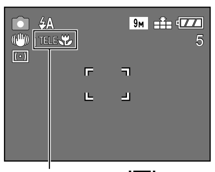
• 解除するとき→再度▼を押す

「テレマクロ」被写体に近づかずにアップで撮る

近づくと逃げる鳥などを少し離れて大きく撮りたいときや、背景をぼかして被写体を際立たせたいときなどに便利です。
光学ズームまたはEX光学ズームを最大倍率にすると自動的に「テレマクロ」が働き、被写体に1 mまで近づいてもピントが合います。



T端まで回す



(通常撮影モード)および (動画撮影モード)で「マクロ」設定時は、TELE を表示します。

●デジタルズームでも働きます。
●次のときは働きません。
- (通常撮影モード)および (動画撮影モード)で「マクロ」を使わないとき
- シーンモードで「料理/キャンドル/赤ちゃん/高感度/水中/ペット/高速連写」以外のとき

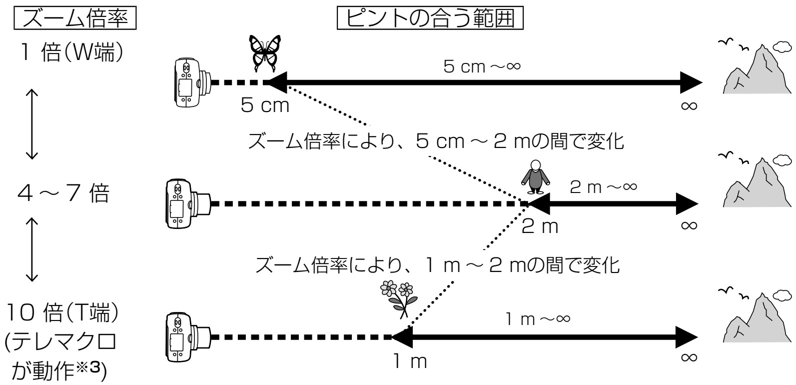
●三脚やセルフタイマー (P.42)の使用、フラッシュ発光禁止 での撮影をおすすめします。(P.38)
●被写体が近い場合、ピントを合わせた後にカメラを動かすと、ピントが合いにくくなります。
●画像周辺の解像度が少し下がることがあります。
●iA(インテリジェントオートモード)を使うと、自動でマクロ撮影を判別できるので便利です。(iA 表示時)

応用(撮る) 4 カメラと被写体を ピントの合う距離にする

ズーム倍率によって、被写体に近づける距離が変わります。
モードダイヤルごとに次のようになります。
⟷ ピントの合う範囲　　- - - - ピントの合わない範囲

■ モードダイヤル:iA ※1 ※1 SCN1※2 SCN2※2 (DMC-TZ50: SCN※2) のとき

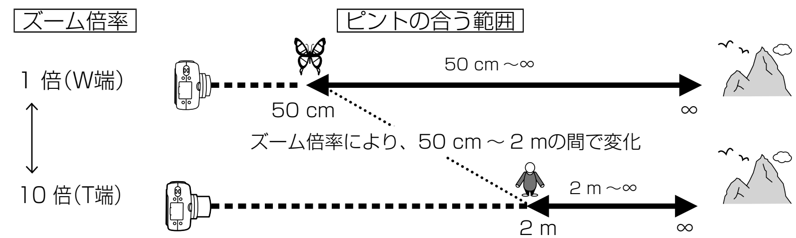
※1 マクロ(AF)を使うとき
※2 料理、キャンドル、赤ちゃん、高感度、水中、ペット、高速連写のとき



※3 (通常撮影モード)および (動画撮影モード)で「マクロ」設定時は、TELE を表示します。

■ モードダイヤル: ※4 ※4 SCN1※5 SCN2※5 (DMC-TZ50: SCN※5) のとき

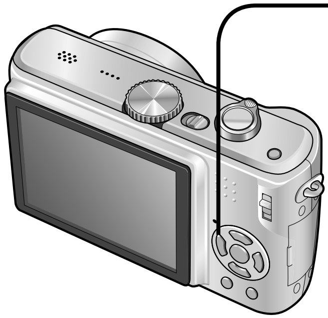
※4 マクロ(AF)を使わないとき
※5 人物、美肌、スポーツ、パーティ、夕焼け、星空、ビーチ、雪、マルチアスペクト撮影のとき



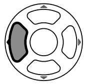
●ズーム倍率は目安です。
●上記以外のシーンモードは、シーンによってピントの合う範囲が異なります。
●EX光学ズームが働いているときは、上図のズーム倍率の値が変わります。
●W端 :ズームレバーをW側いっぱいにした状態(ズームを使わない)
T端 :ズームレバーをT側いっぱいにした状態(ズーム倍率が最大)

応用(撮る) 5 セルフタイマーで撮る

三脚の使用をおすすめします。セルフタイマーを2 秒に設定すると、[シャッター]を押したときのカメラのブレを防ぐのにも効果的です。

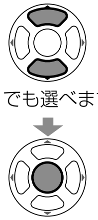


1 「セルフタイマー」を表示する



◀を押す

2 時間を選び、決定する



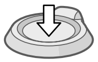
(◀でも選べます)



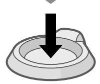
(約 5 秒間表示)

3 撮影する





半押し
(ピント合わせ)



全押し
(設定時間後に撮影)



- カウントダウン中に中止するとき→[MENU/SET]を押す

セルフタイマーランプ
(設定時間、点滅)

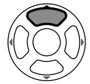
- ●[シャッター]を一度に全押ししても、撮影直前にカメラが自動的にピントを合わせます。
- ●セルフタイマーランプは点滅後、AF補助光として点灯することがあります。
- ●シーンモードの「水中」「高速連写」、および (動画撮影モード)では使用できません。
- ● (メモモード)とシーンモードの「自分撮り」では「10 秒」は選べません。また、 (インテリジェントオートモード)では「2 秒」は選べません。

応用(撮る) 6 露出を補正して撮る

逆光時や、暗すぎる/明るすぎる場合に露出を補正します。
(明るさによっては、補正できない場合があります)

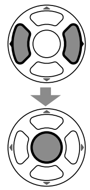
「露出補正」明るさを調整する

1 「露出補正」を表示する

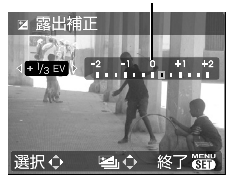


▲を押す

2 値を選び、決定する



補正しないとき：「0」



● 例



明るすぎる

「−」方向へ補正



適度な明るさ

「+」方向へ補正

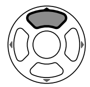


暗すぎる

「 オートブラケット」露出を自動で変えながら3 枚連写する

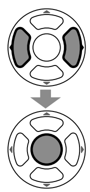
上記「露出補正」後は、補正値を基準にします。

1 「オートブラケット」を表示する

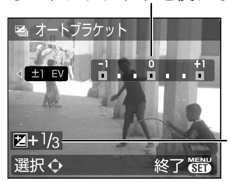


▲を数回押す

2 補正幅を選び、決定する



オートブラケットを使わないとき：「0」



「露出補正」後は補正値を表示

● ±1 EVの例



1 枚目
0 EV
(基準)



2 枚目
−1 EV
(暗く)



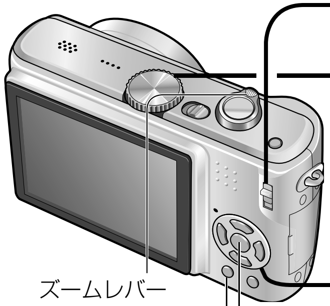
3 枚目
+1 EV
(明るく)

- ●露出補正後は、画面左下に補正値(など)が表示されます。また、オートブラケット設定後は、画面左側に が表示されます。
- ●オートブラケットではフラッシュは使えません。
- ●オートブラケットは、記録可能枚数が2 枚以下のときは働きません。また、電源を切ると解除されます。
- ●オートブラケットを設定すると連写は解除されます。

SCN1※1 SCN2 場面に合わせて撮る

SCN※2「シーンモード」(※1：DMC-TZ5、※2：DMC-TZ50)

シーンモードを使うと、場面に合った最適な設定(露出や色調など)で撮影できます。



1 (撮影)にする

2 「SCN1」または「SCN2」(シーンモード)に合わせる (DMC-TZ50のときは「SCN」)



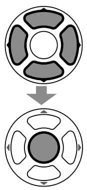
(DMC-TZ5)



(DMC-TZ50)

3 シーンを選び、決定する
(シーンメニューが表示されないときは、[MENU/SET]を押す)

●シーンメニュー





ズームレバーでも次の画面に切り換えられます。

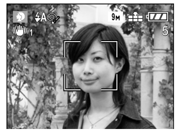
(例：DMC-TZ5)

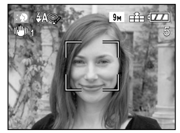
各シーンの解説
シーンを選び、[DISPLAY]を押す

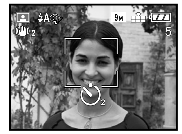
■シーンメニューを表示させたくないとき
➡「シーンメニュー」を「OFF」にする(P.26)

●**「SCN1」と「SCN2」について** (DMC-TZ5のみ)
どちらも同じ機能です。「SCN1」と「SCN2」は一度設定すると、そのシーン1つだけを記憶します。よく使うシーンを選んでおくと(例えばSCN1で「夜景」、SCN2で「夜景&人物」)、すぐ切り換えられて便利です。
●場面に合わないシーンを選ぶと、画像の色合いが変わることがあります。
●次の撮影メニューはカメラが自動調整するため、設定できません。(また、シーンによって、設定できない項目があります)
「インテリジェントISO」「ISO感度」「測光モード」「暗部補正」「カラーモード」「下限シャッター速度」
●暗部補正は、次のシーンで状況に応じて自動的に働きます。
「人物」「美肌」「自分撮り」「風景」「スポーツ」「夜景&人物」「パーティー」「キャンドル」「赤ちゃん」「夕焼け」「高感度」
●ホワイトバランスは、次のシーンでのみ設定できます。(シーンを変えると「AWB」に戻ります)
「人物」「美肌」「自分撮り」「スポーツ」「赤ちゃん」「ペット」「高感度」「高速連写」「マルチアスペクト撮影」
●フラッシュは、シーンによって使える種類が異なります(P.39)。また、シーンを変えるとお買い上げ時の設定に戻ります。
●ガイドラインは、次のシーンではグレーで表示されます。
「夜景&人物」「夜景」「星空」「花火」

場面(シーン)の種類

人物


美肌


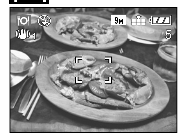
自分撮り


風景


スポーツ


夜景&人物


夜景


料理


パーティー

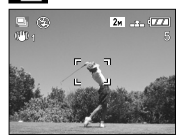

キャンドル

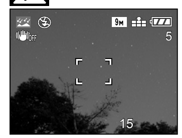

赤ちゃん

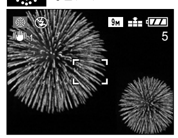

ペット


夕焼け


高感度


高速連写


星空


花火


ビーチ


雪


空撮


水中

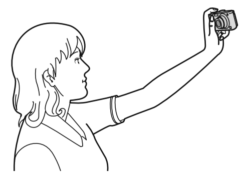

マルチアスペクト撮影


●各シーンの機能・コツなど(P.46 ～ 51)

SCN1※1 SCN2 SCN※2 場面に合わせて撮る（続き）

SCN※2「シーンモード」（※1：DMC-TZ5、※2：DMC-TZ50）

シーンモードの選びかた(P.44)
シーンモードのフラッシュについて(P.39)

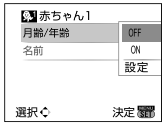
シーン	こんなときに・コツ	お知らせ
人物	昼間の屋外で、人物を引き立て、肌色を健康的に。 撮影のコツ • 被写体にできるだけ近づく。 • ズーム：できるだけ望遠(T側)で。	• オートフォーカスモードの初期設定は （顔認識）です。
美肌	明るい昼間の屋外で、肌色をなめらかに。胸から上の撮影に効果的です。 撮影のコツ • 被写体にできるだけ近づく。 • ズーム：できるだけ望遠(T側)で。	• 明るさにより、効果がわかりにくい場合があります。 • オートフォーカスモードの初期設定は （顔認識）です。
自分撮り	自分で自分を撮る。 撮影のコツ • [シャッター]半押し→ピントが合うとセルフタイマーランプ点灯(点滅：ピントが合っていない)→全押し(撮影後は、自動的にレビューされます) • ピントが合う範囲　W端：30 cm ～ 70 cm • ズームしない。(ズームするとピントが合いにくくなります。また、他のシーンから「自分撮り」に移ると、ズームは自動的にW端の位置に移動します。) • セルフタイマーを「2 秒」に設定する。 	• 音声付きで撮るには(P.63) (録音中はセルフタイマーランプ点灯) • 次の機能は固定です。 ズーム位置メモリー：OFF セルフタイマー：OFF/2 秒 手ブレ補正：MODE2 AF補助光：OFF • オートフォーカスモードの初期設定は （顔認識）です。
風景	広がりのある遠くの被写体をくっきりと。 撮影のコツ • 被写体から5 m以上離れる。	• 次の機能は固定です。 フラッシュ： (発光禁止) AF補助光：OFF
スポーツ	スポーツなど、動きの速いシーンに。 撮影のコツ • 被写体から5 m以上離れる。	• 次の機能は固定です。 インテリジェントISO： 最高ISO感度800 • デジタルズームは設定できません。

シーン	こんなときに・コツ	お知らせ
夜景＆人物	人物と夜景を、見た目に近い明るさで。 撮影のコツ • 被写体は1 秒間動かない。 (シャッタースピード：最大1 秒) • フラッシュを使う。 • 三脚、セルフタイマーを使う。 • W端(広角)にして1.5 m離れる (ピント：1.2 m ～ 5 m)	• 暗いとノイズが目立つことがあります。 • 撮影後、シャッターが1 秒間閉じたままになることがあります。 • 次の機能は固定です。 AF連続動作：OFF • オートフォーカスモードの初期設定は （顔認識）です。
夜景	夜景を鮮やかに。 撮影のコツ • 被写体から5 m以上離れる。 • カメラを8 秒間動かさない。 (シャッタースピード：ブレが少ないときや三脚使用時、手ブレ補正が「OFF」のときは最大8 秒) • 三脚、セルフタイマーを使う。	• 暗いとノイズが目立つことがあります。 • 撮影後、シャッターが最大 8 秒間閉じたままになることがあります。 • 次の機能は固定です。 フラッシュ： (発光禁止) ISO感度：ISO100 ～ 800 AF連続動作：OFF AF補助光：OFF
料理	周囲の光に影響されず、料理を自然な色で。 撮影のコツ • ピントが合う範囲(マクロ撮影と同じ) W端：5 cm以上 T端以外：2 m以上 (T端：1 m以上)	–
パーティー	室内の結婚式など、人物と背景を明るく。 撮影のコツ • 被写体から約 1.5 m離れる。 • ズーム：広角(W側) • フラッシュを使う。 • 三脚、セルフタイマーを使う。	• オートフォーカスモードの初期設定は （顔認識）です。
キャンドル	ろうそくの明かりの雰囲気を引き立てる。 撮影のコツ • ピントが合う範囲(マクロ撮影と同じ) W端：5 cm以上 T端以外：2 m以上 (T端：1 m以上) • フラッシュを使わない。 • 三脚、セルフタイマーを使う。 (シャッタースピード：最大1 秒)	• オートフォーカスモードの初期設定は （顔認識）です。

SCN1※1 SCN2 SCN※2「シーンモード」(※1：DMC-TZ5、※2：DMC-TZ50) 場面に合わせて撮る(続き)

シーンモードの選びかた(P.44)
シーンモードのフラッシュについて(P.39)

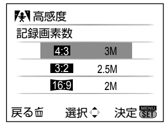
<table>
<tr><th>シーン</th><th>こんなときに・コツ</th><th>お知らせ</th></tr>
<tr><td>赤ちゃん</td><td>赤ちゃんの肌を健康的に。また、フラッシュ発光時は弱めの光で発光。

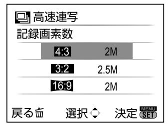
撮影のコツ
• 赤ちゃんの誕生日と名前を設定する。
(「赤ちゃん1」「赤ちゃん2」に別々に設定できます)

①▲▼で「月齢/年齢」または「名前」を選んで▶を押し、「設定」を選んで[MENU/SET]を押す。
②誕生日や名前を設定する。
誕生日：▲▼◀▶で誕生日を入力し、[MENU/SET]を押す。
名前：(文字入力方法：P.72)
③[MENU/SET]を押して終了する。

• 撮影前に、「月齢/年齢」と「名前」が「ON」になっていることを確認してください。
• リセットするとき→「セットアップメニュー」の「設定リセット」で、「セットアップ設定」を「はい」にする
• ピントが合う範囲(マクロ撮影と同じ)
W端：5 cm以上
T端以外：2 m以上 (T端：1 m以上)</td><td>• このモードにしたとき、月齢/年齢と名前を約 5 秒間画面表示します。
• 「月齢/年齢」は、付属のCD-ROM (PHOTOfunSTUDIO-viewer-)を使ってパソコンで印刷設定をしたり、本機の「文字焼き込み」(P.73)で画像に焼き込むことができます。
• 生まれた日は「0ヵ月0日」になります。
• 次の機能は固定です。
インテリジェントISO：最高ISO感度400
• オートフォーカスモードの初期設定は(顔認識)です。
• デジタルズームは設定できません。
• 「トラベル日付」の「旅行先」を設定しているときは、名前は記録されません。</td></tr>
<tr><td>ペット</td><td>月齢/年齢を記録して撮る。

撮影のコツ
• 「赤ちゃん」(上記)と同じ。</td><td>• 次の機能は固定です。
インテリジェントISO：最高ISO感度800
• 初期設定が次のようになります。
オートフォーカスモード：(1 点)
AF補助光：OFF
• その他のお知らせ、固定される機能は「赤ちゃん」(上記)と同じです。</td></tr>
<tr><td>夕焼け</td><td>夕焼けなどの風景の赤色を鮮やかに。</td><td>• 次の機能は固定です。
フラッシュ：(発光禁止)
AF補助光：OFF</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>シーン</th><th>こんなときに・コツ</th><th>お知らせ</th></tr>
<tr><td>高感度</td><td>薄暗い室内で被写体のブレをおさえる。

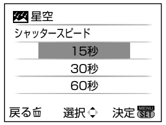
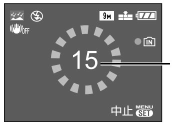
撮影のコツ
▲▼でアスペクト・記録画素数を選び、[MENU/SET]で決定する。

• ピントが合う範囲(マクロ撮影と同じ)
W端：5 cm以上
T端以外：2 m以上 (T端：1 m以上)</td><td>• 高感度処理のため、画質が少し粗くなります。
• 次の機能は固定です。
クオリティ：(スタンダード)
ISO感度：ISO1600 ～ 6400
• 次の機能は設定できません。
EX光学ズーム/デジタルズーム</td></tr>
<tr><td>高速連写</td><td>速い動きや瞬間を撮る。

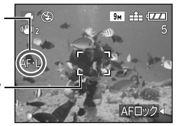
撮影のコツ
①▲▼でアスペクト・記録画素数を選び、[MENU/SET]で決定する

②撮影する([シャッター]長押し)
[シャッター]を押している間、静止画を連続して撮影します。
<table><tr><td>最高速度※</td><td colspan="2">約 6 コマ/秒</td></tr><tr><td rowspan="2">連写枚数※</td><td>内蔵メモリー</td><td>約 20 枚</td></tr><tr><td>カード</td><td>約 20 ～ 100 枚
(最大 100 枚)</td></tr></table>※ 撮影条件やカードによって異なります。
• ピントが合う範囲(マクロ撮影と同じ)
W端：5 cm以上
T端以外：2 m以上 (T端：1 m以上)</td><td>• フォーマット直後は連写枚数が増える場合があります。
• 画質が少し粗くなります。
• 次の機能は固定です。
フラッシュ：(発光禁止)
クオリティ：(スタンダード)
ISO感度：ISO500 ～ 800
• ピント、ズーム、露出補正、ホワイトバランス、シャッタースピード、ISO感度は、最初の1 枚目の設定に固定されます。
• 次の機能は設定できません。
EX光学ズーム/デジタルズーム/オートブラケット/セルフタイマー /画像横縦比/記録画素数/音声記録/連写</td></tr>
</table>

SCN1※1 SCN2 SCN※2 場面に合わせて撮る(続き)

「シーンモード」(※1：DMC-TZ5、※2：DMC-TZ50)

シーンモードの選びかた(P.44)
シーンモードのフラッシュについて(P.39)

シーン	こんなときに・コツ	お知らせ
星空	星空や暗い被写体を鮮明に。 • シャッタースピードの選択 ①▲▼で選び、[MENU/SET]を押す。  • クイック設定でも秒数を変えられます。(P.66) ②[シャッター]を押す。  カウントダウンが始まる 撮影のコツ • 暗いときは、シャッタースピードを長く設定する。 • 必ず三脚を使う。 • セルフタイマーを使う。 • 上記画面のカウントダウンが終了するまでカメラを動かさない。(このあと、処理のためのカウントダウンが再度表示されます)	• 次の機能は固定です。 フラッシュ：(発光禁止) ISO感度：ISO100 AF連続動作：OFF 手ブレ補正：OFF 音声記録：OFF • 次の機能は設定できません。 連写/露出補正/オートブラケット
花火	夜空に上がる花火をきれいに。 撮影のコツ • 被写体から10 m以上離れる。 • 三脚を使う。	• シャッタースピードは1/4 秒に、またブレが少ないときや手ブレ補正が「OFF」のときは2 秒に固定されます。(露出補正するとシャッタースピードは変わります) • 次の機能は固定です。 フラッシュ：(発光禁止) ISO感度：ISO100 AF連続動作：OFF AF補助光：OFF
ビーチ	海や空の青色を鮮明に、人物を暗くしない。	• オートフォーカスモードの初期設定は(顔認識)です。 • カメラに砂や海水がかからないように気をつけてください。

シーン	こんなときに・コツ	お知らせ
雪	スキー場や雪山で、雪景色を自然な色で。	• 気温が低いときはバッテリーの使用時間が短くなります。
空撮	飛行機からの窓越しの景色に。 撮影のコツ • 濃淡のある部分にピントを合わせる。 • 室内の景色が窓に映らないか確認する。	• 次の機能は固定です。 フラッシュ：(発光禁止) AF補助光：OFF • **離発着時は電源を切ってください。** • **ご使用の際は、乗務員の指示に従ってください。**
水中	水中で自然な色を。 撮影のコツ • 動きの速い被写体には、AFエリアを合わせて◀を押す(AFロック)。 (解除するとき→再度◀を押す) •「ホワイトバランス微調整」(P.58)で赤み・青みを調整する。 • ピントが合う範囲(マクロ撮影と同じ) W端：5 cm以上 T端以外：2 m以上 (T端：1 m以上)	• マリンケース(別売：DMW-MCTZ5)を必ず使用してください。 • セルフタイマーは設定できません。 AFロック(ピント固定) AFエリア 
マルチアスペクト撮影	一回のシャッターで4:3、3:2、16:9の3 枚の画像が撮影できる。 撮影のコツ • 被写体が画面中央にくるようにする。  3:2 (赤) 16:9 (緑) 4:3 (青)	• 次の機能は固定です。 クオリティ：(スタンダード) 記録画素数：各アスペクトの最大 • 記録可能枚数が2 枚以下のときは働きません。(2 枚以下になると枚数を点滅表示) • ピント、露出補正、ホワイトバランス、ISO感度は3 枚とも同じ設定になります。 • 次の機能は設定できません。 EX光学ズーム/デジタルズーム/オートブラケット/ガイドライン/ヒストグラム表示/連写/音声記録 • プリント時に端が切れる場合があるので、事前に確認してください。

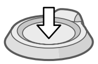
応用(撮る) 8 動画を撮る
「動画撮影モード」

音声付き動画を記録します。(音声なしの記録はできません) また、撮影中にズームすることができます。
(カードに撮る場合は、パッケージなどに「10 MB/s」以上の記載があるものをおすすめします。)

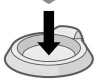
1 撮影/再生切換スイッチを(撮影)にする

2 モードダイヤルを(動画撮影モード)に合わせる

3 撮影を開始する



[シャッター]半押し
(ピント合わせ)

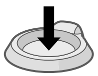


[シャッター]全押し
(撮影開始)



残り撮影可能時間(目安)
撮影経過時間(目安)

4 終了する



[シャッター]全押し

- 動画を連続して記録できるのは、約 2 GBまでです。(撮影可能時間も約 2 GBで計算して表示されます) 2 GB以上記録したいときは、再度[シャッター]を押してください。(ただし、表の※3 の場合のみ、連続記録時間は最大15分になります)

■横縦比と画質を設定するとき

➡ [MENU/SET]を押して撮影メニューを表示し、「画像横縦比」(P.56)を設定後「画質設定」を選ぶ

画像横縦比	画質設定	画素数	画像の大きさ
4:3	30fps VGA	640 x 480	QVGAよりやや大きい
	10fps VGA		
	30fps QVGA※1	320 x 240	小さい (メール添付や長時間記録向き)
	10fps QVGA※1		
16:9	30fps 16:9H※2	1280 x 720	大きい(ワイド) **「30 fps 16:9H」「1280 x 720」に設定すると高画質で撮影できます。**
	15fps 16:9H※2		
	30fps 16:9L※3	848 x 480	
	10fps 16:9L※3		

※1 内蔵メモリーに記録する場合はQVGAのみ選択可能です。
※2 別売のD端子接続用コンポーネントケーブルでテレビと接続すると、高画質で再生できます。(P.87)
- 「fps」は1 秒あたりのコマ数です。
  例) 30fps→なめらかさ優先
  10fps→撮影時間優先
- 記録可能時間について詳しくはP.102へ

■動画を再生するとき ➡ (P.68)

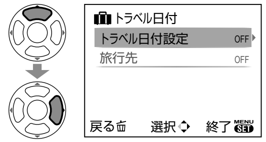
- **マイク(P.14)を指でふさがないでください。**
- [シャッター]は全押し後すぐに放してください。押し続けると記録開始後の数秒間は音声が記録されません。
- 撮影中はイージーズームを使用できません。
- 操作音やズーム音など本体の動作音が記録される場合があります。
- ズームスピードは通常より遅くなります。
- フォーカスを固定したいときは、「AF連続動作」を「OFF」にしてください。
- 次の機能は使えません。「手ブレ補正」のMODE2、「オートフォーカスモード」の顔認識、「カラーモード」の「ナチュラル」と「ヴィヴィッド」、EX光学ズーム、縦撮影時の自動回転表示
- 長時間撮影した動画はメール添付には向いていません。
- 空き容量がなくなると自動終了します。また、カードによっては、途中で撮影が終了することがあります。
- マルチメディアカードには対応していません。

応用(撮る) 9 旅行先で便利な機能

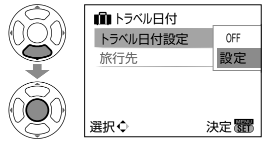
「トラベル日付」旅行日と旅先を記録する

出発日と旅行先を設定して撮影すると、旅行何日目にどこで撮影したかが記録されます。
操作： • 時計の設定が必要です(P.19)
• [MENU/SET]を押す→「セットアップメニュー」→「トラベル日付」を選ぶ(P.20)

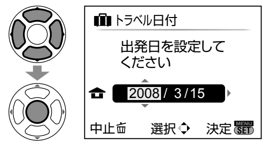
1 「トラベル日付設定」を選ぶ



2 「設定」を選び、決定する

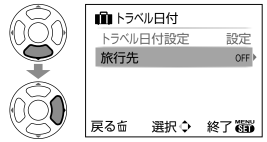


3 出発日を設定し、決定する

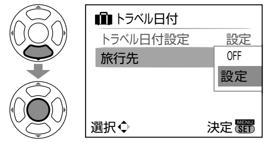


4 ▲▼◀▶で帰着日を設定し、[MENU/SET]で決定する
帰着日を設定しないときは、何も入力せず[MENU/SET]を押す。

5 「旅行先」を選ぶ



6 「設定」を選び、決定する



7 旅行先を入力する
- 文字入力方法(P.72)
- 文字入力終了後、[MENU/SET]を2 回押してメニューを終了する

■ 解除するとき ➡
帰着日を過ぎると自動的に解除されます。途中で解除する場合は、手順**2**で「OFF」を選び、[MENU/SET]を3 回押してメニューを終了する。

- トラベル日付を設定すると、再生モードから撮影モードへの切換時や電源を入れたときに画面下に経過日数が約 5 秒間表示されます。(画面右下に を表示)
- 「ワールドタイム」(次ページ)で旅行先を設定したときは、旅行先の日付をもとに経過日数を表示します。
- 出発日前はオレンジ色で「−○日目」と表示されます。(出発日までは記録されません)
- トラベル日付が白色で「−1日目」と表示される場合は、「ホーム」と「旅行先」との間に、日付をまたぐ時差があります。(記録されます)
- 「旅行先」で設定したテキストは撮影後でも「タイトル編集」(P.72)で変更できます。
- 経過日数や旅行先をプリントするときは、「文字焼き込み」(P.73)を行うか、付属のCD-ROM(PHOTOfunSTUDIO-viewer-)を使ってプリントしてください。
- 「旅行先」設定時は、「赤ちゃん」「ペット」の名前は記録されません。
- 動画撮影の際、「旅行先」は記録できません。

応用(撮る) 9 旅行先で便利な機能(続き)

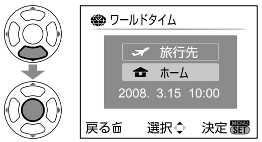
「ワールドタイム」海外旅行先の日時を設定する

操作：
- 時計の設定が必要です(P.19)
- [MENU/SET]を押す→「セットアップメニュー」→「ワールドタイム」を選ぶ(P.20)

お買い上げ時は、「ホームエリアを設定してください」と表示されます。その場合は、[MENU/SET]を押して手順**2**へ。

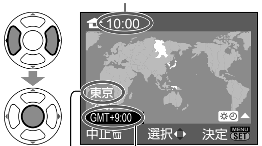
■ ホーム(お住まいの地域)を設定する

1 「ホーム」を選び、決定する



2 ホーム(お住まいの地域)を設定し、決定する

現在時刻

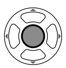


- 中止するとき→ 押す

GMT（グリニッジ標準時）との時差
都市・地域名

この後、お買い上げ時(または「リセット」時)のみ、手順**1**の画面が表示されます。
このとき、メニューを終了するには、[MENU/SET]を3 回押してください。

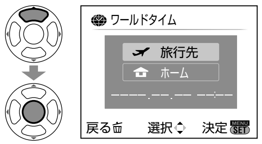
3 メニューを終了する



押す

■ 旅行先を設定する

1 「旅行先」を選び、決定する



2 都市・地域(エリア)を設定し、決定する

選んだエリアの現在時刻

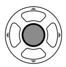


- 中止するとき→ 押す

ホームとの時差
都市・地域名(エリア)

旅行先の地域が表示されない場合"ホームとの時差"を参考に選んでください。

3 メニューを終了する



押す

■ 旅行から戻ったとき ➡ 左上の手順**1**、**2**、**3**を行い、時計をホームに戻す

■ サマータイム を設定／解除するとき



手順**2**で▲を押す。(再度押すと解除)

●ホームのサマータイムを設定しても、時計設定は変わりません。時計設定を1時間進めてください。
●旅行先を設定して撮影した画像は、再生時に(旅行先)が表示されます。

応用(撮る) 10 撮影メニューを使う

撮影/再生切換スイッチ：

は、お買い上げ時の設定です。
よく使うメニューは、「クイック設定」(P.66)が便利です。

「記録画素数」画素数を設定する

画像(粒子)のきめ細かさを設定します。この設定と「クオリティ」(下記)で撮影できる枚数が決まります。(P.102)

■ 操作：モードダイヤル iA SCN1※ SCN2※ →[MENU/SET]を押す→「記録画素数」を選ぶ(P.20)
(※DMC-TZ50：SCN)

■ 設定

画像横縦比 (P.56)	記録画素数の種類			
4:3	9 M (3456×2592)	7 M EZ (3072×2304)	5 M EZ (2560×1920)	3 M EZ (2048×1536)
	2 M EZ (1600×1200)	0.3 M EZ (640×480)	–	–
3:2	8.5 M (3552×2368)	6 M EZ (3072×2048)	4.5 M EZ (2560×1712)	2.5 M EZ (2048×1360)
16:9	7.5 M (3712×2088)	5.5 M EZ (3072×1728)	3.5 M EZ (2560×1440)	2 M EZ (1920×1080)

●EZ の付いた画素数を選ぶと、EX光学ズームが使えます。
●iA (インテリジェントオートモード)時は、4：3では7 M EZ と2 M EZ に、3：2では6 M EZ に、16:9では5.5 M EZ に設定できません。
●シーンモードの「高感度」「高速連写」「マルチアスペクト撮影」では、EX光学ズームは使えません。
●被写体や撮影状況によっては、画像がモザイク状になることがあります。

設定の目安

画素数が大きい	←→	画素数が小さい※
きめ細かい		粗い
撮影枚数が少ない		撮影枚数が多い

※ 例えば、「0.3 M EZ」は、データ容量が小さいので、Eメールでの送付などに便利です。

「クオリティ」画質を設定する

■ 操作：モードダイヤル SCN1※ SCN2※ →[MENU/SET]を押す→「クオリティ」を選ぶ(P.20)
(※DMC-TZ50：SCN)

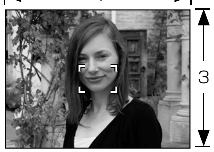
■ 設定：
- ：ファイン(高画質、画質優先)
- ：スタンダード(標準画質、枚数優先)

「画像横縦比」画像の横縦比を変える

■ 操作：モードダイヤル iA [撮影] SCN1※ SCN2※ [動画]→[MENU/SET]を押す→「画像横縦比」を選ぶ(P.20)
(※DMC-TZ50：SCN)

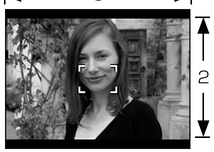
■ 設定

4:3



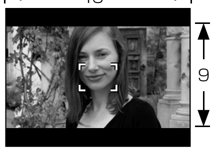
4：3のテレビやパソコンと同じサイズ

3:2 (静止画のみ)



一般のフィルムカメラと同じサイズ

16:9



ワイドテレビやハイビジョンテレビで見るとき

●プリント時に端が切れる場合があるので、事前に確認してください。

「iISO インテリジェントISO」被写体の動きに合わせてブレをおさえる

被写体の動きに合わせて、カメラが自動的にISO感度とシャッタースピードを調整してブレをおさえます。ISO感度が高いほど被写体ブレや手ブレをおさえられますが、ノイズが増えます。下の表を元に最高ISO感度を設定してください。

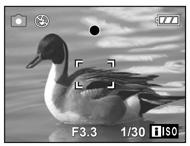
■ 操作：モードダイヤル [撮影]→[MENU/SET]を押す→「インテリジェントISO」を選ぶ(P.20)

■ 設定：OFF ／ISOMAX 400／ISOMAX 800／ISOMAX 1600

設定の目安

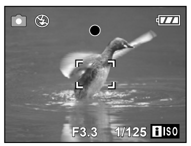
被写体の動き	遅い ←→	速い
ISO感度	低くなる	高くなる
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	減る	増える

●動きの遅い被写体



ISO感度200
(シャッタースピード1/30)

●動きの速い被写体



ISO感度800
(シャッタースピード1/125)

●撮影後、画面にシャッタースピードとISO感度を数秒間表示します。
●ノイズが気になるときは、設定を低くするか、「カラーモード」(P.62)を「ナチュラル」にすることをおすすめします。
●明るさ、被写体の大きさ、位置、動きの速さなどによっては、ブレる場合があります。(被写体が小さすぎる、画面の端にある、[シャッター]を全押しした瞬間に動き出すなど)
●フラッシュで撮影できる範囲について(P.39)

「ISO ISO感度」光に対する感度を設定する

ISO感度(光に対する感度)を自分で設定します。
暗い場所で明るく撮りたいときは、高く設定することをおすすめします。

■ 操作：モードダイヤル [撮影]→[MENU/SET]を押す→「ISO感度」を選ぶ(P.20)

■ 設定：AUTO（自動）／100／200／400／800／1600

設定の目安

ISO感度	100 ←→	1600
適した撮影場所	明るい(屋外)	暗い
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	減る	増える

●「AUTO」は、明るさに応じて、最大 400（フラッシュ使用時は最大 1000)までの範囲で自動設定します。
●「100」に設定すると、「暗部補正」は解除されます。
●フラッシュで撮影できる範囲について(P.39)
●「インテリジェントISO」使用時は設定できません。(iISO を表示)
●ノイズが気になるときは、設定を低くするか、「カラーモード」(P.62)を「ナチュラル」にすることをおすすめします。

撮影メニューを使う(続き)

撮影/再生切換スイッチ：[撮影]

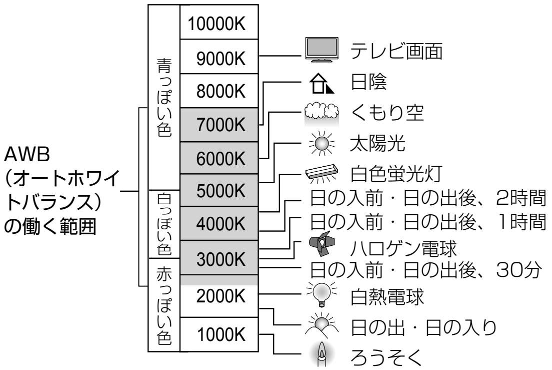
「[WB] ホワイトバランス」色合いを設定する

色合いが不自然なときに光源に合わせて自然な色に調整します。

■ 操作：モードダイヤル [撮影] SCN1※ SCN2※ [動画]→[MENU/SET]を押す→「ホワイトバランス」を選ぶ(P.20)
(※DMC-TZ50：SCN)

■ 設定： AWB (自動調整、通常推奨) ／[晴天](晴天の屋外) ／[曇り](曇りの屋外) ／[日陰](屋外晴天下の日陰) ／[白熱灯](白熱灯) ／[ホワイトセット](SET で設定した値を使用) ／[ホワイトセット]SET(AWB、[晴天]、[曇り]、[日陰]、[白熱灯]では合わないときに手動設定)

AWBが働く範囲について



●範囲外では、映像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、範囲内にあっても、光源が複数の場合は、正常に働かない場合があります。

●蛍光灯のときは「AWB」または「[ホワイトセット]SET」に設定することをおすすめします。

■「[晴天]」「[曇り]」「[日陰]」「[白熱灯]」「[ホワイトセット]」を微調整するとき

ホワイトバランスを設定しても思い通りの色合いにならないとき、ホワイトバランスを個々に微調整することができます。(ホワイトバランス微調整)

①▲を数回押して「WB微調整」を表示する。
②赤みが強いときは▶で、青みが強いときは◀で調整する。
③[MENU/SET]を押す。

• 電源を切っても記憶されます。
• フラッシュ撮影にも反映されます。
• シーンモードの「水中」では、「AWB」に固定されますが、微調整できます。
• 「カラーモード」(P.62)が「白黒」「セピア」「クール」「ウォーム」のときはできません。

微調整すると、赤または青に変わる

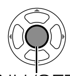


■ 手動で設定するとき([ホワイトセット]SET)

撮りたい光源の下で白いものを写して色を合わせます。

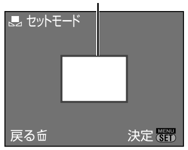
① [ホワイトセット]SET を選び、[MENU/SET]を押す。
②紙など白いものを写し、[MENU/SET]を押す。
③ [MENU/SET]を2 回押して終了する。

• ホワイトバランス微調整はリセットされます。



MENU/SET

枠内に白いものだけ映す(手順②)

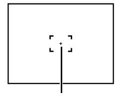


「[測光] 測光モード」明るさを測る位置を変える

露出を補正するときにどの位置の明るさを測るかを変えられます。

■ 操作：モードダイヤル [撮影] [動画]→[MENU/SET]を押す→「測光モード」を選ぶ(P.20)

■ 設定

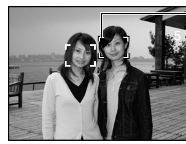
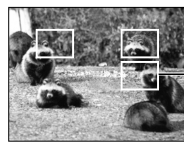
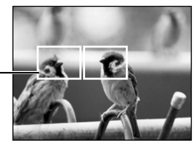
	明るさの測定位置	こんなとき
[(•)] 評価測光	画面全体	通常使用 (バランスがとれた写真になります)
[( )] 中央重点測光	画面中央とその周囲	被写体が画面中央にあるとき
[•] スポット測光	中央の狭い範囲  スポット測光ターゲット (この部分に合わせます)	被写体と背景の明るさが極端に異なるとき (舞台上のスポットライトが当たった人物を撮るとき、逆光時など)

「[AF] オートフォーカスモード」ピントを合わせる方法を変える

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせかたを変えられます。

■ 操作：モードダイヤル [撮影] SCN1※ SCN2※ [動画]→[MENU/SET]を押す→「オートフォーカスモード」を選ぶ(P.20)
(※DMC-TZ50：SCN)

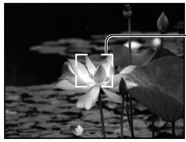
■ 設定：[顔認識](顔認識) ／[9点](9 点) ／[3点高速](3 点高速) ／[1点高速](1 点高速) ／[1点](1 点) ／スポット(H：他の設定より速くピントが合います)

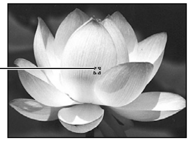
人物を正面から撮るとき [顔認識](顔認識)	顔を認識して(最大 15 人)顔に露出やピントが合います。 (上記が「評価測光」のとき)  AFエリア 黄色：[シャッター]を半押しし、ピントが合うと緑色に変わる 白色：複数の顔を認識すると表示。黄色のAFエリア枠内と同じ距離にある顔にはピントが合います。
被写体が中央にないとき (ピントがすべて合ってから、AFエリアを表示します) [9点](9 点) [3点高速](3 点高速)	9 点： 9 点のどれかにピントが合います。  AF エリア 3 点高速： 左右、中央のどれかにピントが合います。 

撮影メニューを使う（続き）

撮影/再生切換スイッチ：

ピントを合わせる位置が決まっているとき (1 点高速) (1 点) (スポット)	1 点高速、1 点： 画面中央のAFエリアにピントが合います。 （ピントが合いにくいときにおすすめ）	スポット： 限られた狭い範囲内にピントが合います。





- ●(3 点高速)または (1 点高速)にすると、ピントが合う前に画像が一時停止することがあります。
- ●デジタルズーム使用時や暗い場所では、大きなAFエリアが表示されます。
- ●(スポット)でピントが合いにくいときは、(1 点高速)または(1 点)にしてください。
- ●次のときは「顔認識」に設定できません。
シーンモードの「夜景」「料理」「星空」「花火」「空撮」「水中」、(動画撮影モード)
- ●「顔認識」設定時に、カメラが誤って人物以外を顔と認識したときは、「顔認識」以外の設定に変えてください。
- ●次のときは状況によって顔を認識できない場合があります。((9 点)に切り換わります。)
  - • 顔が正面を向いていない、傾いている
  - • サングラスなどで顔が隠れている
  - • 顔の光が極端に明るい、または暗い
  - • 遠いところにいる
  - • 動きが速い
  - • 手ブレしている
  - • ペットなど人物以外
  - • デジタルズーム使用時

「C-AF AF連続動作」動きに合わせてピントを合わせる

[シャッター]を押していない間も被写体の動きに合わせて連続的にピントを合わせます。（バッテリーの消費は早くなります）

■ 操作：モードダイヤル SCN1※ SCN2※ →[MENU/SET]を押す→「AF連続動作」を選ぶ(P.20)
（※DMC-TZ50：SCN）

■ 設定： OFF /ON（画面にC-AFを表示）

- ●ズームレバーをW端から一気にT端に回したり、急に被写体に近づくと、ピントが合うのに時間がかかることがあります。
- ●ピントが合いにくいときは、[シャッター]を半押ししてください。
- ●「オートフォーカスモード」が、(1 点高速) (1 点) (スポット)のときは、[シャッター]を半押しするとピントが速く合います。

「連写」連写で撮る

[シャッター]を全押ししている間、連続して写真を撮ることができます。

■ 操作：モードダイヤル iA SCN1※ SCN2※ →[MENU/SET]を押す→「連写」を選ぶ(P.20)
（※DMC-TZ50：SCN）

■ 設定

連写設定	速度	枚数※1
OFF	連写しない	
(連写)	2.5 枚/秒	(ファイン)：最大 3 枚 (スタンダード)：最大 5 枚
(フリー)	約 2 枚/秒※2	カード、内蔵メモリーがいっぱいになるまで

※1 セルフタイマー使用時は3 枚に固定されます。
※2 **途中から遅くなります。**（遅くなるタイミングは、カードの種類、記録画素数、クオリティによって異なる）

- ●ピントは1 枚目で固定されます。
- ●(連写)設定時は、露出とホワイトバランスが1 枚目撮影時の設定に固定されます。
- ●(フリー)設定時は、1枚ごとに露出とホワイトバランスを調整します。
- ●ISO 感度が高い場合、または暗い場所でシャッタースピードが遅くなる場合は、連写速度が遅くなることがあります。
- ●連写を設定するとフラッシュは発光禁止になります。また、オートブラケットは解除されます。
- ●電源を切っても、設定は記憶されます。
- ●明暗差の大きい場所で動きのある被写体を追いながらフリー連写した場合、最適な露出にならないことがあります。
- ●「オートレビュー」の設定にかかわらず、1 枚撮るごとに撮影した画像が表示されます。
- ●シーンモードの「高速連写」を使うと、より速い連写で撮ることができます。(P.49)

「暗部補正」コントラストを自動調整する

背景と被写体の明暗差が大きい場合に、コントラストや露出を自動調整して見た目に近い色にします。

■ 操作：モードダイヤル →[MENU/SET]を押す→「暗部補正」を選ぶ(P.20)

■ 設定： OFF /ON（画面に を表示）

- ●「ON」に設定すると、「ISO感度」の設定が「100」のとき、「ISO感度」が「AUTO」に変わります。
- ●撮影条件により、補正効果が得られないことがあります。

撮影メニューを使う(続き)

撮影/再生切換スイッチ：

「 デジタルズーム」さらに拡大する

光学ズーム、またはEX光学ズームの最大 4 倍に拡大します。(詳しくはP.34へ)

■ 操作：モードダイヤル SCN1※ SCN2※ →[MENU/SET]を押す→「デジタルズーム」を選ぶ(P.20)

(※DMC-TZ50：SCN)

■ 設定： OFF ／ ON

「 カラーモード」色の効果をつける

■ 操作:モードダイヤル iA →[MENU/SET]を押す→「カラーモード」を選ぶ(P.20)

■ 設定： 標準 ／ナチュラル(柔らかく)／ヴィヴィッド(くっきり)／白黒／セピア／クール(青っぽく)／ウォーム(赤っぽく)

- 暗い場所でノイズが目立つときは「ナチュラル」に設定してください。
- iA (インテリジェントオートモード)では「クール」と「ウォーム」に、 (動画撮影モード)は「ナチュラル」「ヴィヴィッド」に設定できません。
- 各撮影モードで別々に設定できます。

「 手ブレ補正」手ブレをおさえる

手ブレを自動で感知して補正します。

■ 操作：モードダイヤル iA SCN1※ SCN2※ →[MENU/SET]を押す→「手ブレ補正」を選ぶ(P.20)

(※DMC-TZ50：SCN)

■ 設定

設定内容		効果
OFF	OFF	ブレを補正しない。
MODE1	1	常に補正する。モニター画像が安定します。
MODE2	2	[シャッター]を押す瞬間のみ補正する。より手ブレが少なく撮れます。

- シーンモード「自分撮り」では「MODE2」、星空では「OFF」に固定されます。
- iA(インテリジェントオートモード)では「OFF」に、 (動画撮影モード)では「MODE2」に設定できません。
- 次のときは補正が効きにくい場合があります。
  手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき、被写体の動きが速いとき、室内や薄暗い場所で撮る(シャッタースピードが遅い)とき

「MIN 下限シャッター速度」暗い場所で明るく

シャッター速度の最低速度を設定します。暗い場所で明るく撮りたいときは、遅めに設定することをおすすめします。

■ 操作：モードダイヤル →[MENU/SET]を押す→「下限シャッター速度」を選ぶ(P.20)

■ 設定：1/200、1/125、1/60、1/30、1/15、1/8、1/4、1/2、1

- シャッタースピードが遅いほど暗い場所でも明るく撮れますが、手ブレしやすくなるため三脚とセルフタイマーの使用をおすすめします。
- 「1/200」など速い値に設定時は、画像が暗く写りやすいため、明るい場所で撮影することをおすすめします。(画像が暗くなる場合は[シャッター]半押し時に MIN が赤く点滅します)
- 「1/8」以外を選択すると、画面に MIN を表示します。
- 「インテリジェントISO」使用時は設定できません。(P.56)

「 音声記録」音声を同時に記録する

撮影と同時に音声も記録します。会話やメモの記録に便利です。

■ 操作：モードダイヤル SCN1※ SCN2※→[MENU/SET]を押す→「音声記録」を選ぶ(P.20)

(※DMC-TZ50：SCN)

■ 設定： OFF /ON (撮影と同時に約 5 秒間録音(画面に を表示))

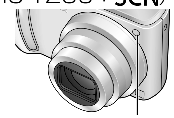
- 中止するとき→録音中に[MENU/SET]を押す
- 音声を再生するとき→撮影/再生切換スイッチを (再生)にして画像を再生し、▲を押す(音量を調整するとき→「スピーカー音量」(P.23))
- インテリジェントオートモード、「連写」、「オートブラケット」、シーンモードの「星空」「高速連写」「マルチアスペクト撮影」では録音できません。
- 音声付き静止画は、「文字焼き込み」「リサイズ」「トリミング」「横縦比変換」ができません。
- メモ撮影メニューの「音声記録」とは別に設定されます。(P.65)
- マイク(P.14)を指でふさがないでください。

「AF※ AF補助光」暗い所でピントを合わせやすくする

■ 操作：モードダイヤル SCN1※ SCN2※ →[MENU/SET]を押す→「AF補助光」を選ぶ(P.20)

(※DMC-TZ50：SCN)

■ 設定： OFF ：ランプ消灯(暗やみで動物などを撮るときなど)
ON ：[シャッター]半押しでランプが点灯
(AF※と、大きなAFエリアが表示される)



AF補助光ランプ (有効距離：1.5 m)
(近くで見たり、指でふさがない)

「 時計設定」時計を合わせる

時計を設定します。セットアップメニューの「時計設定」と同じ機能です。(P.19)

応用(撮る) 11

メモ画像を撮る／見る
「メモモード」

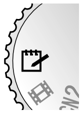
時刻表や路線図などをメモ代わりに撮るときに便利です。内蔵メモリーのメモ専用フォルダーに保存されるので、カードがなくてもすぐ使えます。
著作権などに気をつけてください。(P.12)

撮るとき



1 (撮影)にする

2 (メモモード)に合わせる



(例：DMC-TZ5)

3 撮影する



●内蔵メモリーを「メモ画像」撮影だけに使用した場合の枚数(目安)

記録画素数		2 M EZ	1 M EZ
記録可能枚数	DMC-TZ5	97 枚	146 枚
	DMC-TZ50	95 枚	143 枚

見る(再生する)とき

1 撮影/再生切換スイッチを ▶(再生)にする

2 モードダイヤルを (メモモード)に合わせる

• メモモード以外の静止画と同じ操作で見れます。(P.35)
(30 画面表示、カレンダー画面表示はできません)
• メモ画像は、カードにコピーしてプリントしてください。(次ページ)

■メモ画像を消す(削除する)とき ➡ 上記手順**2**で 🗑 (削除)を押す(P.36)

■内蔵メモリーの容量がなくなったとき ➡
本体からカードを抜き、モードダイヤルを (メモモード)と **Wi-Fi** (Wi-Fiモード、DMC-TZ50のみ)以外に合わせて 🗑 (削除)を押すと、メモ画像以外の内蔵メモリーの画像を削除できます。

●再生モードの機能は使えません。
●撮影メニューの「手ブレ補正」の設定内容はメモモードにも反映されます。
●次の機能は設定できません。
「インテリジェントISO」「測光モード」「暗部補正」「下限シャッター速度」「連写」「デジタルズーム」「オートブラケット」「ホワイトバランス微調整」「AF連続動作」「カラーモード」「自動液晶OFF」「ヒストグラム表示」
●次の機能は固定です。

機能	設定内容
クオリティ	(スタンダード)
画像横縦比	4:3

機能	設定内容
ISO感度	AUTO
ホワイトバランス	AWB
オートフォーカスモード	■ (1 点)

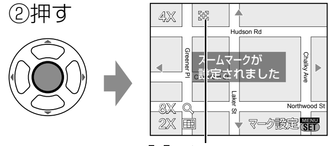
機能	設定内容
AF補助光	ON
ガイドライン表示	⊞
パワーセーブ	5 分

「ズームマーク」メモ再生時に拡大した位置を記憶させる

再生時のズーム位置を記憶させます。地図などをくり返し見るときに便利です。

■ズーム位置を記憶させるとき

①ズームレバーで拡大し、▲▼◀▶で位置を決めて　②押す

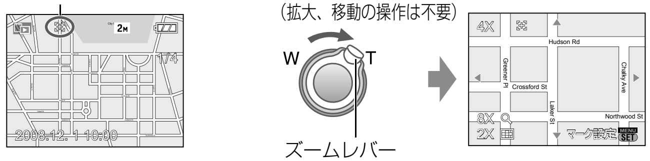


ズームマーク
記憶させた画像に表示

• ズーム倍率や位置を変えたいとき→左記をくり返し操作する
• 終了するとき→ズーム倍率をW側(1 倍)に戻す

■ 記憶させたズーム位置で見るとき

① の付いた画像を表示する　② T側に回す(拡大、移動の操作は不要)　すぐにその大きさと位置で表示されます



• ズームマークを解除するとき→「ズームマーク解除」(下記)

● 付き画像を削除すると、ズーム前の画像も見ることができなくなります。
●ズームした状態でも削除できます。

メモメニュー

メモモード専用メニューを使います。(　　　はお買い上げ時の設定です)

メモ撮影メニュー (撮影/再生切換スイッチ：、モードダイヤル：)

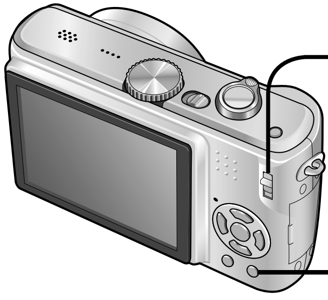
記録画素数	2 M EZ (画質優先) ／ 1 M EZ(枚数優先)
音声記録	音声を5 秒間記録。OFF /ON
LCDモード	OFF / オートパワー LCD / パワー LCD / ハイアングル(P.22)
時計設定	(P.19)

メモ再生メニュー (撮影/再生切換スイッチ：▶、モードダイヤル：)

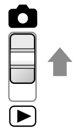
ズームマーク解除	◀▶で のついた画像を選び、[MENU/SET]で解除する
アフレコ	画像に音声をつける(◀▶でメモ画像を選び、[MENU/SET]で録音開始)(P.79)
コピー	メモ画像をカードへ1 枚ずつコピーする(ズームマークはコピーされません) (①◀▶でメモ画像を選び、[MENU/SET]を押す。 ②▲▼で「はい」を選び、[MENU/SET]を押す。)
LCDモード	OFF / パワー LCD(P.22)

応用(撮る) 12 クイック設定を使う

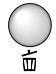
撮影メニュー項目を簡単に呼びだせます。(撮影モードにより表示される設定項目が異なります)



1 (撮影)にする



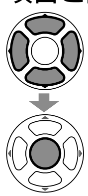
2 「クイック設定」を表示する



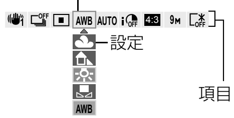


クイック設定項目

3 項目と設定を選び、決定する







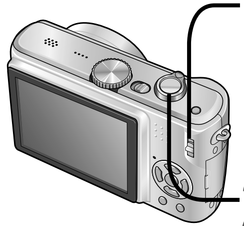
●例) 通常撮影モードのクイックメニュー

- 手ブレ補正※1 (P.62)
- ホワイトバランス (SET は除く)(P.58)
- 暗部補正(P.61)
- 画像横縦比(P.56)
- 連写(P.61)
- インテリジェントISO※2 (P.56)
- 記録画素数(P.55)
- オートフォーカスモード(P.59)
- ISO感度※3 (P.57)
- LCDモード(P.22)

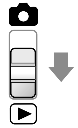
※1「手ブレ補正」表示時に[DISPLAY]を押すと、手ブレ･動き検出デモを表示できます。
※2「インテリジェントISO」設定時のみ
※3「インテリジェントISO」が「OFF」のときのみ

応用(見る) 1 画像を一覧で見る(マルチ再生／カレンダー再生)

一度に12 画面(または30 画面)で表示(マルチ再生)したり、撮影日ごとにまとめて表示(カレンダー再生)したりできます。



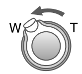
1 (再生)にする





- DMC-TZ50はモードダイヤルを Wi-Fi 以外に合わせてください。
- ◀▶で画像を選べます。

2 一覧で表示する



W側に回すたびに変わる



- お気に入り[★]
- 動画撮影[ ]
- 赤ちゃん[ ]
- ペット[ ]
- トラベル日付[ ]
- ワールドタイム[ ]
- タイトル編集済み[ ]
- 文字焼き込み済み[ ]

(12 画面)



(30 画面)

選択日(その日の最初の画像)



(カレンダー画面)

- ▲▼で月を、◀▶で日を選んで[MENU/SET]を押すと、その日の画像が12 画面で表示されます。

■1つ前の画面表示に戻すとき
➡ T側に回す

■12 画面/30 画面表示から1 画面表示にするとき ➡
▲▼◀▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す

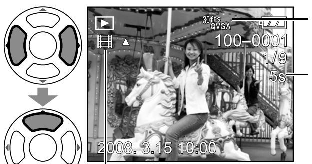
●カレンダー画面は、撮影画像のある月のみ表示されます。また、時計設定せずに撮影した画像は、2008年1月1日に表示されます。
●「回転表示」はできません。
●「ワールドタイム」で旅行先を設定して撮った画像は、旅行先の日付でカレンダー画面に表示されます。

応用(見る) 2

動画・音声付き静止画を見る/動画から静止画を作る

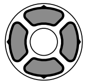
操作：撮影/再生切換スイッチ：▶
　　モードダイヤル：🎬以外にする（DMC-TZ50は🎬とWi-Fi以外にする）

1 画像を選び、再生する



動画画質アイコン
動画記録時間
動画アイコン（音声付き静止画のとき：🎵）

■動画再生中の操作



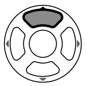
▲：一時停止／再生
▼：終了
◀：(長押しで)早戻し
　(一時停止中)コマ戻し
▶：(長押しで)早送り
　(一時停止中)コマ送り

• 音量はズームレバーで調整できます。(動画のみ)

●動画や音声付き静止画は、静止画と同じ手順で削除できます。(P.36)

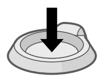
動画から静止画を作る

①動画をお好みの所で一時停止する



▲を押す

②静止画を作る

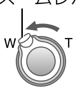


[シャッター]全押し

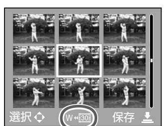
③▲で「はい」を選び、[MENU/SET]を押す
静止画が作成されます。

■ **前後 9 コマを1 枚の画像にするとき**→上記手順①と②の間に[MENU/SET]を押し、9 画面表示にする（再度押すと1 画面表示に戻ります）

ズームレバー



W側に回す
(回すごとにコマ数/秒が変わる)



• ▲▼：3 コマ送り
• ◀▶：1 コマ送り

1 秒あたりのコマ数
動きの速さに合わせて、1 秒あたりのコマ数を変えることができます。
動きの速いシーン：コマ数を大きくする（30 コマなど）
動きの遅いシーン：コマ数を小さくする（10 コマ、5 コマなど）

1 秒あたりのコマ数

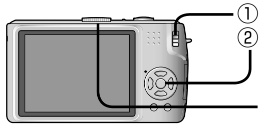
画質設定	1 秒あたりのコマ数
30fps QVGA, 30fps VGA, 30fps 16:9L, 30fps 16:9H	30→15→10→5
15fps 16:9H	15→5
10fps QVGA, 10fps VGA, 10fps 16:9L	10→5

● 動画から作成した静止画はクオリティが ▪（スタンダード）に固定され、画素数が表のように変わります。
● 他機で撮影した動画は、正しく再生できないことがあります。
● 大容量のカードを使用時、早戻しが遅くなる場合があります。
● 停止時（一時停止時を除く）以外は再生ズームできません。
● ファイル形式はQuickTime Motion JPEGです。パソコンでは、CD-ROM（付属）の「QuickTime（クイックタイム）」で再生できます。

画質設定	1 画面	9 画面
30fps VGA, 10fps VGA	0.3 M	2 M
30fps QVGA, 10fps QVGA	0.3 M	1 M
30fps 16:9H, 15fps 16:9H, 30fps 16:9L, 10fps 16:9L	2 M	2 M

応用(見る) 3

いろいろな再生方法「再生モード」



① 撮影/再生切換スイッチを▶にして
② [MENU/SET]を押すと、メニュー画面が表示されます。
モードダイヤルは🎬以外に合わせてください
(DMC-TZ50は🎬とWi-Fi以外に合わせてください)

●撮影した画像をいろいろな方法で再生することができます。
●カードが入っていないときは、内蔵メモリーの画像（メモ画像以外）を再生します。
●撮影/再生切換スイッチを▶にして電源を入れたときや、撮影モードから再生モードに切り換えたときは、再生モードは自動的に「通常再生」になります。

「▶ 通常再生」1 画面で見る

画像を1 画面で再生します。（お買い上げ時の設定）

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「通常再生」を選ぶ(P.20)

「12 2 画面再生」縦に並べて見る

異なる画像を上下に2 枚並べて表示します。比較して見たいときに便利です。

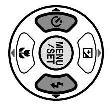
操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「2 画面再生」を選ぶ(P.20)

選んだ画像にオレンジ枠

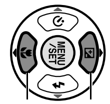


カメラを縦にする
🗑画像を削除するとき

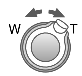
1 画面を選ぶ



2 画像を選ぶ



前へ　次へ



縮小　拡大
ズーム位置を1 秒間表示

●上下の画面で、同じ画像を同時に表示することはできません。

いろいろな再生方法（続き）

「再生モード」

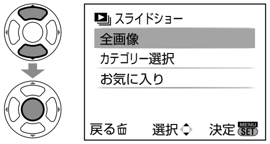
撮影/再生切換スイッチ：▶
モードダイヤル：📝以外にする（DMC-TZ50は📝とWi-Fi以外にする）

「▶ スライドショー」自動で順番に見る

音楽に合わせて画像を順に自動再生します。テレビで見るときにおすすめです。

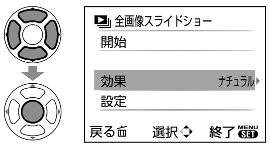
操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「スライドショー」を選ぶ(P.20)

1 再生方法を選び、決定する

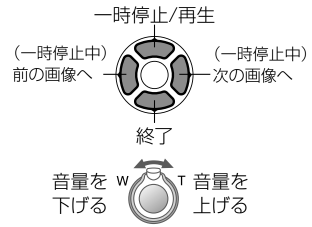


- 「全画像」：すべての画像を再生。
- 「カテゴリー選択」：カテゴリーを選択して再生。（▲▼◀▶でカテゴリーを選び、[MENU/SET]を押してください）（P.71）
- 「お気に入り」：「お気に入り」（P.77）に設定した画像のみ再生。（「お気に入り」に設定している画像があり、設定を「ON」にしているときのみ表示されます）

2 再生効果を設定し(下表)、決定する



■ スライドショー中に操作するとき



3 ▲で「開始」を選び、[MENU/SET]で決定する

- 再生中に 🗑 を押すとメニュー画面に戻ります。

効果(画像の雰囲気にあった音楽と効果を選ぶ)	
おまかせ	ナチュラル、スロー、スウィング、アーバンから最適なものをカメラが選択(「カテゴリー選択」設定時のみ)
ナチュラル	落ちついた音楽と画面切り換え効果で演出
スロー	落ちついた音楽と画面切り換え効果で演出
スウィング	アクティブな音楽と画面切り換え効果で演出
アーバン	アクティブな音楽と画面切り換え効果で演出
OFF	演出しない

設定	
再生間隔	1 秒/2 秒/ 3 秒/ 5 秒 （効果「OFF」設定時のみ設定可能）
リピート	OFF/ON（リピートする）
音楽(音声)※	OFF/ON（音楽(音声)を再生する） 「効果」がOFFのとき、音声付き静止画の音声が再生されます。

※ 効果「OFF」設定時は、項目名が「音声」に変わります。

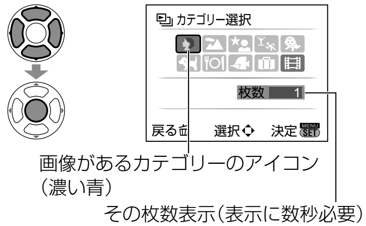
- ●「アーバン」は、画面効果として画像が白黒になることがあります。
- ●D端子接続用コンポーネントケーブルでテレビに表示するとき、一部の「効果」が動作しません。
- ●スライドショーでは動画再生できません。
- ●音楽効果を追加することはできません。

「▶ カテゴリー再生」自動で分類する

画像を自動で分類し、そのカテゴリーごとに見ることができます。再生モード選択メニューで「カテゴリー再生」を選ぶと、自動で分類が始まります。

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「カテゴリー再生」を選ぶ(P.20)

1 カテゴリーを選び、決定する



カテゴリー	シーンモードなどの撮影情報
(人物など)	人物、i人物、美肌、自分撮り、夜景&人物、i夜景&人物、赤ちゃん
(風景など)	風景、i風景、夕焼け、空撮
(夜景など)	夜景&人物、i夜景&人物、夜景、i夜景、星空
(イベント)	スポーツ、パーティー、キャンドル、花火、ビーチ、雪、空撮
	赤ちゃん
	ペット
	料理
	水中
	トラベル日付 （メモ画像はトラベル日付を設定して撮ってもトラベル日付に分類されません）
	動画

2 画像を見る



- 画像を削除するとき→🗑(削除)を押す

- ● 30 画面表示、カレンダー画面表示はできません。
- ● 動画から作成された静止画は、動画に分類されません。
- ●「カテゴリー再生」では次の再生メニューのみ使用できます。（P.76、78、79）
「画像回転」「回転表示」「DPOFプリント」「プロテクト」「アフレコ」
- ●「カテゴリー再生」を終了する場合は、「通常再生」に設定してください。

「★ お気に入り再生」お気に入り画像だけ見る

「お気に入り」（P.77）で設定した画像を手動で再生します。（「お気に入り」に設定している画像があり、設定を「ON」にしているときのみ表示されます）

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「お気に入り再生」を選ぶ(P.20)

1 画像を見る



- ● 30 画面表示、カレンダー画面表示はできません。
- ●「お気に入り再生」では次の再生メニューのみ使用できます。（P.76、78、79）
「画像回転」「回転表示」「DPOFプリント」「プロテクト」「アフレコ」
- ●「お気に入り再生」を終了する場合は、「通常再生」に設定してください。

再生メニューを使う

撮影/再生切換スイッチ：▶
モードダイヤル：📝以外にする（DMC-TZ50は📝とWi-Fi以外にする）

「CAL カレンダー検索」撮影日別に見る

カレンダー画面で撮影日を選んで、その日に撮った画像だけを見ることができます。(P.67)

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「▶再生メニュー」→「カレンダー検索」を選ぶ(P.20)

●再生モードが「カテゴリー再生」「お気に入り再生」(P.71)のときは設定できません。

「📝 タイトル編集」画像に文字を入れる

シーンモードの「赤ちゃん」「ペット」の名前や、「トラベル日付」の旅行先を編集したり、お好みの画像にタイトルなどをつけることができます。

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「▶再生メニュー」→「タイトル編集」を選ぶ(P.20)

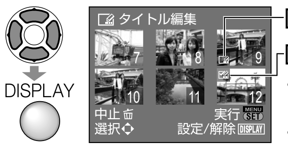
1 ▲▼で「1 枚設定」または「複数設定」を選び、[MENU/SET]で決定する

2 画像を選び、決定する

●1 枚のとき



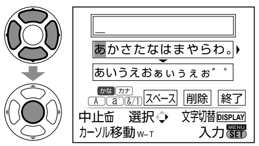
●複数に同じタイトルをつけるとき(50 枚まで)



タイトル編集設定
タイトル編集済み
• 解除するとき→再度[DISPLAY]を押す
• 実行するとき→[MENU/SET]を押す

3 文字を入力する

文字入力方法



①[DISPLAY]を数回押して、文字の種類を選ぶ（かな ひらがな、カナ カタカナ、A a アルファベット大文字/小文字、&/1 記号/数字）
②▲▼◀▶で文字を選び、[MENU/SET]で決定する（くり返す）（日本語入力の場合は、まず上段で「あかさたな」行を選び下段で文字を選ぶ）
③▲▼◀▶で「終了」を選び、[MENU/SET]で決定する

• ひらがなとカタカナは最大 15 文字、アルファベットと記号数字は最大 30 文字入力できます。(＼、「、」、･、ー、歳、カ、月、日は2 文字として扱います）
• 入力位置のカーソルはズームレバーで移動できます。
• 登録文字数が多い場合は、文字はスクロールで表示されます。

（1 枚設定時は設定後に、🗑を押すとメニュー画面に戻ります）

■ 修正するとき ➡ 手順1で「1 枚設定」を選ぶ→◀▶で画像を選び、[MENU/SET]で決定する→修正して「終了」を選ぶ→🗑を押してメニュー画面に戻る
●再生モードが「カテゴリー再生」「お気に入り再生」(P.71)のときは設定できません。
●他機で撮影された画像、プロテクトされた画像、動画には設定できません。
●設定した文字を印刷するには、「文字焼き込み」するか(下記)、付属のCD-ROM (PHOTOfunSTUDIO-viewer-) を使って印刷してください。

「▭ 文字焼き込み」文字や日付などを焼き込む

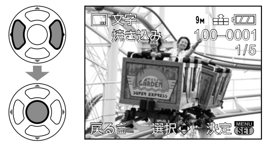
撮影日時、シーンモードの「赤ちゃん」「ペット」、「トラベル日付」、「タイトル編集」で登録した文字を画像に焼き込みます。Lサイズのプリントに適しています。

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「▶再生メニュー」→「文字焼き込み」を選ぶ(P.20)

1 ▲▼で「1 枚設定」か「複数設定」を選び、[MENU/SET]で決定する

2 画像を選び、決定する

● 1 枚のとき



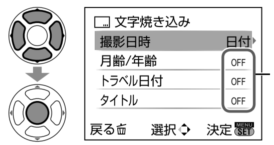
● 複数のとき(50 枚まで)



▭ 文字焼き込み設定

• 解除するとき→再度[DISPLAY]を押す
• 実行するとき→[MENU/SET]を押す

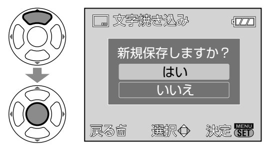
3 項目を選んで設定し、決定する



焼き込むには「ON」を選ぶ

• シーンモードの「赤ちゃん」「ペット」の名前、「トラベル日付」の旅行先、「タイトル編集」で入力した文字を焼き込むときは、「タイトル」を「ON」にしてください。

4 「はい」を選び、決定する
（画面は画素数などによって変わります）



• 一度焼き込んだ文字は消すことができません。
• 1 枚設定時は、手順4の後に 🗑 を押すとメニュー画面に戻ります。

撮影/再生切換スイッチ：▶
モードダイヤル：(クリエイティブ) 以外にする（DMC-TZ50は (クリエイティブ) と Wi-Fi 以外にする）

■ 焼き込んだ文字を確認するとき ➡ 「再生ズーム」(P.35)

●記録画素数が3 M以上の場合、記録画素数が小さくなり画質が少し粗くなります。

画像横縦比	記録画素数	焼き込み後
4：3	9 M、7 M、5 M	3 M
3：2	8.5 M、6 M、4.5 M	2.5 M
16：9	7.5 M、5.5 M、3.5 M	2 M

●他機で撮影したもの、時計を設定せずに撮影したもの、動画、音声付き静止画には設定できません。
●文字を焼き込んだ画像は、「リサイズ」「トリミング」「横縦比変換」、文字の再焼き込み、「DPOFプリント」の日付プリント設定ができません。
●プリンターによっては文字が切れることがあります。
●再生モードが「カテゴリー再生」「お気に入り再生」(P.71)のときは設定できません。
●**文字焼き込み済みの画像は、お店やプリンターで日付プリント指定しないでください。（重なってプリントされることがあります）**

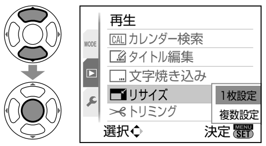
「リサイズ」画像サイズを小さくする

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、画像の容量(記録画素数)を小さくします。（一番小さい記録画素数で撮影した画像は、それ以上小さくできません）

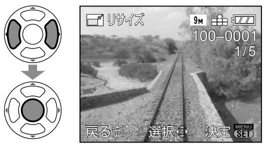
操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「▶再生メニュー」→「リサイズ」を選ぶ(P.20)

■ 1 枚設定

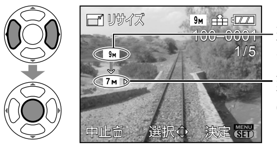
1 「1 枚設定」を選び、決定する



2 画像を選び、決定する

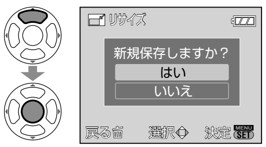


3 サイズを選び、決定する



現在のサイズ
変更後のサイズ

4 「はい」を選び、決定する

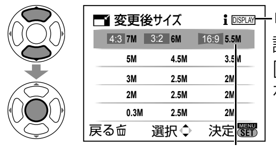


• 決定後、(削除ボタン) を押すとメニュー画面に戻ります。

■ 複数設定

1 左ページの手順**1**で▼で「複数設定」を選び、[MENU/SET]で決定する

2 サイズを選び、決定する



リサイズの説明 [DISPLAY]を押す

リサイズ後の記録画素数を選ぶ

3 画像を選び、決定する(50 枚まで)



リサイズ設定

リサイズ前後の記録画素数

• 解除するとき→再度[DISPLAY]を押す
• 実行するとき→[MENU/SET]を押す

4 ▲で「はい」を選び、[MENU/SET]で決定する

●リサイズすると画質が粗くなります。
●再生モードが「カテゴリー再生」「お気に入り再生」(P.71)のときは設定できません。
●動画、音声付き静止画、文字焼き込み済みの画像はできません。また、他機で撮影した画像はできない場合があります。

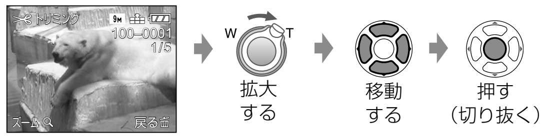
「トリミング」拡大して一部を切り抜く

画像を拡大して、必要な部分を切り抜きます。

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「▶再生メニュー」→「トリミング」を選ぶ(P.20)

1 ◀▶で画像を選び、[MENU/SET]で決定する

2 画像を切り抜く部分を表示して、決定する



3 ▲で「はい」を選び、[MENU/SET]で決定する

• 決定後、(削除ボタン) を押すとメニュー画面に戻ります。



●トリミングすると画質が粗くなります。
●再生モードが「カテゴリー再生」「お気に入り再生」(P.71)のときは設定できません。
●動画、音声付き静止画、文字焼き込み済みの画像はできません。また、他機で撮影した画像には、できない場合があります。

撮影/再生切換スイッチ：▶
モードダイヤル：[クリエイティブ動画] 以外にする（DMC-TZ50は [クリエイティブ動画] と Wi-Fi 以外にする）

「横縦比変換」画像の横縦比を変える

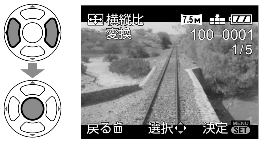
16:9 で撮影した画像を、プリント用に 3:2 または 4:3 に変換できます。

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「▶再生メニュー」→「横縦比変換」を選ぶ(P.20)

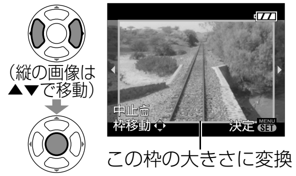
1 3:2 または 4:3 を選び、決定する



2 16:9の画像を選び、決定する



3 左右の位置を決め、変換する



4 ▲で「はい」を選び、[MENU/SET]で決定する

• 決定後、🗑 を押すとメニュー画面に戻ります。

●変換後は、画素数が大きくなることがあります。
●再生モードが「カテゴリー再生」「お気に入り再生」(P.71)のときは設定できません。
●動画や音声付き静止画、文字焼き込み済みの画像、DCF規格(P.35)に準拠していないファイルはできません。また、他機で撮影した画像には、できない場合があります。

「画像回転」画像を手動で回転する

画像を手動で90 度ずつ回転します。

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「▶再生メニュー」→「回転表示」：「ON」→「画像回転」を選ぶ(P.20)

1 ◀▶で画像を選び、[MENU/SET]で決定する

2 回転方向を選び、決定する



• 決定後、🗑 を押すとメニュー画面に戻ります。

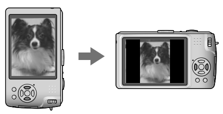
「回転表示」画像を自動で回転して表示する

縦向きに撮った画像を自動的に回転して表示します。

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「▶再生メニュー」→「回転表示」を選ぶ(P.20)

1 「ON」を選び、決定する





●動画は、「画像回転」や「回転表示」はできません。
●プロテクトした画像は、「画像回転」できません。
●本機を上や下に向けて撮影したものは、自動で回転されない場合があります。また、他機で撮影した画像にはできない場合があります。
●マルチ再生時は回転して表示されません。
●パソコンではExif（P.35)に対応した環境(OS、ソフトウェア)でのみ、回転して表示されます。

「★ お気に入り」お気に入り画像を設定する

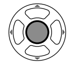
気に入った画像に★印をつけておくと、お気に入り画像だけで「スライドショー」（P.70）や「お気に入り再生」（P.71)をしたり、お気に入り画像以外を全削除したりすることができます。

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「▶再生メニュー」→「お気に入り」を選ぶ(P.20)

1 「ON」を選び、決定する



2 メニューを終了する



押す

3 （再生画面で）
画像を選び、設定する（くり返す）



• 999 枚まで設定できます。
• 解除するとき→再度▼を押す

■ 全て解除するとき ➡ 手順**1**で、「全解除」を選ぶ→「はい」

●再生モードが「お気に入り再生」（P.71)のときは設定できません。
●他機で撮影した画像には設定できない場合があります。
●付属のCD-ROM(PHOTOfunSTUDIO-viewer-)でも、設定・解除ができます。

撮影/再生切換スイッチ：▶
モードダイヤル：📝以外にする（DMC-TZ50は📝とWi-Fi以外にする）

「DPOF(ディーポフ)プリント」プリント設定する

DPOFプリント対応のお店やプリンターでプリントするときに、画像・枚数・日付プリントの有無を指定できます。（対応しているかどうかはお店に確認してください）

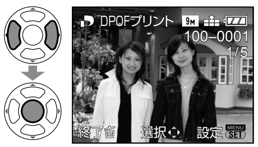
操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「▶再生メニュー」→「DPOFプリント」を選ぶ(P.20)

1 「1 枚設定」または「複数設定」を選び、決定する



2 画像を選び、決定する

●1 枚のとき



●複数のとき

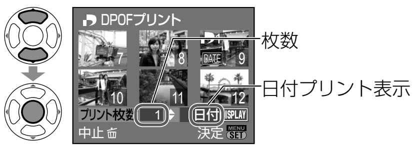


3 枚数を設定し、決定する（「複数設定」時は2と3をくり返す(999 枚まで)）

●1 枚のとき



●複数のとき



- 日付プリントを設定／解除するとき→[DISPLAY]を押す
- 設定後、🗑を押すとメニュー画面に戻ります。

■ **すべて解除するとき** ➡ 手順**1**で、▼で「全解除」を選ぶ →「はい」を選び、決定する

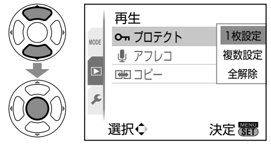
●PictBridge対応プリンターでは、プリンター側のプリント設定が優先されることがあるため確認してください。
●内蔵メモリーの画像をお店でプリントするときは、まずカードにコピーしてから設定してください。(P.80)
●DCF規格(P.35)に準拠していないファイルには設定できません。
●他機で設定されたDPOF情報は利用することができない場合があります。その場合、DPOF情報をすべて解除してから本機で再度設定してください。
●日付プリント設定は、「文字焼き込み」済みの画像には設定できません。また、日付プリント設定後に「文字焼き込み」を行うと、設定が解除されます。

「プロテクト」画像を保護する

誤消去を防止します。設定すると、削除できなくなります。

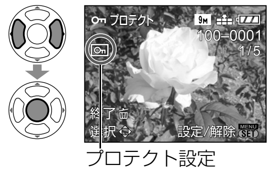
操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「▶再生メニュー」→「プロテクト」を選ぶ(P.20)

1 「1 枚設定」または「複数設定」を選び、決定する



2 画像を選び、設定する

●1 枚のとき



●複数のとき



- 解除するとき→再度[MENU/SET]を押す
- 決定後、🗑を押すとメニュー画面に戻ります。

■ **全解除するとき** ➡ 手順**1**で、▼で「全解除」を選ぶ →「はい」を選び、決定する

■ **全解除中に中止するとき** ➡ [MENU/SET]を押す

●本機以外では無効になることがあります。
●プロテクトしてもフォーマットすると削除されます。

「アフレコ」後で音声をつける

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「▶再生メニュー」→「アフレコ」を選ぶ(P.20)

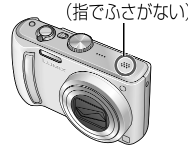
1 画像を選び、録音を開始する



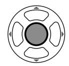
すでに音声がある場合は、確認画面で「はい」を選ぶと上書きされます。

- 中止するとき→🗑を押す

マイク
(指でふさがない)



2 録音を終了する（または、約 10 秒で自動的に終了します）



押す

- 録音終了後、🗑を押すとメニュー画面に戻ります。

●動画やプロテクトした画像はできません。また、他機で撮影した画像には、録音できない場合があります。

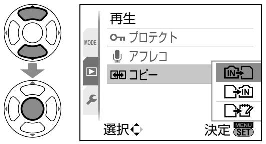
再生メニューを使う(続き)

「コピー」画像を他の保存先にコピーする

内蔵メモリーとカード間のコピー、カードからメモ専用フォルダーへのコピーができます。

操作：再生画面で[MENU/SET]を押す→「▶ 再生メニュー」→「コピー」を選ぶ(P.20)

1 コピーのしかた(方向)を選び、決定する



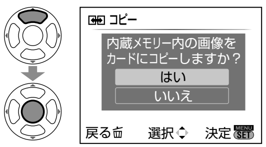
：内蔵メモリーからカードへ、全画像をコピー。(手順**3**へ)
(メモ画像はコピーされません。メモ再生メニューの「コピー」(P.65)を使ってください。)

：カードから内蔵メモリーへ、1 枚コピー。

：カードからメモ専用フォルダー(内蔵メモリー)に1 枚コピー。(動画以外)

2 「 」や「 」のときは、◀▶で画像を選び、[MENU/SET]で決定する

3 「はい」を選び、決定する



- 中止するとき→[MENU/SET]を押す
- 決定後、 を押すとメニュー画面に戻ります。

(画面は一例)

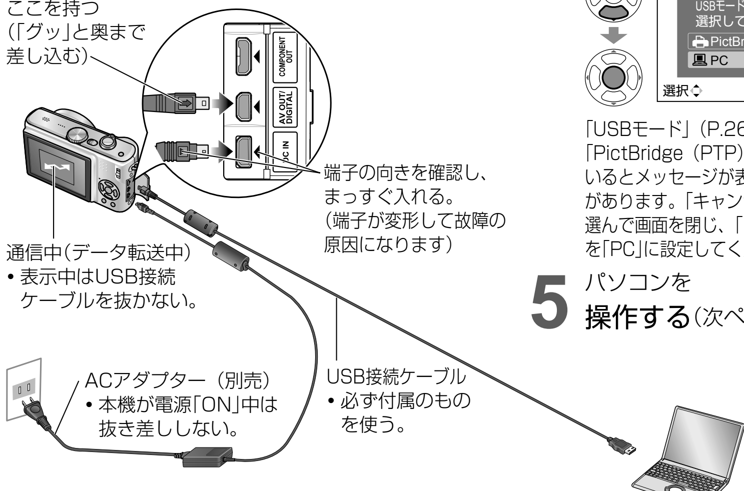
- ●内蔵メモリーの容量が不足してコピーできないときは、電源を切ってカードを抜いてから、内蔵メモリーの画像を削除してください。(メモ画像を削除する場合は、モードダイヤルをメモモードに合わせてください)
- ●内蔵メモリーからカードへのコピーは、空き容量50 MB以上のカードをお使いください。
- ●コピーには時間がかかることがあります。コピー中は、電源を切ったり他の操作をしないでください。
- ●コピー先に同じ名前(フォルダー番号/ファイル番号)がある場合、「 」(内蔵メモリーからカード)時は新しいフォルダーを作成してコピーします。「 」(カードから内蔵メモリー)時はその画像はコピーされません。
- ●DPOF設定はコピーされません。
- ●当社製デジタルカメラ(LUMIX)の画像のみコピーできます。
- ●コピーしてもコピー元の画像は削除されません。(画像を削除するとき→P.36)
- ●再生モードが「カテゴリー再生」「お気に入り再生」(P.71)のときは設定できません。

パソコンに接続する

パソコンと接続して、静止画や動画を保存したり、再生やプリント、メール送信などができます。

設定：

- **本機とACアダプター**(別売：DMW-AC5)**を接続しておく。**(または、十分に充電したバッテリーを使う)
- カードのとき：
  カードを入れ、モードダイヤルを 以外にする
  (DMC-TZ50は と **Wi-Fi** 以外にする)
  内蔵メモリーのとき：
  カードを抜いておく(DMC-TZ50はモードダイヤルを **Wi-Fi** 以外にする)

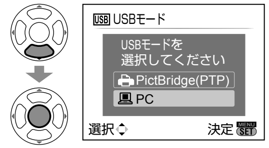


1 本機とパソコンの**電源を入れる**

2 撮影/再生切換スイッチを**▶(再生)にする**

3 本機とパソコンを**接続する**

4 カメラで**「PC」を選び、決定する**



「USBモード」(P.26)が「PictBridge (PTP)」に設定されているとメッセージが表示される場合があります。「キャンセル(中止)」を選んで画面を閉じ、「USBモード」を「PC」に設定してください。

5 パソコンを**操作する**(次ページ)

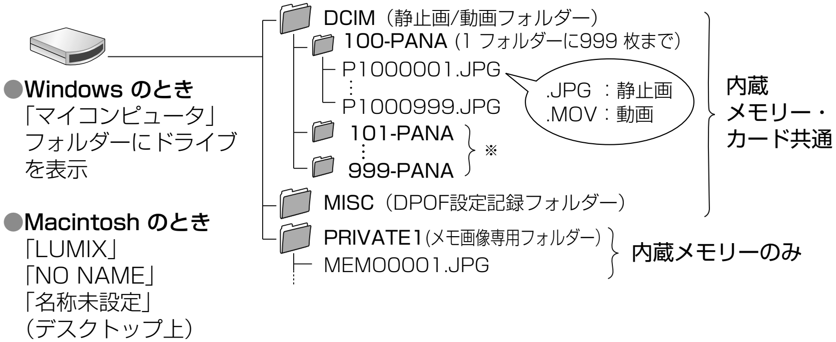
■ **接続を解除するとき** ➡ パソコンでタスクトレイの**「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」**を実行する→USB接続ケーブルを抜く→本機の電源を切る→ACアダプターを抜く

- ● カードの抜き差しは、本機の電源を切ってから行ってください。
- ● Windows98/98SEをお使いの場合は、初回接続時にUSBドライバーソフトウェアのインストールを行ってください。
- ● 通信中にバッテリー残量が少なくなると、動作表示ランプが点滅し、警告音が鳴ります。すぐにパソコン側で通信を中止してください。(バッテリーを充電してから再度接続してください)
- ● 「USBモード」を「PC」に設定しておくと、パソコンに接続するたびに設定する必要がありません。
- ● パソコンの説明書をお読みください。

パソコンに接続する（続き）

■フォルダーの構造と名前

取り込みたい画像が入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグ＆ドロップするとパソコンに画像を保存することができます。



※フォルダーは次のときに新しく作成されます。
「番号リセット」（P.25）したとき、フォルダー内のファイル数が999 枚を超えたとき、同じフォルダー番号のあるカードを入れたとき（他社のカメラで撮影したものなど）。

- ファイル名を変えると、本機では再生できなくなることがあります。
- メモモードで接続すると、カードが入っていても、（メモ画像を含む）内蔵メモリーのデータを表示します。カードのデータは表示されません。
- Mac OS X ver.10.2以前のときは、SDHC メモリーカードから画像を取り込むときに、SDHC メモリーカードの書き込みスイッチを「LOCK」側にしてください。

■WindowsXP、Windows Vista、Mac OS Xをお使いの場合

「USBモード」（P.26）の設定を「PictBridge(PTP)」にしても、パソコンとPTPモードで接続することもできます。

- 本機からは、画像の読み出しのみできます。（Windows Vistaは画像の削除も可能）
- カードの中に1000 枚以上画像があると、取り込めない場合があります。

■パソコンで動画を再生する方法

①付属CD-ROM のソフトウェア「QuickTime」を使います。
- Macintosh では標準搭載。

②パソコンに動画を保存して再生してください。

PictBridge（ピクトブリッジ）でプリントする

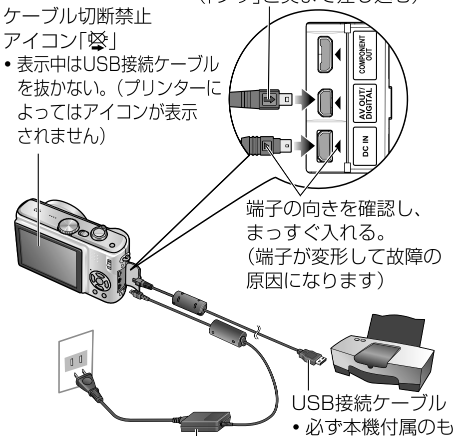
PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターに直接接続し、プリントできます。

設定：

- **本機とACアダプター**（別売：DMW-AC5）**を接続しておく。**（または、十分に充電したバッテリーを使う）
- カードのとき　　　：カードを入れておく
  内蔵メモリーのとき：カードを抜く
  （メモモードの画像はカードにコピーする。（P.65））
- プリンター側で印字品質などを必要に応じて設定しておく。
- モードダイヤルを [メモモード] 以外にする。
  （DMC-TZ50は [メモモード] と Wi-Fi 以外にする）

ここを持つ
（「グッ」と奥まで差し込む）

ケーブル切断禁止アイコン「[アイコン]」
- 表示中はUSB接続ケーブルを抜かない。（プリンターによってはアイコンが表示されません）



端子の向きを確認し、まっすぐ入れる。
（端子が変形して故障の原因になります）

USB接続ケーブル
- 必ず本機付属のものを使う。

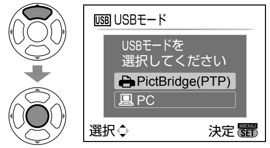
ACアダプター（別売）
- 本機が電源「ON」中は抜き差ししない。

1 本機とプリンターの**電源を入れる**

2 撮影/再生切換スイッチを [▶]（再生）**にする**

3 本機とプリンターを**接続する**

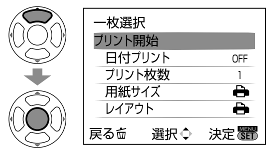
4 カメラで**「PictBridge(PTP)」を選び、決定する**



「PCとの接続を確認しています」と表示された場合は、接続を解除し、「USBモード」を「接続時に選択」または「PictBridge(PTP)」に設定してください。（P.26）

5 **◀▶でプリントする画像を選び、[MENU/SET]で決定する**

6 **「プリント開始」を選び、決定する**



（プリントの各種設定：P.85）

■ 途中でプリントを中止するとき ➡ [MENU/SET] を押す

●プリント終了後、USB接続ケーブルを外してください。
●カードの抜き差しは、本機の電源を切ってから行ってください。
●接続中にバッテリー残量が少なくなると、動作表示ランプが点滅し、警告音が鳴ります。プリントを中止し、USB接続ケーブルを抜いてください。（バッテリーを充電してから再度接続してください）
●「USBモード」（P.26）を「PictBridge (PTP)」に設定しておくと、プリンターに接続するたびに設定する必要がありません。

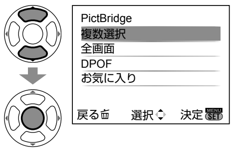
PictBridge(ピクトブリッジ)でプリントする(続き)

「複数プリント」複数まとめてプリントするとき

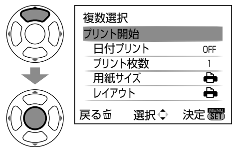
①前ページの手順5で複数プリントに設定する



②項目を選び、決定する(下記)



③「プリント開始」を選び、決定する



- 中止するとき→[MENU/SET]を押す

- 複数選択 : ① ▲▼◀▶で画像を選び、[DISPLAY]で決定する
  (解除するとき→再度[DISPLAY]を押す)
  ② [MENU/SET]で決定する
- 全画像 : すべての画像
- DPOF : 「DPOFプリント」設定した画像(P.78)
- お気に入り : 「お気に入り」(P.77)で設定した画像(「お気に入り」画像があり、「ON」に設定時のみ表示)

●プリント確認画面が表示された場合は、「はい」を選んでください。
●プリント中にオレンジ色の「●」が画面の左上に表示されたときは、プリンターでエラーが発生しています。
●プリント枚数が多いとき、数回に分けてプリントされることがあります。(残り枚数の表示が設定と異なることがあります)

画像に日付や文字を入れる

■「文字焼き込み」するとき

以下の文字情報を写真に焼き込むことができます。(P.73)

●撮影日時 ● シーンモードの「赤ちゃん」「ペット」の名前や月齢/年齢
●「トラベル日付」の経過日数と旅行先 ●「タイトル編集」で設定した文字

- 文字焼き込み済みの画像は、お店やプリンターで日付プリント指定しないでください。(重なってプリントされることがあります)

■「文字焼き込み」せずに日付などをプリントするとき

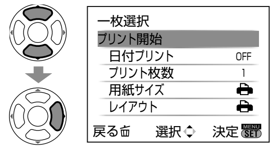
● お店プリントの場合:撮影日時のみ印刷できます。お店で、日付プリントを指定してください。
- お店にカードを渡す前に、本機で「DPOFプリント」(P.78)を設定しておくと、カードを渡すだけで、プリント枚数や日付プリントを指定しておくことができます。
- 16:9の画像をプリントする場合は、お店が16:9サイズに対応しているか事前に確認してください。

● パソコンの場合 : 付属のCD-ROM(PHOTOfunSTUDIO-viewer-)で撮影日時や文字情報の印刷設定ができます。
● プリンターの場合 : 本機で「DPOFプリント」を設定するか、日付プリント対応プリンターをお使いの場合は本機で「日付プリント」(P.85)を「ON」に設定すると、撮影日時を印刷できます。

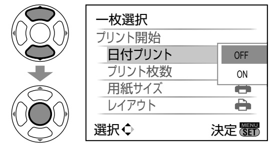
本機でプリントの各種設定をする

(「プリント開始」を選ぶ前に設定してください)

①設定項目を選ぶ



②設定内容を選ぶ



設定項目	設定内容
日付プリント	OFF/ON(日付プリントする)
プリント枚数	枚数を設定(最大 999 枚)
用紙サイズ	(プリンターの設定を優先) L/3.5"×5" (89×127 mm) 2L/5"×7" (127×178 mm) はがき (100×148 mm) 16:9 (101.6×180.6 mm) A4 (210×297 mm) A3 (297×420 mm) 10×15 cm (100×150 mm) 4"×6" (101.6×152.4 mm) 8"×10" (203.2×254 mm) レター (216×279.4 mm) カード (54×85.6 mm)
レイアウト	(プリンターの設定を優先) / (1 面ふちなし) (1 面ふちあり) / (2 面) / (4 面)

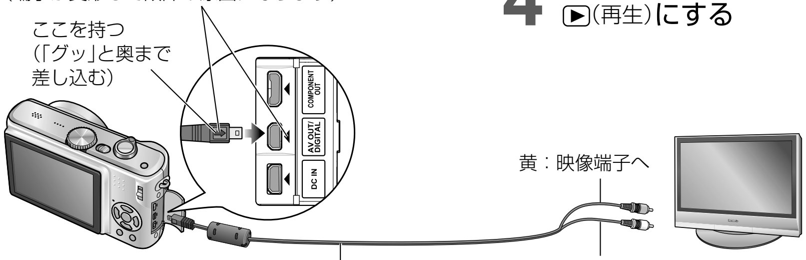
●プリンターが対応していない項目は表示されません。
●「2 面」「4 面」で同じ画像を並べたいときは、その画像のプリント枚数を2 枚/4 枚にしてください。
●本機が対応していない、用紙サイズやレイアウトでプリントするには(プリンター優先)を選び、プリンター側で設定してください。(プリンターの説明書をお読みください)
●DPOF設定時は「日付プリント」と「プリント枚数」の項目は表示されません。
●DPOF設定をしても、お店やプリンターによって日付プリントされないことがあります。
●「日付プリント」を「ON」にするときは、プリンター側の日付プリント設定も確認してください。(プリンター側の設定が優先される場合があります)

テレビで見る

本機とテレビをAVケーブル(付属)、または D端子接続用コンポーネントケーブル(別売：DMW-HDC1)で接続すると、静止画や動画をテレビで見ることができます。

●テレビの説明書もお読みください。

設定：
- 「TV画面タイプ」(P.26)を設定する。
- 本機とテレビの電源を切る。
- モードダイヤルを **Wi-Fi** 以外にする(DMC-TZ50のみ)



1 本機とテレビを
接続する

2 テレビの
電源を入れ、「外部入力」にする

3 本機の
電源を入れる

4 撮影/再生切換スイッチを
▶(再生)にする

■テレビにSD カードスロットがあるとき

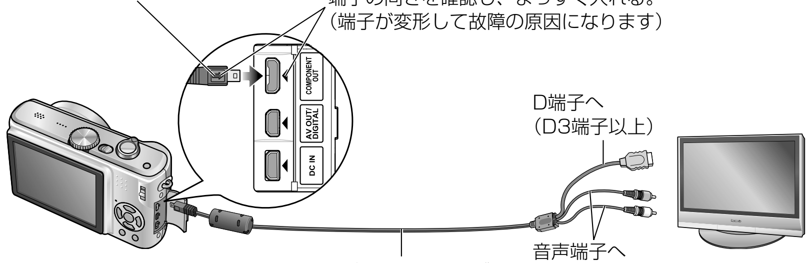
➡ SD カードスロットにSD メモリーカードを入れてください
- 静止画のみ再生できます。
- SDHC メモリーカードをお使いの場合は、SD カードスロットがSDHC 対応のテレビで再生してください。

●テレビに出力できるのは、▶(再生)時のみです。
●「LCDモード」の設定はテレビには反映されません。
●テレビの特性上、画像の端が多少切れて表示されたり、全画面で表示されないことがあります。また、縦に回転した画像は、多少ぼやけることがあります。
●ワイドテレビやハイビジョンテレビで横縦比が正しく表示されないときは、テレビ側で画面モードの設定を変えてください。
●色がつかない、画像が流れるなど正常に再生されないときは、「ビデオ出力」(P.26)を「NTSC」に設定してください。

D端子付きテレビで見る

D端子接続用コンポーネントケーブル(別売：DMW-HDC1)を使って、静止画や動画を高画質で楽しむことができます。接続するテレビがD端子付き(D3端子以上)であることを確認してください。

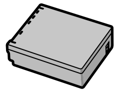
本機(COMPONENT OUT端子)とテレビをD端子接続用コンポーネントケーブルで接続し、テレビをD端子入力にしてください。



●メモモードとWi-Fiモード(DMC-TZ50のみ)では再生できません。
●横縦比の設定によっては、上下や左右に帯が付いて表示されることがあります。
●画像を縦にして表示すると多少ぼやけることがあります。
●液晶モニターと同時に表示はできません。
●静止画は「記録画素数」を2 M以上に、動画 は「画質設定」を「16：9H」に設定して撮影することをおすすめします。
●別売のD端子接続用コンポーネントケーブル(別売：DMW-HDC1)以外は使わないでください。
●16：9で出力され、「TV画面タイプ」の設定は反映されません。
●USB接続ケーブルを接続するとコンポーネント出力を中止します。
●AVケーブルと同時に接続すると、AVケーブルの映像は出力されません。
●音声出力はモノラルです。
●使用できない機能があります。
(「2 画面再生」「タイトル編集」「文字焼き込み」「リサイズ」「トリミング」「横縦比変換」「アフレコ」「コピー」、画像複数選択(削除時など)、動画から静止画作成、など)
●テレビによっては、再生開始直後や一時停止直後に一瞬、画像が乱れることがあります。

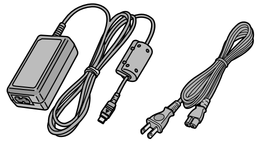
その他 Q&A 1 別売品のご紹介

品名：バッテリーパック
品番：DMW-BCD10

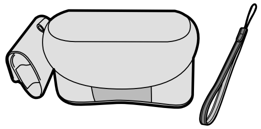


- 付属のバッテリーパックと同じ性能です。
- 旅行などの予備としてもおすすめします。

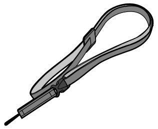
品名：ACアダプター
品番：DMW-AC5



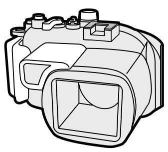
品名：本革ケース
品番：DMW-CT3



品名：本革ストラップ
品番：DMW-NSTX1



品名：マリンケース
品番：DMW-MCTZ5



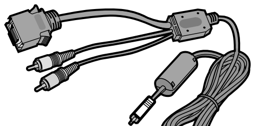
品名：SD メモリーカード
SDHC メモリーカード※



- 最新情報は、以下のサイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/dsc

※ 2006年にSD アソシエーションにより策定された、2 GBを超える大容量メモリーカードの新規格です。SDHC メモリーカード対応の機器で使用できますが、SD メモリーカードのみに対応した機器では使用することができません。他機に接続したり、お店にプリント依頼したりする場合は、SDHC メモリーカードに対応しているか事前にご確認ください。

品名：D端子接続用コンポーネントケーブル
品番：DMW-HDC1



■別売品は、販売店でお買い求めいただけます

松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけるものもあります。

Pana Sense

http://www.sense.panasonic.co.jp/

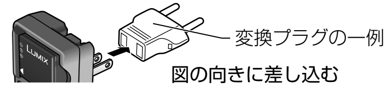
その他 Q&A 2 海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

●電源電圧(100 V ～ 240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)でご使用いただけます。
●市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがあります。
ただし、国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。

●変換プラグの付けかたについて

- ご使用にならないときは変換プラグを電源コンセントから外してください。



■主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米											
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A						
ヨーロッパ											
イギリス	BF, B3	イタリア	C	オーストリア	C, SE	オランダ	C, SE	ギリシャ	A, B, B3, C, SE	スイス	A, B, C, SE
スウェーデン	B, C, SE	スペイン	A, C, SE	デンマーク	C	ドイツ	A, C, SE	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	B, C	フランス	A, C, SE	ベルギー	B, C, SE	ロシア	A, C, SE				
アジア											
インド	B, BF, B3, C	インドネシア	B, B3, C, SE	シンガポール	B, BF, B3	タイ	A, BF, C	大韓民国	A, C, SE	台湾	A, C, O
中華人民共和国	すべて	フィリピン	A, O	ベトナム	A, BF, C, SE	香港特別行政区	B, BF, B3, C	マカオ特別行政区	B, BF, B3, C	マレーシア	B, BF, B3, C
オセアニア											
オーストラリア	O	グァム島	A	サイパン島	A	トンガ	O	ニュージーランド	O	フィジー	A, B, C, O
中南米											
アルゼンチン	BF, C, SE	プエルトリコ	A, BF, C	ブラジル	A, C, SE	メキシコ	A, C, SE				
中東・アフリカ											
アラブ首長国連邦	B, BF, B3	エジプト	BF,B3, C, SE	クウェート	B, B3, C	トルコ	A, B, C, SE	南アフリカ共和国	B, BF, B3, C	モロッコ	A, C, SE

タイプ	A	B	BF	B3	C	SE	O
	アメリカンタイプ	U.K.タイプ			ヨーロピアンタイプ		オーストラリアンタイプ
形状							
変換プラグ	不要です						

■海外のテレビで画像を見るとき

セットアップメニューの「ビデオ出力」で「NTSC」または「PAL」に設定してください。(P.26)

■時計を海外旅行先の時刻に合わせるとき

セットアップメニューの「ワールドタイム」で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。(P.54)

■Wi-Fiモードについて(DMC-TZ50のみ)

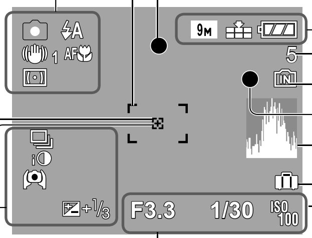
この機能は、日本国内でのみ使用できます。

液晶モニターの表示一覧

[DISPLAY]を押すと表示が切り換わります。(P.14)

撮影時

撮影モード※(P.15)
フラッシュモード(P.38)
手ブレ補正(P.62)
手ブレ警告(P.30)
測光モード(P.59)
マクロ撮影 (P.40)
テレマクロ (P.40)
スポットAF エリア(P.60)
スポット測光ターゲット(P.59)
AF エリア(P.30)
フォーカス(P.30)



記録画素数(P.55)
クオリティ (P.55)
バッテリー残量(P.18)
記録可能枚数(P.102)
保存先(P.18)
記録動作
ヒストグラム(P.37)
トラベル日付(P.53)
F3.3 絞り値(P.30)
1/30 シャッタースピード(P.30)
ISO感度(P.57)
インテリジェントISO(P.56)

連写(P.61)
オートブラケット(P.43)
暗部補正(P.61)
ハイアングル(P.22)
オートパワー LCD (P.22)
パワー LCD (P.22)
露出補正(P.43)
逆光補正(P.29)

現在日時/
フォーカス距離(P.41)
ズーム(P.32)



● メモモード時(P.64)
※メモ撮影モード

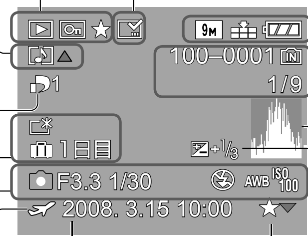
ホワイトバランス(P.58)
ISO 感度(P.57)
ISOMAX 400/ ISOMAX 800/ ISOMAX 1600
最高ISO感度(P.56)
クール カラーモード(P.62)
30fps QVGA 動画画質設定(P.52)



残り撮影可能時間
AF 補助光(P.63)
AF連続動作(P.60)
音声記録(P.63)
5s 撮影経過時間(P.52)
月齢/ 年齢(P.48)
名前(P.48)旅行先(P.53)
下限シャッター速度(P.63)
セルフタイマーモード(P.42)
トラベル経過日数(P.53)

再生時

再生モード※5 (P.35)
プロテクト(P.79)
お気に入り表示※4 (P.77)
音声付き静止画(P.68)
動画(P.68)
ケーブル切断禁止(P.83)
DPOF プリント枚数(P.78)
パワー LCD (P.22)
1日目
トラベル経過日数(P.53)
文字焼き込み済み表示(P.73)



記録画素数※1 (P.55)
クオリティ (P.55)
バッテリー残量(P.18)
100–0001
フォルダー・ファイル番号※2 (P.25、35、82)
保存先(P.18)
1/9
画像番号/ トータル枚数(P.35)
ヒストグラム※3 (P.37)
露出補正(P.43)
お気に入り設定(P.77)
撮影日時/旅行先(P.53) /
名前(P.48) /タイトル(P.72)
撮影情報
1ヵ月10日
月齢/ 年齢(P.48)
旅行先設定(P.54)

● 動画時(P.68)
※1 画質設定 30fps VGA 10fps VGA 30fps QVGA 10fps QVGA 30fps 16:9H 15fps 16:9H 30fps 16:9L 10fps 16:9L
※2 再生経過時間 XhXXmXXs
※3 動画記録時間

● メモモード時(P.64)
※4 ズームマーク
※5 メモ再生モード

メッセージ表示

液晶モニターに表示される、主なメッセージの意味と対処法です。

■カードについて

メッセージ	ここを確認してください
このメモリーカードはロックされています	• SD メモリーカード、またはSDHC メモリーカードの書き込み禁止スイッチを解除する。（P.18）
メモリーカードエラー・フォーマットしますか？	• 本機では認識できないカードです。 →パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット（P.27）する。
メモリーカードエラー カードを確認してください	• カードへのアクセスに失敗しました。 →カードを入れ直す。 • miniSD カード、microSD カード、microSDHC カードをアダプターに入れずに本機に入れた。 →必ずアダプターに入れる。
メモリーカードエラー カードのパラメータが異常です	• カードがSD 規格に準拠していません。 • 4 GB以上のメモリーカードは、SDHC メモリーカードのみ使用できます。
リードエラー カードを確認してください	• データの読み込みに失敗しました。 →カードが確実に入っているか確認する。（P.17）
ライトエラー カードを確認してください	• データの書き込みに失敗しました。 →電源を切ってからカードを抜き、再び入れてから電源を入れる。 • カードが壊れている可能性があります。
カードの書込み速度不足のため記録を終了しました	• カードに撮る場合は、パッケージなどに「10 MB/s」以上の記載があるものをおすすめします。 • カードによっては途中で動画撮影が終了する場合があります。
内蔵メモリー残量が不足しています/ メモリーカード残量が不足しています	• 内蔵メモリーまたはカードの空き容量がありません。カードへの一括コピーの場合、カードの空き容量分の画像がコピーされます。

■その他

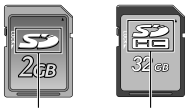
メッセージ	ここを確認してください
表示できる画像がありません	• 撮影するか、画像を記録したカードを入れる。
この画像はプロテクトされています	•「プロテクト」を解除してから削除などを行う。（P.79）
削除できない画像があります／この画像は削除できません	• DCF規格（P.35）に準拠していない画像は削除できません。 →パソコンなどに必要なデータを保存してから、本機でフォーマットして削除する。（P.27）
設定枚数をこえました	• 一度に複数削除できる枚数を超えています。 • お気に入り設定が999 枚を超えています。 • 一度に「タイトル編集」、「文字焼き込み」「リサイズ」（複数設定）できる枚数を超えています。
この画像には設定できません	• DCF規格に準拠していない画像は「DPOFプリント」、「タイトル編集」、「文字焼き込み」できません。
電源を入れ直してください	• レンズなどに手で力が加わり、正常に動作しませんでした。 →電源を入れ直す。 （それでも表示されるときは、お買い上げの販売店にご相談ください）
コピーできない画像がありました／画像をコピーすることができませんでした	• 次の場合はコピーできません。 →同名の画像がコピー先にある。（カードから内蔵メモリーへコピー時のみ） →DCF規格に準拠していないファイル。 →本機以外で撮影・編集された画像。
内蔵メモリーエラー・フォーマットしますか？	• 内蔵メモリーをパソコンでフォーマットした場合などに表示されます。 →本機でフォーマットし直す。
フォルダーを作成できません	• フォルダー番号を999まで使っています。 →パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマットする。（P.27）「番号リセット」（P.25）を実行すると、フォルダー番号が100にリセットされます。
4:3TV 用で出力します／16:9TV 用で出力します	• 本機にAVケーブル（付属）が接続されました。 →メッセージをすぐに消す場合：[MENU/SET] を押す。 →アスペクトを変える場合：「TV画面タイプ」の設定を変える。（P.26） • USB接続ケーブル（付属）が本機のみに接続されました。 →ケーブルのもう一方を機器に接続すると消えます。

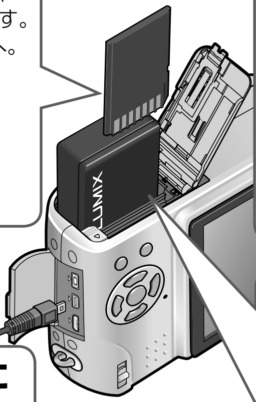
Q&A 故障かな？と思ったら

使えるカードは？

●おすすめは、当社製の
- SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB）
- SDHC メモリーカード（4 GB ～ 32 GB）です。

詳しくはP.18、88へ。





画像が暗い？

●露出を補正してください。（P.43）

画像の色合いが青っぽい、赤っぽい？

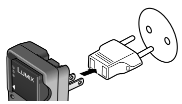
●光源に合わせて、ホワイトバランスを変えてください。（P.58）



例）蛍光灯→「AWB」
白熱灯→「 」

海外で使うには？

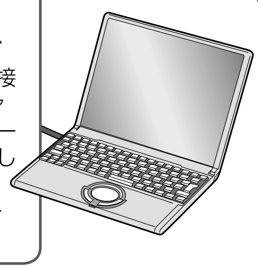
●その地域に合った変換プラグを用意しておくと、海外でも充電できます。（P.89）



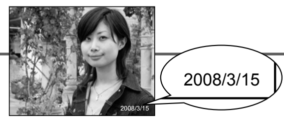
●日付や時刻を海外旅行先の表示にするには、「ワールドタイム」が便利です。（P.54）

パソコンに簡単に保存するには？

●付属のUSB接続ケーブルで本機とパソコンを接続し（P.81）、画像ファイルをパソコンにコピー（ドラッグ＆ドロップ）してください。
●USBリーダーライター（別売）を使う。



日付を入れて、プリントするには？



●日付プリントを指定して、プリントする。
- お店に依頼するとき→DPOF設定し（P.78）、「日付入りで」と依頼する。
- プリンターを使うとき→DPOF設定し、日付プリント対応プリンターを使う。
- パソコンを使うとき→付属のCD-ROM（PHOTOfunSTUDIO-viewer-）の印刷設定で「日付入り」を設定する。

●画像に「文字焼き込み」で日付を焼き込んでおく。（P.73）

まず以下の方法をお試しください。それでも解決できない場合は、セットアップメニューの「設定リセット」を行うと症状が改善する場合があります。
（ただし、設定は「時計設定」など一部を除き、お買い上げ時の状態に戻ります）

	こんなときは…	ここを確認してください
電源、バッテリー	電源を入れても動作しない。	• バッテリーが正しく入っていない。（P.17）または、消耗している。
	電源が入っているのに液晶モニターが消灯する。	• 「パワーセーブ」や「自動液晶OFF」が働いている。（P.24） →[シャッター]を半押しして解除してください。 • バッテリーが消耗している。
	電源を入れてもすぐ切れる。	• バッテリーが消耗している。 • 「パワーセーブ」が働いている。（P.24） →[シャッター]を半押しして解除してください。
撮影	撮影できない。	• 撮影/再生切換スイッチが （撮影）になっていない。 • 内蔵メモリーやカードの残量がない。 →不要な画像を削除してください。（P.36）
	撮影枚数が少ない。	• バッテリーが消耗している。 →満充電のバッテリーをお使いください。（お買い上げ時は充電されていません）（P.16） →電源を入れたまま放置するとバッテリーを消耗するため、「パワーセーブ」や「自動液晶OFF」を使うなどしてこまめに電源を切ってください。（P.24） • 保存先ごとの撮影可能枚数はP.102をご参照ください。
	撮影した画像が白っぽい。	• レンズが汚れている。（指紋などの汚れがついている） →電源を入れてレンズ鏡筒を出し、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。 • つゆつきが起こっている。（P.12）
	撮影した画像が明るすぎる。または暗すぎる。	• 暗い場所で撮影している。または、晴天の空や雪など明るい被写体が画面の大半を占めている。（液晶モニターと撮影した画像の明るさが異なる場合があります） →露出を補正してください。（P.43） • 「下限シャッター速度」を「1/200」など速い値に設定している。（P.63）
	[シャッター]を1 回押すと、2 ～ 3 枚撮影される。	• 「オートブラケット」、「連写」、またはシーンメニューの「高速連写」「マルチアスペクト撮影」を使う設定にしている。（P.43、49、51、61）
	ピントが合わない。	• 被写体までの距離に応じたモードになっていない。（撮影モードによって撮影可能範囲が異なります） • 撮影可能範囲から外れている。 • 手ブレや被写体ブレしている。（P.56、62）
	撮影した画像がブレる。手ブレ補正が効かない。	• 暗い場所でシャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働いていない。 →脇を締め、本機を両手でしっかり持って撮影してください。 • 「下限シャッター速度」を遅い速度に設定したときは、三脚とセルフタイマー（P.42）をおすすめします。
	オートブラケット撮影やマルチアスペクト撮影ができない。	• 記録可能枚数が2 枚以下になっている。

Q&A 故障かな？と思ったら（続き）

	こんなときは…	ここを確認してください
撮影（続き）	撮影した画像が粗い。 ノイズが出る。	• ISO感度が高い、または、シャッタースピードが遅い。 （お買い上げ時はISO感度が「AUTO」のため、屋内などの撮影ではノイズが出ます） →「ISO感度」を低くしてください。（P.57） →「カラーモード」を「ナチュラル」にしてください。（P.62） →明るい場所で撮影してください。 • シーンモードの「高感度」、「高速連写」にしている。 （高感度処理のため画質が少し粗くなります）
	撮影した画像の明るさや 色合いが実際と違う。	• 蛍光灯下で撮る場合、蛍光灯の特性によってシャッタースピードが速くなると明るさや色合いが多少変化する場合がありますが、異常ではありません。
	撮影時に、液晶モニターに赤っぽい縦すじ（スミア）が出ることがある。	• CCD の特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。動画では記録されますが、静止画には記録されません。  • 太陽光などの強い光源が画面付近に入らないように撮影することをおすすめします。
	動画撮影が途中で止まる。	• マルチメディアカードを使っている。（動画撮影には対応していません） • カードに撮る場合は、パッケージなどに「10 MB/s」以上の記載があるものをおすすめします。 • カードの種類により、記録後しばらくアクセス表示が出たり、途中で動画撮影が終了する場合があります。
	記録可能枚数が「－」で表示される。（DMC-TZ5のみ）	• 記録可能枚数が99999 枚を超えている。（P.102）

	こんなときは…	ここを確認してください
液晶モニター	動画撮影中、液晶モニターが暗くなる	• 長時間動画撮影を続けると、液晶モニターが暗くなることがあります。
	電源が入っているのに、 ときどき消える。	• 「自動液晶OFF」に設定している。（P.24） （フラッシュ充電中、液晶モニターが消灯します） • 撮影後、次の撮影ができるまで画面が消えます。 （内蔵メモリー使用時は最大約 6 秒間）
	明るさが不安定になる。	• ［シャッター］を半押ししたときに絞り値を設定するためです。（撮影画像に影響はありません）
	室内でちらつく。	• 電源周波数が50 Hz の地域では、ちらつく場合があります。 （蛍光灯の影響を補正するため）
	明るすぎる、 または暗すぎる。	• 「液晶明るさ」を調整してください。（P.22） • 「LCDモード」が働いている。（P.22）

	こんなときは…	ここを確認してください
液晶モニター（続き）	黒、赤、青、緑の点やノイズが現れる。液晶モニターを押さえるとムラが出る。	• 故障ではありません。記録されませんので、安心してお使いください。
	日付や年齢表示が出ない。	• 撮影時は、現在日時、トラベル経過日数(P.53)、シーンモードの「赤ちゃん」や「ペット」（P.48)の月齢/年齢は、起動時や設定後、モード切換後などに約 5 秒間のみ表示されます。常時表示することはできません。

	こんなときは…	ここを確認してください
フラッシュ	発光しない。	• [発光禁止アイコン]（発光禁止）に設定している。（P.38） • [⚡A]（オート）のときは条件によって光らないことがあります。 • [動画アイコン]（動画撮影モード）、シーンモードの「風景」「夜景」「夕焼け」「高速連写」「花火」「星空」「空撮」、「オートブラケット」、「連写」設定時は発光しません。
	2 回発光する。	• 赤目軽減になっている。（P.38） （瞳が赤く写るのをおさえるため2 回発光します）

	こんなときは…	ここを確認してください
再生	画像が勝手に回転して小さく表示される。	• 「回転表示」を「ON」にしている。 （縦に構えて撮影した画像を自動回転して表示します。本機を上や下に向けて撮ると、縦に構えたと認識する場合があります） →「回転表示」を「OFF」にしてください。（P.76） また、「画像回転」で手動回転できます。
	再生できない。	• 撮影/再生切換スイッチが [▶]（再生）になっていない。 • 内蔵メモリーまたはカードに画像がない。 （カードが入っている場合はカードの、入っていない場合は内蔵メモリーの画像を再生します） • 「カテゴリー再生」「お気に入り再生」になっている。 →「通常再生」に設定してください。（P.69）
	フォルダー・ファイル番号が「－」で表示される。 画像が黒く表示される。	• パソコンで編集、または他機で撮影した。 • 撮影直後にバッテリーを外した。または、残量が少ないバッテリーで撮影した。 →削除するには：本機でフォーマットしてください。（P.27）
	画像番号やトータル枚数が「－」で表示される。	• 画像枚数が99999 枚を超えている。
	カレンダー再生で、撮影日と違う日付に表示される。	• パソコンで編集、または他機で撮影した。 • 「時計設定」が正しくない。（P.19） （パソコンの時計と異なる場合、一度パソコンにコピーした画像を本機に戻してカレンダー再生すると、撮影日と違う日付で表示されることがあります）

Q&A 故障かな？と思ったら（続き）

	こんなときは…	ここを確認してください
再生(続き)	撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。	• 室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込む場合がありますが、異常ではありません。撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。
	動画に本機の動作音が録音される。	• 動画撮影中に本機が自動でレンズの絞りを調整するため動作音が録音される場合がありますが、異常ではありません。
テレビ、パソコン、プリンター	テレビに画像が出ない。 画面が流れたり色が付かない。	• 正しく接続していない。（P.86、87） • テレビの入力切換を外部入力にしていない。 • 「ビデオ出力」を「NTSC」に設定していない。（P.26） • テレビがSDHC メモリーカードに対応していない(SDHC メモリーカードをご使用の場合)
	テレビ画面と液晶モニターの表示が違う。	• テレビの機種によっては、正しい横縦比にならなかったり、端が切れることがあります。
	テレビで動画再生できない。	• テレビにカードを入れている。 →AVケーブル（付属）、またはD端子接続用コンポーネントケーブル（別売：DMW-HDC1）で接続し、本機で再生してください。（P.86、87）
	テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	• 「TV画面タイプ」を確認する。（P.26）
	パソコンに画像を転送できない。	• 正しく接続していない。（P.81） • パソコンが本機を正常に認識しているか確認してください。 • 本機の「USBモード」を「PC」にしてください。（P.26）
	パソコンにカードが認識されない。（内蔵メモリーになっている）	• USB接続ケーブル（付属）を抜き、カードを入れた状態で再度接続してください。 • モードダイヤルを と Wi-Fi（DMC-TZ50のみ）以外に合わせてください。
	パソコンの画像をカメラで再生したい。	• 付属のCD-ROM（PHOTOfunSTUDIO-viewer-）を使ってパソコンからカメラにコピーしてください。 メモ画像にするには、ソフトを使ってパソコンからカードへコピーし、再生メニューの「コピー」（P.80）でメモ専用フォルダーにコピーしてください。
	プリンターに接続してもプリントができない。	• PictBridge対応機を使用していない。 • 本機の「USBモード」を「PictBridge(PTP)」にしてください。（P.26）
	プリントすると、画像の端が切れる。	• プリンターにトリミングやふちなし印刷機能がある場合、その設定を解除してプリントしてください。 （プリンターの説明書をお読みください） • 「画像横縦比」「16:9」で撮影した。 →お店に依頼した場合、16：9のサイズに対応しているか確認してください。

	こんなときは…	ここを確認してください
その他	本機を振ると「カタカタ」と音がする。	• レンズが移動する音で、故障ではありません。
	オートレビューの設定ができない。	• 「オートブラケット」、「連写」、シーンモードの「自分撮り」「高速連写」「マルチアスペクト撮影」、(動画撮影モード)、および「音声記録」が「ON」のときは設定できません。
	暗い場所で[シャッター]を半押しすると、赤いランプが点灯する。	• 「AF補助光」を「ON」にしている。（P.63）
	AF補助光が点灯しない。	• 「AF補助光」を「OFF」にしている。 • 明るい場所、およびシーンモードの「風景」、「夜景」「自分撮り」「花火」「空撮」「夕焼け」では点灯しません。
	本機が熱くなる。	• ご使用時、多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。
	レンズ部から「カチッ」と音がする。	• 明るさが変化した場合、レンズ部から音がして、液晶モニターの明るさが変わるときがありますが、これは、絞り値を設定するためです。（撮影に影響はありません）
	時計が合っていない。	• 長期間放置した。 →再度時計を設定する。（P.19）（時計設定せずに撮ると「0. 0. 0 0:00」の日付になります） • 時計設定に時間がかかった。（その分時間がずれます）
	ズーム撮影すると画像がわずかにゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。	• 倍率によってわずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがありますが、異常ではありません。
	ファイル番号が連続して記録されない。	• 新しいフォルダーが作成される場合は、ファイル番号がリセットされます。（P.82）
	ファイル番号がさかのぼって記録される。	• 電源を切らずにバッテリーを抜き差しした。 （フォルダー・ファイル番号を正しく記録できないと、番号がさかのぼって記録される場合があります）

使用上のお願いとお知らせ

お使いのとき

●長時間、連続して使用すると本体が温かくなりますが、異常ではありません。
●手ブレを防ぐために、三脚を使い、安定した場所に設置することをおすすめします。（特に、望遠やシャッタースピードが遅い撮影時、セルフタイマー使用時）
●磁気や電磁波、電波、高電圧による画像や音声の乱れを防ぐために、テレビ、電子レンジ、ゲーム機、スピーカー、大型モーター、電波塔や高圧線の近くでは使用しない。上記影響で正常に動作しないときは、電源を切ってからバッテリーやACアダプター（別売：DMW-AC5）を抜き、再度取りつける。
●付属のコードやケーブルを使用し、延長して使わない。
●殺虫剤や揮発性のものを本機にかけない。（変質や塗装はがれの原因になります）

お手入れのとき

お手入れの際は、バッテリーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
●汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
●ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
●レンズバリア部(P.13)を触らないでください。

しばらく使わないとき

●電源を切ってからバッテリーとカードは抜いておく。（特にバッテリーは、過放電により故障の原因になります）
●ゴムやビニール製品に接触させたままにしない。
●押し入れなどでは、乾燥剤(シリカゲル)とともに保管する。また、バッテリーは、涼しく（15 ℃ ～25 ℃)、湿気の少ない(湿度40% ～ 60%)、温度変化の少ない場所で保管する。
●１年に１回は充電し、いったん使用して、残量がなくなってから再保管する。

カードについて

●カードやデータの破損を防ぐために
- 高温や直射日光、電磁波、静電気を避ける。
- 折り曲げない、落とさない、強い振動を与えない。
- カード裏の端子部に触れない、汚さない、ぬらさない。

●メモリーカードを廃棄／譲渡するときのお願い
- 本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全に消去されません。
  廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

バッテリーとチャージャーについて

●使用後は、電源を切ってからバッテリーを取り出し、バッテリーキャリングケースに入れて保管する。(P. 8)
●落下などで破損や変形(特に端子部)したら使わない。（故障の原因になります）
●不要になったら環境保護のため、端子部をテープで絶縁し、最寄りの電池リサイクル協力店で処分する。（ホームページ http://www.jbrc.net/hp）

充電式
リチウムイオン電池使用
Li-ion

●記録可能枚数　約300 枚
CIPA※規格に基づく値です(通常撮影モードのとき)

CIPA規格：当社製SD メモリーカード(16 MB)使用・付属バッテリー使用・温度23 ℃・湿度50%・液晶モニター ON（オートパワー LCD、パワー LCDまたはハイアングルモード時は記録可能枚数が減少します)・手ブレ補正「MODE1」・電源を入れ、30 秒後に撮影・30 秒に1 回撮影・フラッシュを2 回に1 回フル発光・撮影ごとに、ズーム操作(W端→T端、またはT端→W端)・10 枚ごとに電源を切り、バッテリーを冷ます。
※ カメラ映像機器工業会Camera & Imaging Products Associationの略称

●充電するときは
- チャージャーやバッテリーの端子部の汚れを乾いた布で取る。
- AMラジオからは1 m離す。（ラジオに雑音が入る原因になります）
- チャージャーの内部で音がすることがありますが、異常ではありません。
- 充電したら、必ず電源コンセントから抜く。（放置すると、最大0.1 W電力消費）

●SDHC ロゴは商標です。
●Microsoft Windowsは、米国Microsoft Corporation の商標です。
●Macintosh、Mac OSはApple Inc. の登録商標または商標です。
●その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

■ このマークがある場合は

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU 域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

記録可能枚数・記録可能時間

- 数値は目安です。撮影の条件、カードの種類、被写体により変化します。
- 液晶モニターに表示される記録可能枚数・時間は、規則正しく減少しない場合があります。

内蔵メモリー・カードの記録可能枚数について（静止画）

- 「画像横縦比」（P.56）、「記録画素数」（P.55）、「クオリティ」（P.55）によって枚数が変わります。
- 記録可能枚数が99999枚を超える場合は、「－－－－－」と表示されます。（DMC-TZ5のみ）

画像横縦比		4:3											
記録画素数		9 M (3456×2592)		7 M EZ (3072×2304)		5 M EZ (2560×1920)		3 M EZ (2048×1536)		2 M EZ (1600×1200)		0.3 M EZ (640×480)	
クオリティ		ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード
内蔵メモリー (DMC-TZ5)		10	22	14	28	20	40	32	62	51	97	240	400
内蔵メモリー (DMC-TZ50)		10	21	13	27	20	40	31	61	50	95	240	390
カード	16 MB	2	5	3	7	5	10	8	16	13	26	68	110
	32 MB	6	12	7	16	11	23	18	36	29	56	145	230
	64 MB	13	26	16	34	24	48	38	75	61	115	290	480
	128 MB	27	55	35	69	50	99	78	150	125	230	600	970
	256 MB	54	105	68	135	98	190	150	290	240	460	1170	1900
	512 MB	105	210	135	270	195	380	300	590	480	910	2320	3770
	1 GB	210	430	270	540	390	770	600	1180	970	1830	4640	7550
	2 GB	440	860	550	1090	790	1530	1220	2360	1920	3610	8780	12290
	4 GB	860	1690	1090	2150	1560	3010	2410	4640	3770	7090	17240	24130
	8 GB	1760	3450	2230	4380	3180	6130	4910	9440	7670	14440	35080	49120
	16 GB	3550	6950	4490	8820	6410	12350	9880	19000	15440	29070	70590	98840
	32 GB	7130	13960	9010	17700	12870	24780	19820	38120	30970	58310	141620	198270

画像横縦比		3:2							
記録画素数		8.5 M (3552×2368)		6 M EZ (3072×2048)		4.5 M EZ (2560×1712)		2.5 M EZ (2048×1360)	
クオリティ		ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード
内蔵メモリー (DMC-TZ5)		11	23	15	32	22	45	36	69
内蔵メモリー (DMC-TZ50)		11	23	15	31	22	44	35	68
カード	16 MB	2	6	3	8	5	12	9	18
	32 MB	6	13	8	18	13	26	20	40
	64 MB	14	28	19	38	27	54	43	83
	128 MB	29	58	39	78	56	110	88	165
	256 MB	57	110	77	150	110	210	170	330
	512 MB	115	220	150	300	210	430	340	650
	1 GB	230	450	300	600	440	860	680	1310
	2 GB	460	910	620	1220	890	1700	1360	2560
	4 GB	920	1800	1230	2410	1740	3350	2680	5020
	8 GB	1870	3660	2500	4910	3550	6820	5450	10230
	16 GB	3770	7370	5040	9880	7160	13720	10980	20590
	32 GB	7560	14790	10110	19820	14360	27530	22020	41300

画像横縦比		16:9							
記録画素数		7.5 M (3712×2088)		5.5 M EZ (3072×1728)		3.5 M EZ (2560×1440)		2 M EZ (1920×1080)	
クオリティ		ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード
内蔵メモリー (DMC-TZ5)		12	25	18	37	27	53	47	91
内蔵メモリー (DMC-TZ50)		12	25	18	37	26	52	46	90
カード	16 MB	3	6	4	10	7	14	12	25
	32 MB	7	14	10	21	15	30	27	53
	64 MB	15	31	22	45	32	63	57	105
	128 MB	31	63	46	92	66	125	115	220
	256 MB	62	120	91	180	130	250	220	430
	512 MB	125	240	180	350	250	500	450	860
	1 GB	250	490	360	710	520	1000	900	1720
	2 GB	500	990	730	1420	1040	1980	1800	3410
	4 GB	990	1940	1450	2800	2040	3890	3540	6700
	8 GB	2020	3960	2950	5710	4160	7920	7220	13640
	16 GB	4080	7970	5950	11490	8370	15940	14530	27450
	32 GB	8190	15980	11940	23050	16800	31970	29150	55070

内蔵メモリー・カードの記録可能時間について（動画）

- 「画質設定」（P.52）により撮影可能時間が変わります。

画質設定		30fpsVGA	10fpsVGA	30fpsQVGA	10fpsQVGA	30fps16:9H	15fps16:9H	30fps16:9L	10fps16:9L
内蔵メモリー (DMC-TZ5)		—	—	1 分 43 秒	5 分	—	—	—	—
内蔵メモリー (DMC-TZ50)		—	—	1 分 41 秒	4 分 50 秒	—	—	—	—
カード	16 MB	6 秒	26 秒	26 秒	1 分 22 秒	—	4 秒	5 秒	22 秒
	32 MB	17 秒	58 秒	59 秒	2 分 55 秒	4 秒	12 秒	14 秒	50 秒
	64 MB	39 秒	2 分	2 分	6 分	13 秒	29 秒	33 秒	1 分 45 秒
	128 MB	1 分 23 秒	4 分 10 秒	4 分 10 秒	12 分 20 秒	29 秒	1 分 1 秒	1 分 11 秒	3 分 35 秒
	256 MB	2 分 45 秒	8 分 10 秒	8 分 10 秒	24 分	1 分	2 分	2 分 20 秒	7 分
	512 MB	5 分 30 秒	16 分 20 秒	16 分 20 秒	47 分 50 秒	2 分	4 分	4 分 40 秒	14 分
	1 GB	11 分	32 分 50 秒	32 分 50 秒	1 時間 35 分	4 分	8 分 10 秒	9 分 20 秒	28 分 10 秒※1
	2 GB	22 分 30 秒	1 時間 7 分	1 時間 7 分	3 時間 15 分	8 分 20 秒	16 分 50 秒	19 分 20 秒※1	57 分 30 秒※1
	4 GB	44 分 20 秒	2 時間 11 分	2 時間 11 分	6 時間 22 分	16 分 40 秒	33 分 20 秒	38 分※1	1 時間 53 分※1
	8 GB	1 時間 30 分	4 時間 28 分	4 時間 28 分	12 時間 59 分	33 分 50 秒	1 時間 7 分	1 時間 17 分※1	3 時間 50 分※1
	16 GB	3 時間 1 分	8 時間 59 分	8 時間 59 分	26 時間 8 分	1 時間 8 分	2 時間 16 分	2 時間 36 分※1	7 時間 43 分※1
	32 GB	6 時間 5 分	18 時間 3 分	18 時間 3 分	52 時間 26 分	2 時間 17 分	4 時間 34 分	5 時間 13 分※1	15 時間 30 分※1

- 動画を連続して記録できるのは、約 2 GBまでです。（記録可能時間も約 2 GBで計算して表示されます）
2 GB以上続けて記録したいときは、再度［シャッター］を押してください。

※1 連続記録時間は最大15分になります。

仕様

電源 消費電力	●DC 5.1 V ●1.3 W（撮影時） ●0.6 W（再生時）

カメラ有効画素数	910 万画素
撮像素子	1/2.33 型CCD 総画素数1070 万画素 原色カラーフィルター
レンズ	光学10 倍ズーム　f=4.7 ～ 47 mm （35 mmフィルムカメラ換算：28 ～ 280 mm）/ F3.3 ～ F4.9
デジタルズーム	最大 4 倍
EX光学ズーム	最大 16.9 倍
フォーカス	通常/ マクロ 顔認識/9 点/3 点(H) /1 点(H)/1 点/ スポット
撮影範囲	●通常・動画　50 cm（W端時）/2 m（T端時）～ ∞ ●マクロ・インテリジェントオート・メモ　5 cm（W端時）/ 2 m（T端以外）～ ∞（ただし、T端1 m ～ ∞） ●シーンモード　上記範囲と異なる場合あり
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
動画撮影	1280×720 画素※/848×480 画素※/ 640×480 画素※/320×240 画素(※ カード使用時のみ) 30 コマ/秒、15 コマ/秒、10 コマ/秒　音声付き
連写撮影　：速度 枚数	● 2.5 コマ/秒(連写)、約 2 コマ/秒(フリー連写) 最大 5 コマ(スタンダード)、最大 3 コマ(ファイン)、 内蔵メモリーまたはカードの空き容量に依存(フリー連写)
高速連写　：速度 枚数	約 6 コマ/秒 内蔵メモリー使用時：約 20 枚(フォーマット直後) カード使用時　：最大 100 枚(カードの種類、撮影条件によって異なる)
ISO感度	オート/100/200/400/800/1600 (シーンモードの｢高感度｣：1600 ～ 6400)
シャッタースピード	8 ～ 1/2000 秒 シーンモードの｢星空｣　：15 秒、30 秒、60 秒
ホワイトバランス	オート(AWB) / 晴天/ 曇り/ 日陰/ 白熱灯/ セットモード
露出	オート(プログラムAE) 露出補正(1/3 EV ステップ、−2 EV ～ +2 EV)
測光方式	評価測光/中央重点測光/スポット測光
液晶モニター	3.0 型低温ポリシリコンTFT液晶(約 46 万ドット) (視野率約 100%)

フラッシュ	撮影可能範囲：約 60 cm ～ 5.3 m（W端、｢ISO AUTO｣設定時） オート/ 赤目軽減オート/ 強制発光(赤目軽減強制) /赤目軽減スローシンクロ/ 発光禁止
マイク	モノラル
スピーカー	モノラル
記録メディア	内蔵メモリー（約 50 MB）/SDHC メモリーカード/SD メモリーカード/マルチメディアカード(静止画のみ)
記録画素数：静止画	アスペクト｢4:3｣設定時 3456×2592 画素/3072×2304 画素/2560×1920 画素/2048×1536 画素/1600×1200 画素/640×480 画素 アスペクト｢3:2｣設定時 3552×2368 画素/3072×2048 画素/2560×1712 画素/2048×1360 画素 アスペクト｢16:9｣設定時 3712×2088 画素/3072×1728 画素/2560×1440 画素/1920×1080 画素
動画	1,280×720 画素※/848×480 画素※/ 640×480 画素※/320×240 画素(※カード使用時のみ)
クオリティ（圧縮率）	ファイン/ スタンダード
記録画像ファイル形式	静止画　：JPEG（DCF準拠、Exif2.21準拠）/DPOF 対応 音声付き静止画　：JPEG（DCF準拠、Exif2.21準拠）＋QuickTime 音声付き動画　：QuickTime Motion JPEG
インターフェース	デジタル　：USB 2.0（High Speed） アナログビデオ/オーディオ　：NTSC/PAL コンポジット出力(メニュー切換)、コンポーネント/オーディオ出力(モノラル)
端子	COMPONENT OUT　：専用ジャック(10 pin) DIGITAL/AV OUT　：専用ジャック(8 pin) DC IN　：専用ジャック(2 pin)
寸法(突起部除く)	約幅103.3 mm×高さ59.3 mm×奥行き36.5 mm
質量	約 214 g（本体）　約 240 g（カード、バッテリー含む）
推奨使用温度	0 ℃ ～ 40 ℃
許容相対湿度	10% ～ 80%
ワイヤレス転送部(DMC-TZ50のみ)	取扱説明書｢Wi-Fiモード編｣に記載しています。

■ 専用バッテリーチャージャー（DE-A45A）

定格出力	DC4.2 V　0.8 A（充電時）
定格入力	AC100 V ～ 240 V　50/60 Hz
入力容量	15 VA（100 V/240 V）

■ バッテリーパック(DMW-BCD10)

電圧	3.7 V
容量	1000 mAh
種類	リチウムイオン

保証とアフターサービス（よくお読みください）

**修理･お取り扱い･お手入れなどのご相談は･･･
まず､お買い上げの販売店へお申し付けください**

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・
- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

■保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間: お買い上げ日から本体１年間 (「本体」にはソフトウェアの内容は含みません)

■補修用性能部品の保有期間
当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後8 年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき
この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	デジタルカメラ
品　番	DMC-TZ5/DMC-TZ50
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電 話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北 海 道 地 区

札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251	**帯広** 帯広市西20条北2丁目23-3 ☎ (0155)33-8477	**函館** 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）☎ (0138)48-6631
旭川 旭川市2条通16丁目1166 ☎ (0166)22-3011		

保証とアフターサービス（よくお読みください）（続き）

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

東北地区		
青森 青森市大字浜田字豊田364 ☎(017)775-0326	**岩手** 盛岡市厨川5丁目1-43 ☎(019)645-6130	**山形** 山形市平清水1丁目1-75 ☎(023)641-8100
秋田 秋田市外旭川字小谷地3-1 ☎(018)868-7008	**宮城** 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117	**福島** 郡山市亀田1丁目51-15 ☎(024)991-9308

首都圏地区		
栃木 宇都宮市上戸祭3丁目3-19 ☎(028)689-2555	**埼玉** 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960	**山梨** 甲府市宝1丁目4-13 ☎(055)222-5822
群馬 前橋市箱田町325-1 ☎(027)254-2075	**千葉** 千葉市中央区末広5丁目9-5 ☎(043)208-6034	**神奈川** 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
茨城 つくば市筑穂3丁目15-3 ☎(029)864-8756	**東京** 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780	**新潟** 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-0180

中部地区		
石川 金沢市横川3丁目20 ☎(076)280-6608	**長野** 松本市寿北7丁目3-11 ☎(0263)86-9209	**岐阜** 岐阜市中鶉4丁目42 ☎(058)278-6720
富山 富山市根塚町1丁目1-4 ☎(076)424-2549	**静岡** 静岡市葵区千代田7丁目7-5 ☎(054)287-9000	**高山** 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
福井 福井市問屋町2丁目14 ☎(0776)25-5001	**愛知** 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225	**三重** 津市久居野村町字山神421 ☎(059)255-1380

近畿地区		
滋賀 栗東市霊仙寺1丁目1-48 ☎(077)582-5021	**大阪** 大阪市城東区関目2丁目15-5 ☎(06)6359-6225	**和歌山** 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
京都 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎(075)646-2123	**奈良** 大和郡山市筒井町800番地 ☎(0743)59-2770	**兵庫** 神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4 ☎(078)796-3140

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

中国地区		
鳥取 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695	**出雲** 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133	**広島** 広島市西区南観音1丁目13-5 ☎(082)295-5011
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129	**浜田** 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629	**山口** 山口市小郡下郷220-1 ☎(083)973-2720
松江 松江市平成町182番地14 ☎(0852)23-1128	**岡山** 岡山市田中138-110 ☎(086)242-6236	

四国地区		
香川 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-6388	**高知** 高知市仲田町2-16 ☎(088)834-3142	**愛媛** 愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1 ☎(089)905-7544
徳島 徳島市沖浜2丁目36 ☎(088)624-0253		

九州地区		
福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036	**大分** 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815	**天草** 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
佐賀 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151	**宮崎** 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎(0985)63-1213	**鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
長崎 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658	**熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067	**大島** 奄美市名瀬朝仁町11-2 ☎(0997)53-5101

沖縄地区	
沖縄 浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0108

さくいん

●液晶モニターの表示について（P.90）

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら・わ行

英数字